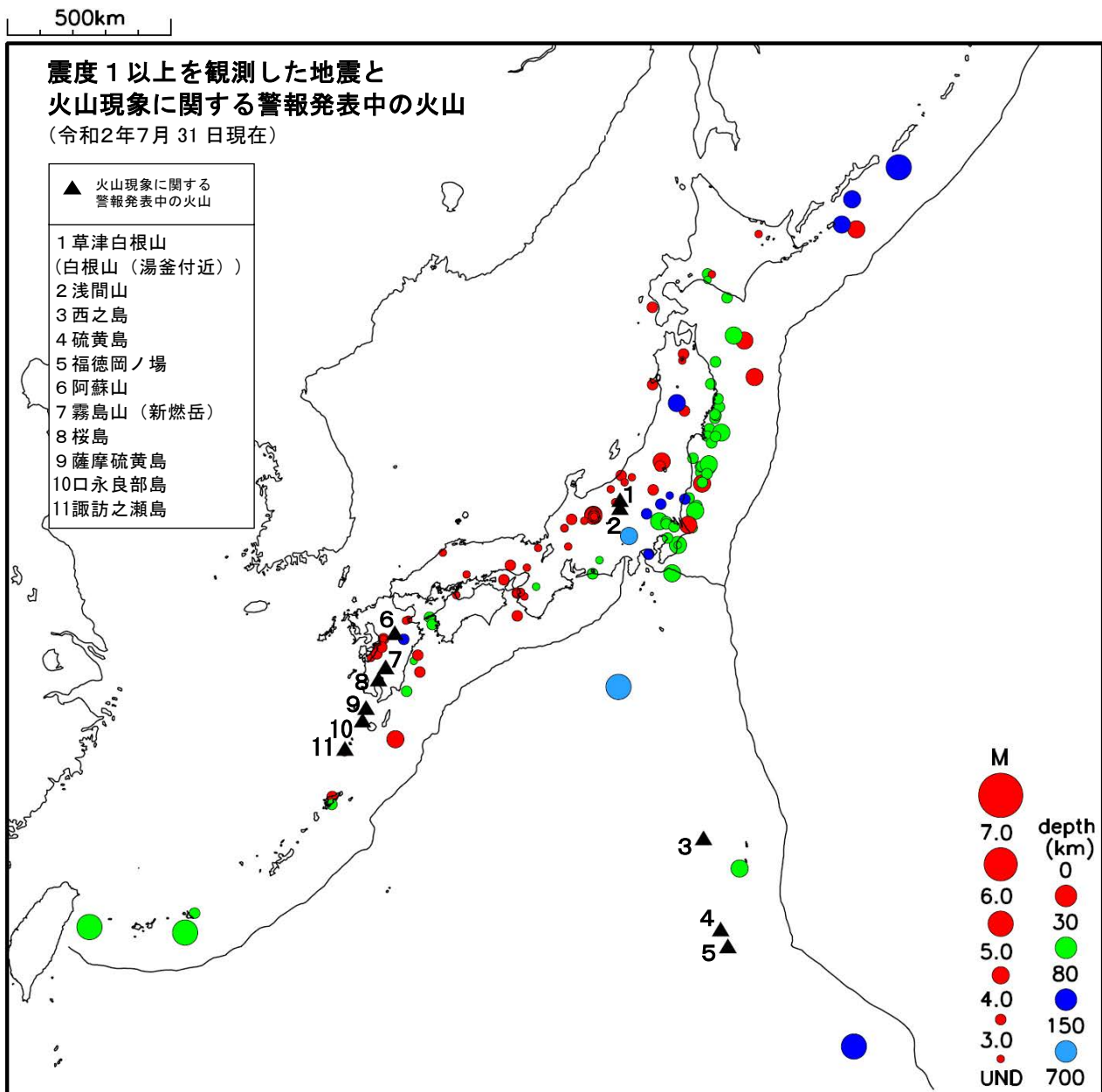


# 令和2年7月 地震・火山月報(防災編)

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

July 2020



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体\*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年(1997年)10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 令和2年7月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注\*\* 令和2年7月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

### □本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

#### ・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

#### ・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

#### ・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

#### ・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年8月11日現在、2020年4月18日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られる。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index\\_vcatalog.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html)]に掲載する。

#### ・本書で使用了地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
関東・中部地方の地震活動	7
近畿・中国・四国地方の地震活動	11
九州地方の地震活動	12
沖縄地方の地震活動	13
その他の地域の地震活動	14
● 南海トラフ周辺の地殻活動	16
● 日本の主な火山活動	51
北海道地方の火山活動	61
東北地方の火山活動	63
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	65
近畿・中国・四国地方の火山活動	69
九州地方の火山活動	70
沖縄地方の火山活動	73
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	74
● 世界の主な地震	75
● 世界の主な火山活動	78
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	79
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	97
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	98
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	99
5. 緊急地震速報の提供状況	100

● 日本及びその周辺での主な地震活動

2020 07 01 00:00 -- 2020 07 31 24:00

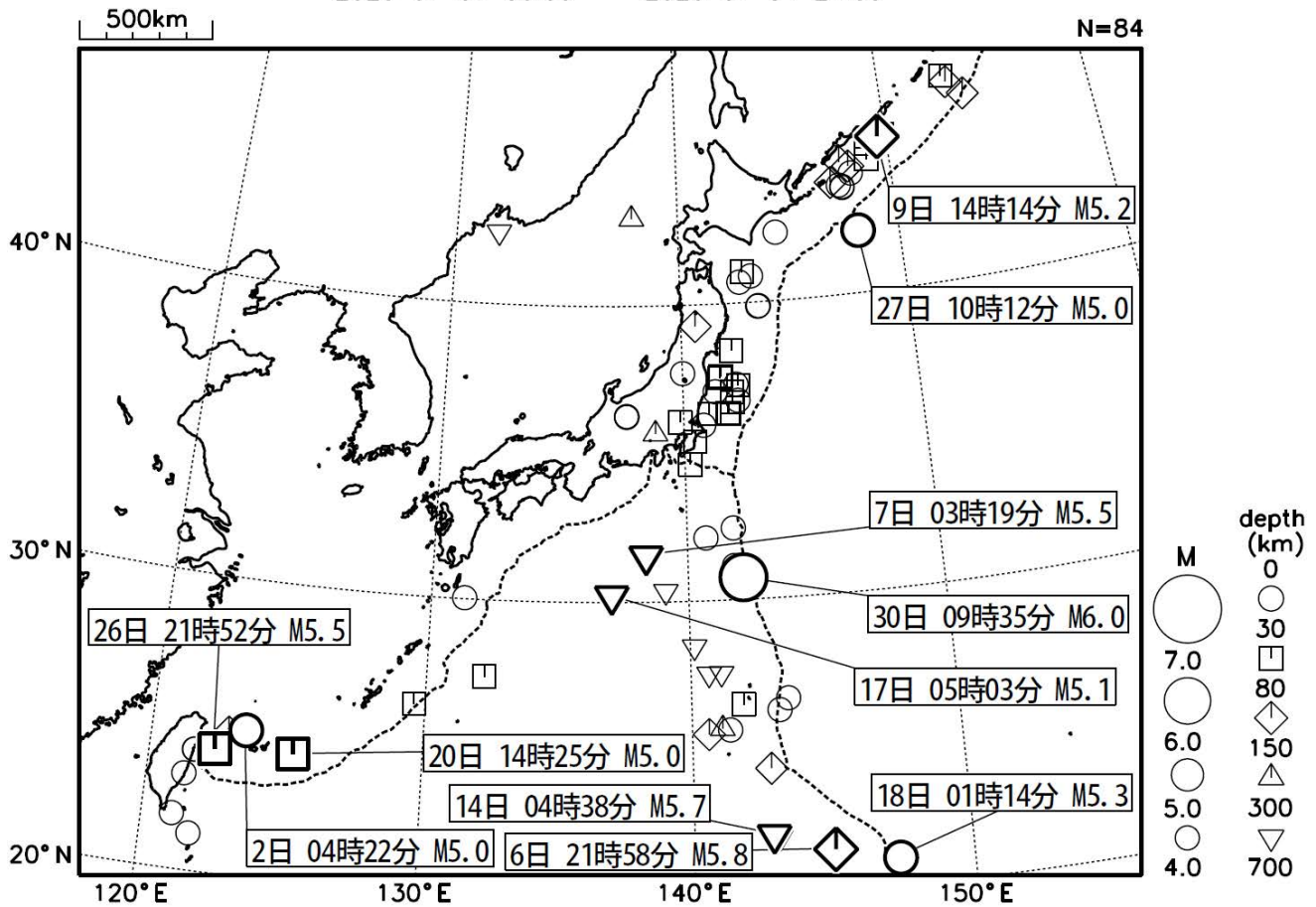


図1 令和2年7月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和2年（2020年）7月に日本国内で震度4以上を観測した地震は1回（6月は7回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は84回（6月は159回）であった（図1）。

7月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3に示す。7月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震もなかった（6月は震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった）。

# 令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和2年7月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	7 5 15 9	長野県中部	4.8	4.7	・ ・ ・ ・	3：岐阜県 高山市奥飛騨温泉郷栃尾* この地震とほぼ同時刻に近傍でM4.0、M3.8、M3.6の地震が発生しており、これらの地震による震度は分離できない。 4月から続く長野・岐阜県境付近の地震活動の中で発生した地震。長野・岐阜県境付近では、7月中に震度1以上を観測した地震が43回（震度3：3回、震度2：9回、震度1：31回）発生	8～9
2	7 9 6 5	茨城県南部	4.7	4.7	・ ・ S ・	4：茨城県 茨城古河市下大野* 坂東市山* 栃木県 足利市大正町* 栃木市旭町 など4県14地点 緊急地震速報（警報）を発表	4、10
3	7 30 9 35	鳥島近海	6.0	5.8	M ・ ・ ・	震度1以上の観測点はなし 緊急地震速報（警報）を発表（注7）	15

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) 本来の震源とは異なる房総半島南方沖に震源を推定したため、マグニチュード及び震度を過大予測し、緊急地震速報（警報）を発表した。



図2 令和2年7月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

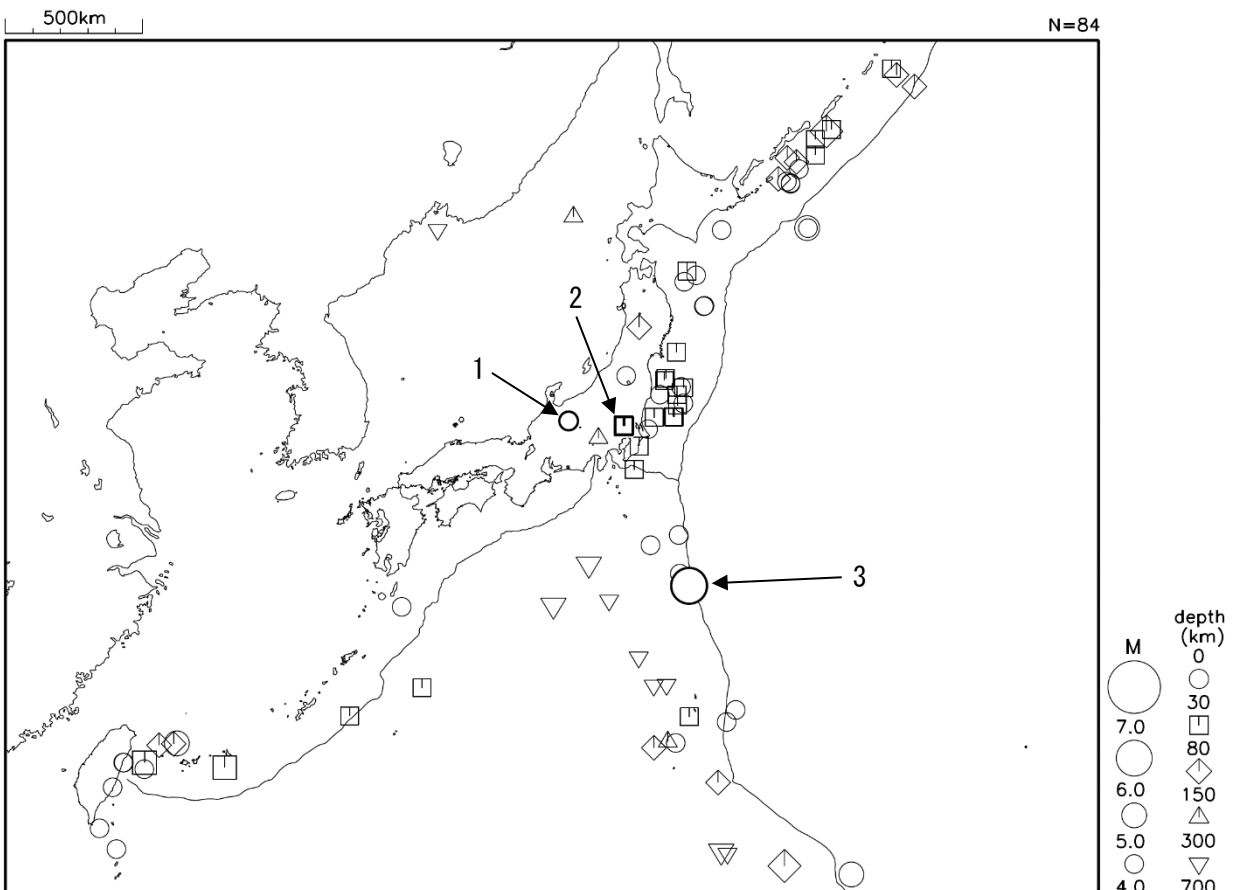


図3 令和2年7月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

2 7月9日06時05分 茨城県南部  
 (M4.7、深さ45km、最大震度4)

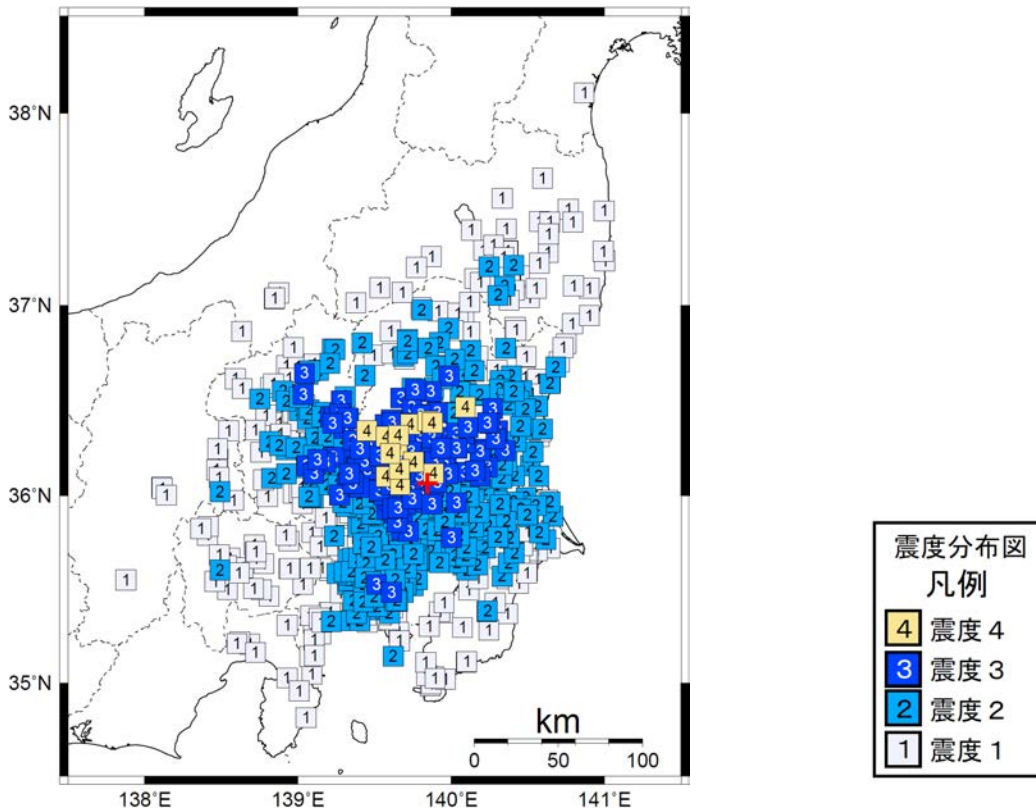


図4 震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース  
 (<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

## ○北海道地方の地震活動

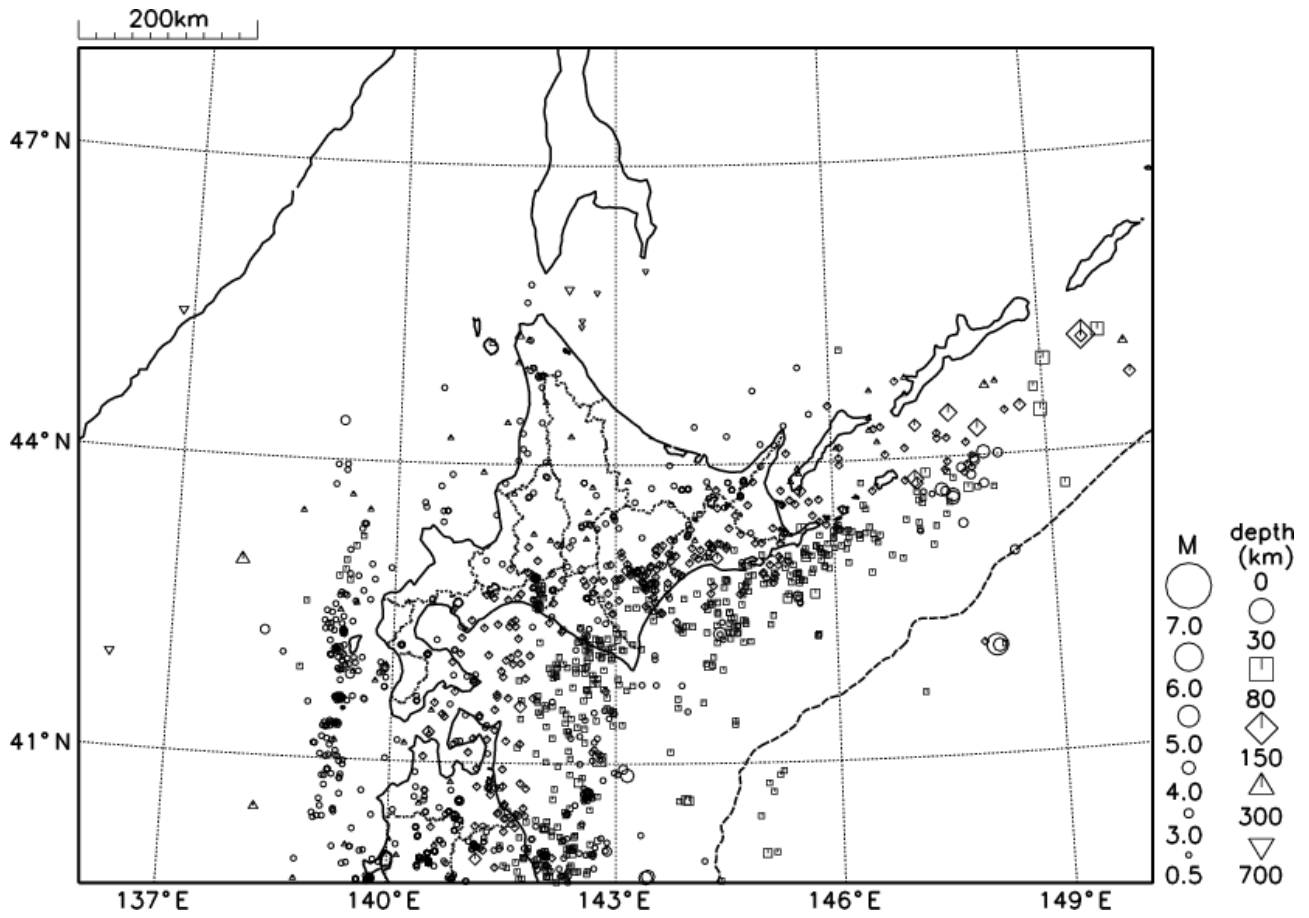


図5 北海道地方の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### [概況]

7月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は12回（6月は12回）であった。  
7月中、特に目立った活動はなかった。



## ○東北地方の地震活動

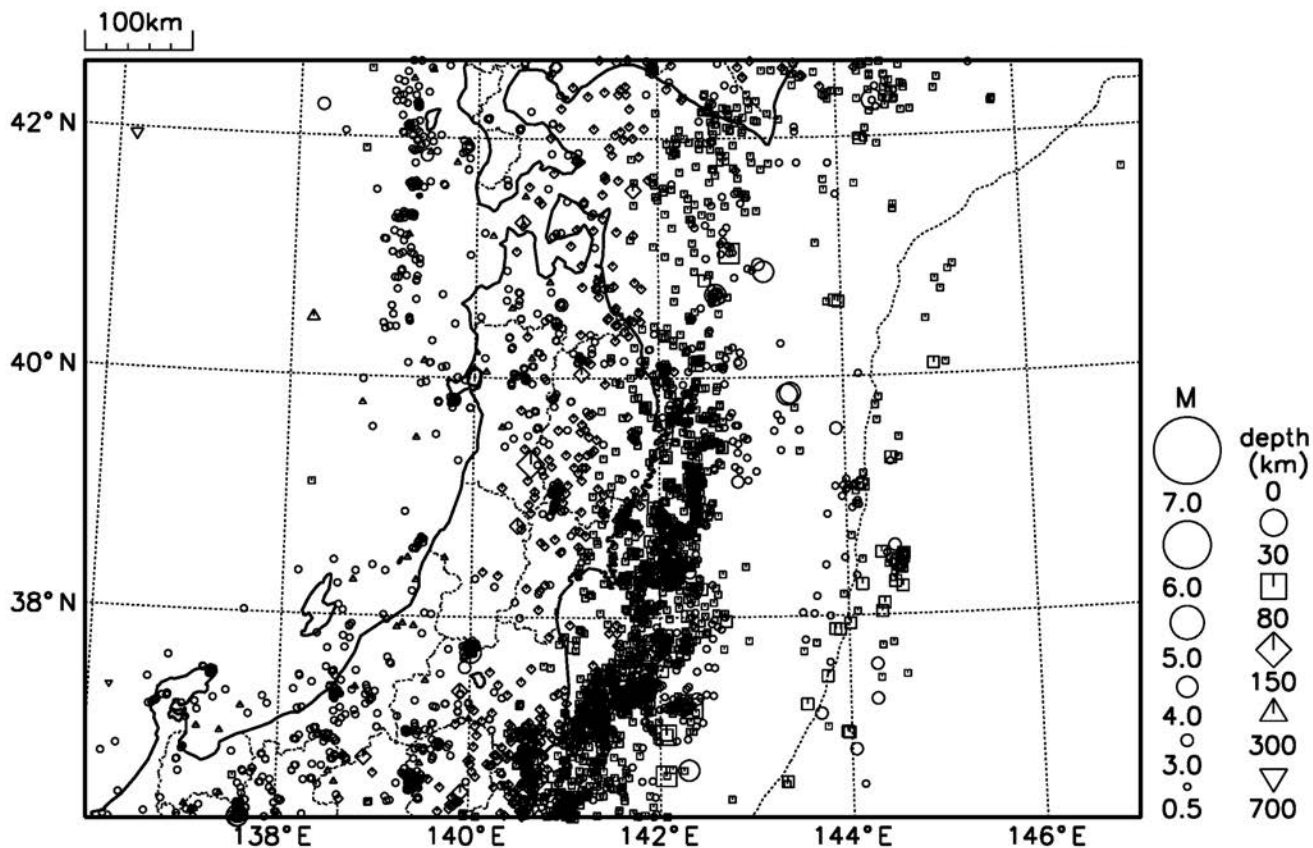


図6 東北地方の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、M $\geq$ 0.5）

### [概況]

7月に東北地方で震度1以上を観測した地震は37回（6月は25回）であった。

7月中、特に目立った活動はなかった。

## ○関東・中部地方の地震活動

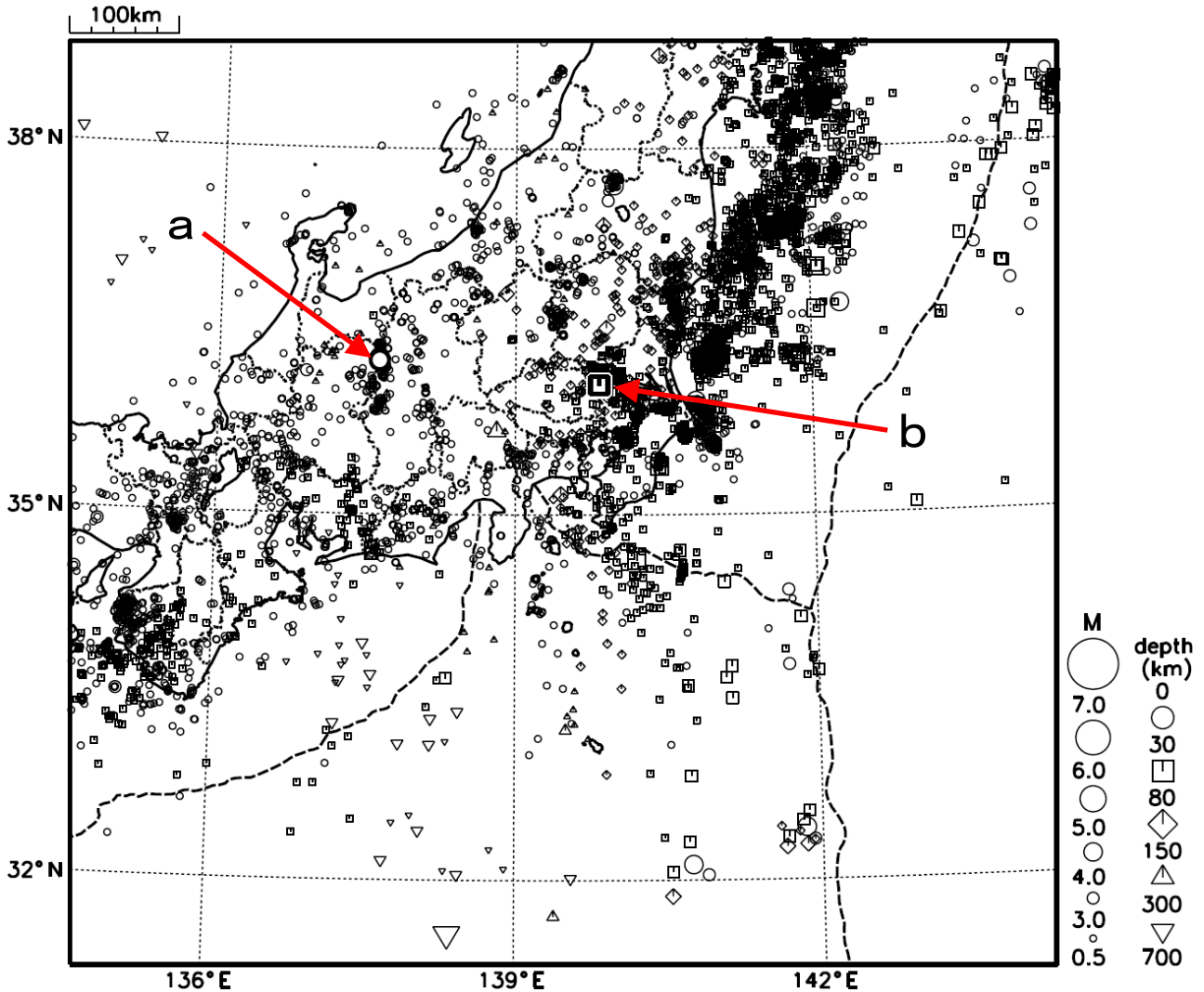


図7 関東・中部地方の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### [概況]

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は90回（6月は49回）であった。7月中の主な活動は次の通りである。

5日15時09分に長野県中部の深さ4kmでM4.8の地震（図7中のa）が発生し、岐阜県高山市で震度3を観測したほか、長野県、富山県、岐阜県及び愛知県で震度2～1を観測した。（p. 8～9参照）。

長野・岐阜県境付近では4月から続く一連の地震活動により、7月に最大震度1以上を観測した地震が43回（最大震度3：3回、2：9回、1：31回）発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔長野県中部〕及び〔岐阜県飛騨地方〕である。

9日06時05分に茨城県南部の深さ45kmでM4.7の地震（図7中のb）が発生し、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県で震度4を観測したほか、宮城県から長野県にかけて震度3～1を観測した（p. 4、10参照）。

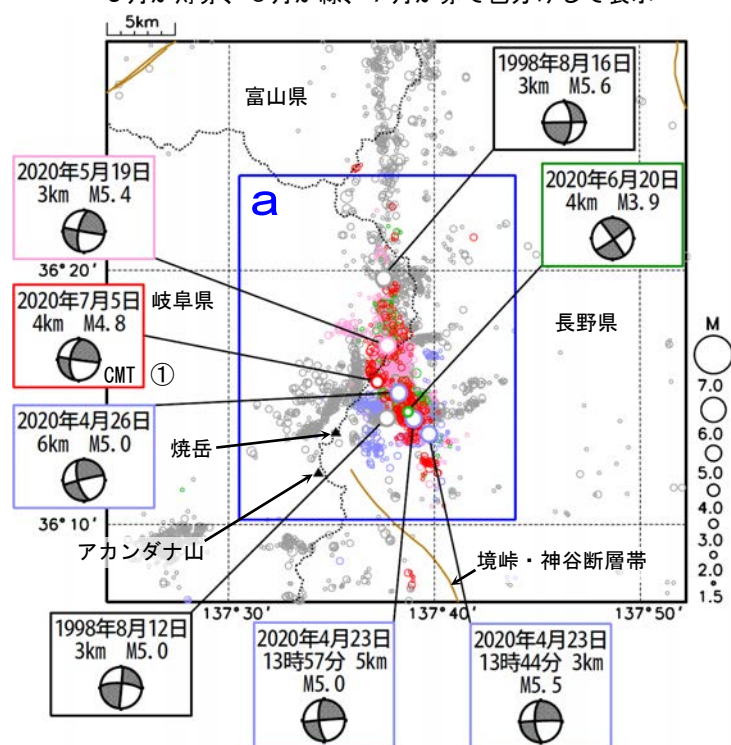
## 長野・岐阜県境付近（長野県中部、岐阜県飛騨地方）の地震活動

長野・岐阜県境付近（長野県中部、岐阜県飛騨地方）の地殻内（領域a）では、2020年4月から一連の地震活動が続いており、最大震度1以上を観測する地震が7月は43回（最大震度3：3回、最大震度2：9回、最大震度1：31回）発生した。領域a内で7月に発生した地震の内、最大規模の地震は7月5日15時09分に発生した長野県中部の地震（M4.8、最大震度3；図中の①の地震）であった。この地震の発震機構（CMT解）は、北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。また、この地震の震央の近傍でほぼ同時刻に長野県中部の地震（M3.8、M3.6）が、同日15時10分に岐阜県飛騨地方の地震（M4.0）が発生した。

震央分布図

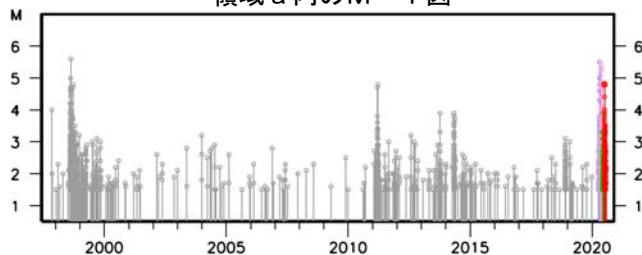
（1997年10月1日～2020年7月31日、深さ0～30km、M≥1.5）

地震は2020年3月以前が灰色、4月が薄青、5月が薄赤、6月が緑、7月が赤で色分けして表示



茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

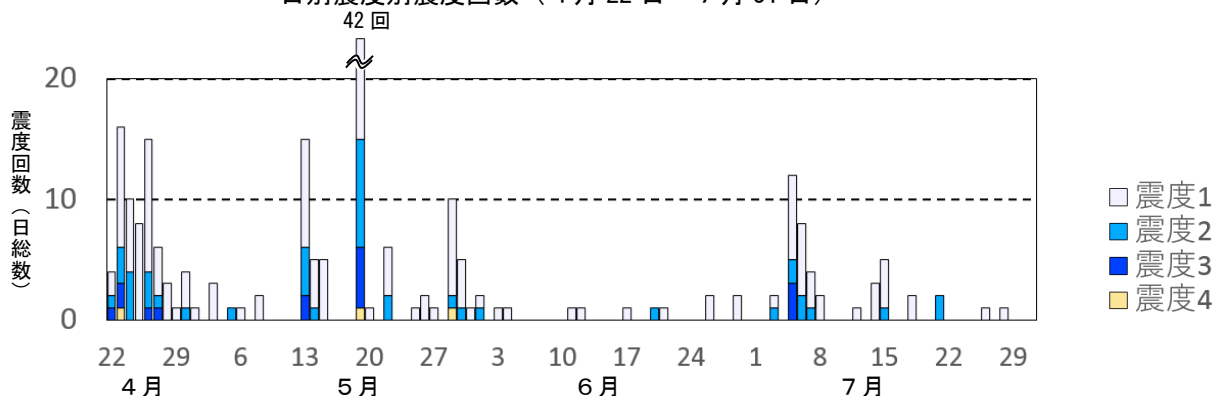
領域a内のM-T図



日別震度別回数表  
（2020年4月22日～7月31日）

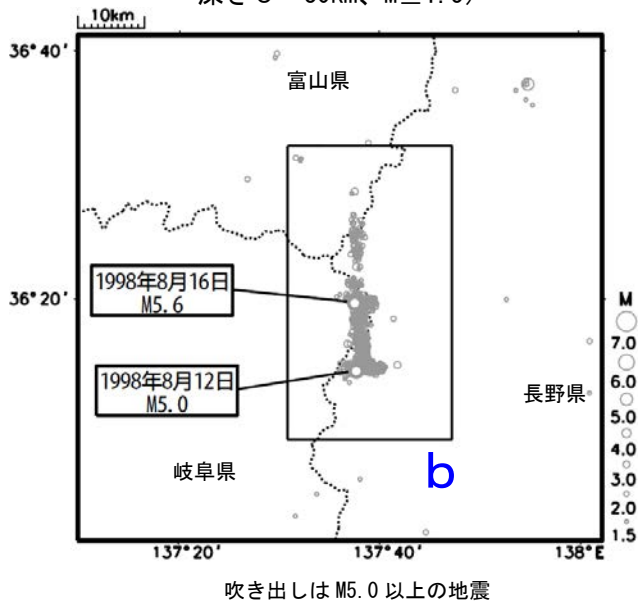
月日	震度1	震度2	震度3	震度4	合計
4月合計	48	13	5	1	67
5月合計	74	19	7	2	102
6月合計	11	2	0	0	13
7/1	0	0	0	0	0
7/2	0	0	0	0	0
7/3	1	1	0	0	2
7/4	0	0	0	0	0
7/5	7	2	3	0	12
7/6	6	2	0	0	8
7/7	3	1	0	0	4
7/8	2	0	0	0	2
7/9	0	0	0	0	0
7/10	0	0	0	0	0
7/11	0	0	0	0	0
7/12	1	0	0	0	1
7/13	0	0	0	0	0
7/14	3	0	0	0	3
7/15	4	1	0	0	5
7/16	0	0	0	0	0
7/17	0	0	0	0	0
7/18	2	0	0	0	2
7/19	0	0	0	0	0
7/20	0	0	0	0	0
7/21	0	2	0	0	2
7/22	0	0	0	0	0
7/23	0	0	0	0	0
7/24	0	0	0	0	0
7/25	0	0	0	0	0
7/26	1	0	0	0	1
7/27	0	0	0	0	0
7/28	1	0	0	0	1
7/29	0	0	0	0	0
7/30	0	0	0	0	0
7/31	0	0	0	0	0
合計	164	43	15	3	225

日別震度別震度回数（4月22日～7月31日）

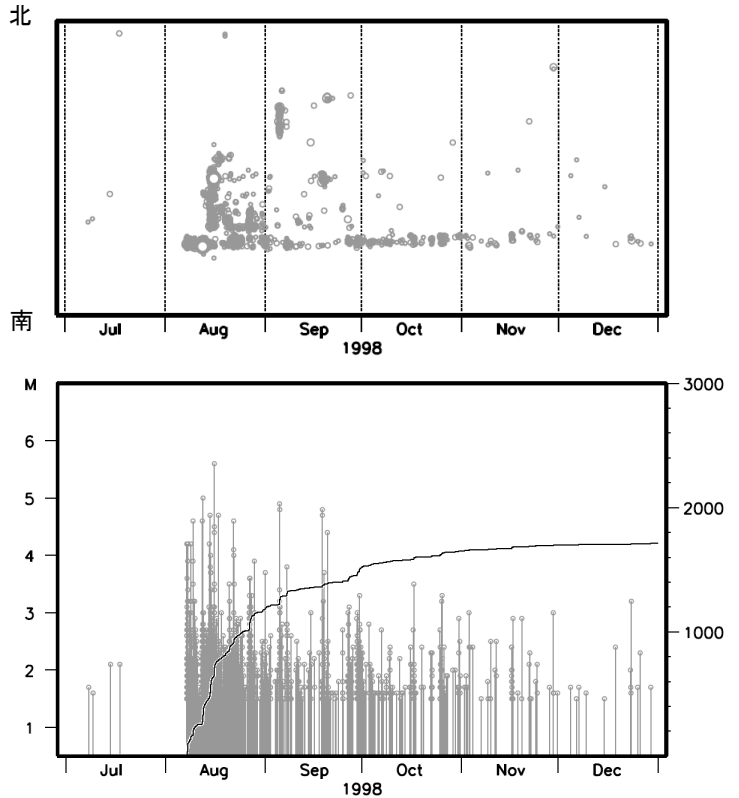


今回の地震活動と1998年の地震活動を比較してみると、今回の地震活動では7月も、7月5日のM4.8の地震で一時的に活発になったが、概ね1998年の地震活動の範囲内に収まっている。また、活動開始から約4ヶ月が経過し、1998年の時と同様に活動は消長を繰り返しながら推移しているが、7月5日のM4.8の地震を含む活発な活動により今回の地震活動の積算回数は1998年の時よりも多くなった。

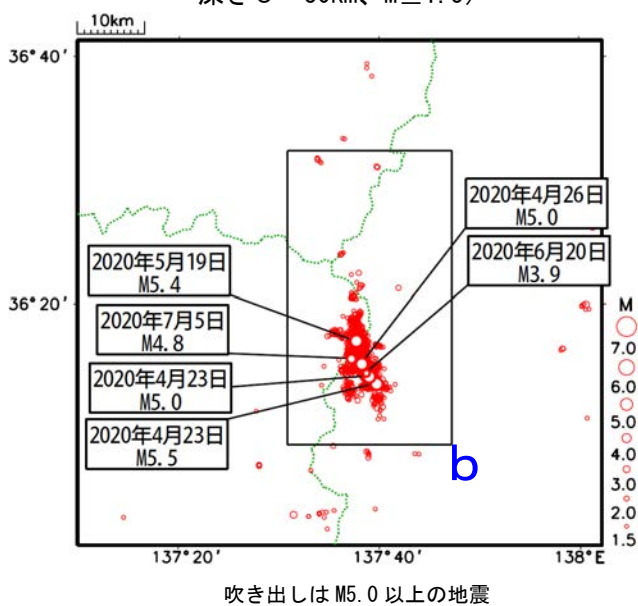
1998年の地震活動の震央分布図  
(1998年7月1日～12月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$ )



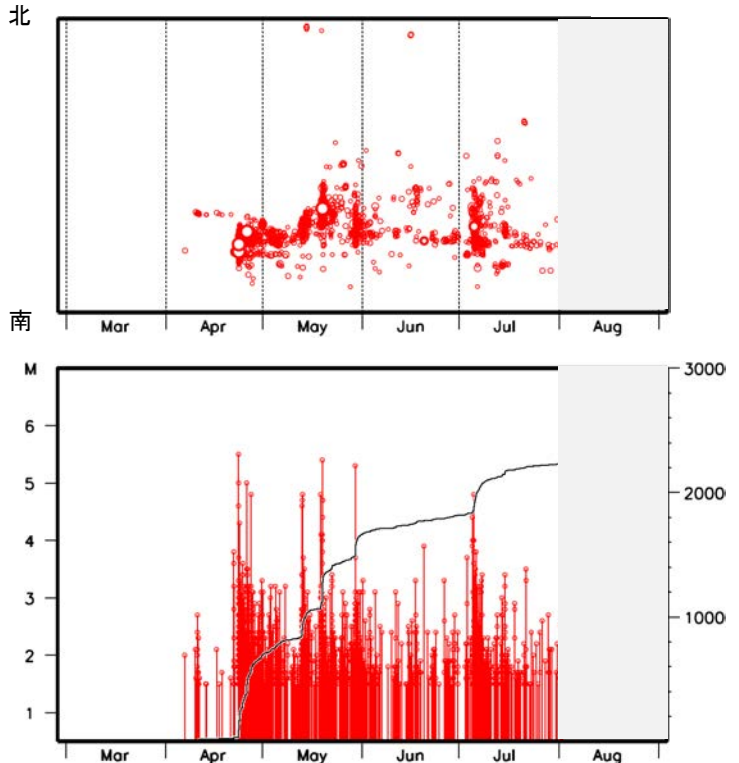
左図領域bの時空間分布図（南北投影）（上）、  
及び、M-T図と回数積算図（下）



2020年の地震活動の震央分布図  
(2020年3月1日～7月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$ )



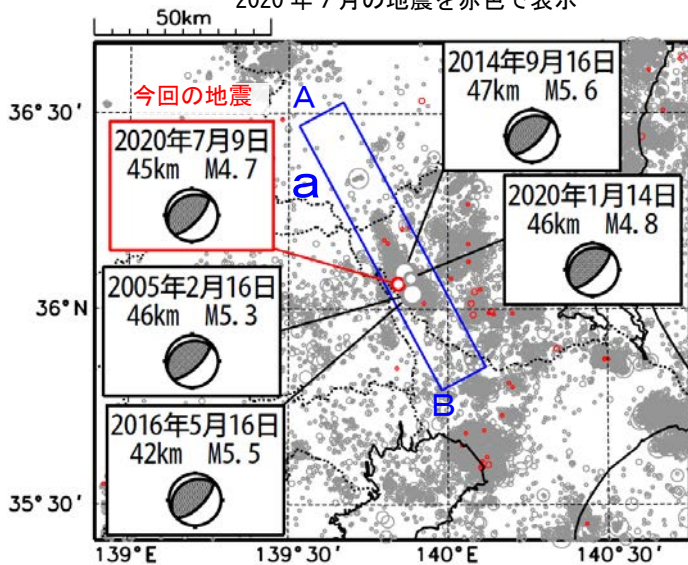
左図領域bの時空間分布図（南北投影）（上）、  
及び、M-T図と回数積算図（下）





## 7月9日 茨城県南部の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2020年7月31日、  
 深さ0～100km、M≥2.0)  
 2020年7月の地震を赤色で表示



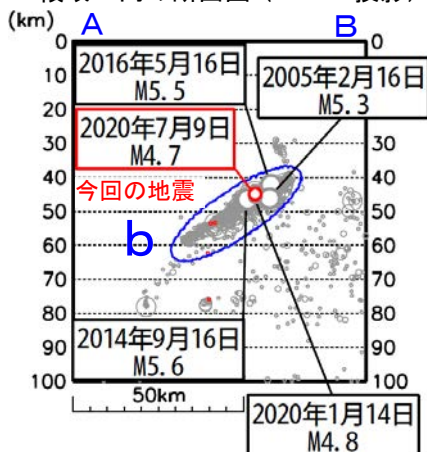
2020年7月9日06時05分に茨城県南部の深さ45kmでM4.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は活動が活発な領域で、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動がより活発になった。最近では2020年1月14日にM4.8の地震(最大震度4)が発生した。また、今回の地震の発生場所の近くでは、2014年9月16日にM5.6の地震(最大震度5弱)が発生し、負傷者10人、住家一部破損1,060棟等の被害を生じた(総務省消防庁による)。

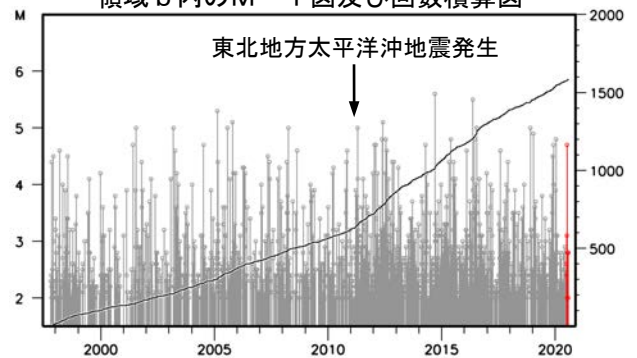
M  
7.0  
6.0  
5.0  
4.0  
3.0  
2.0

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

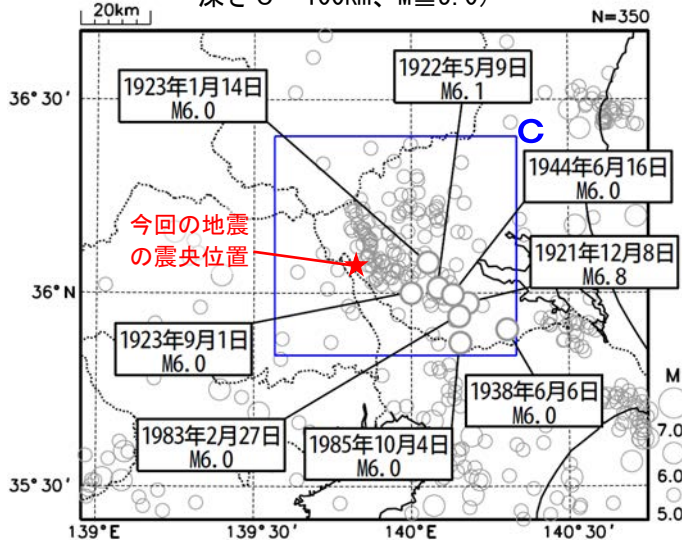
領域a内の断面図(A-B投影)



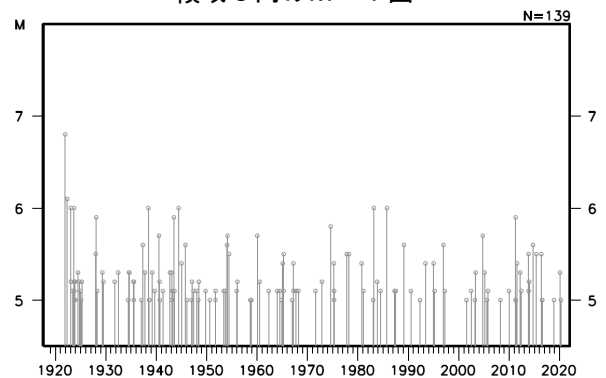
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1919年1月1日～2020年7月31日、  
 深さ0～100km、M≥5.0)



領域c内のM-T図



## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

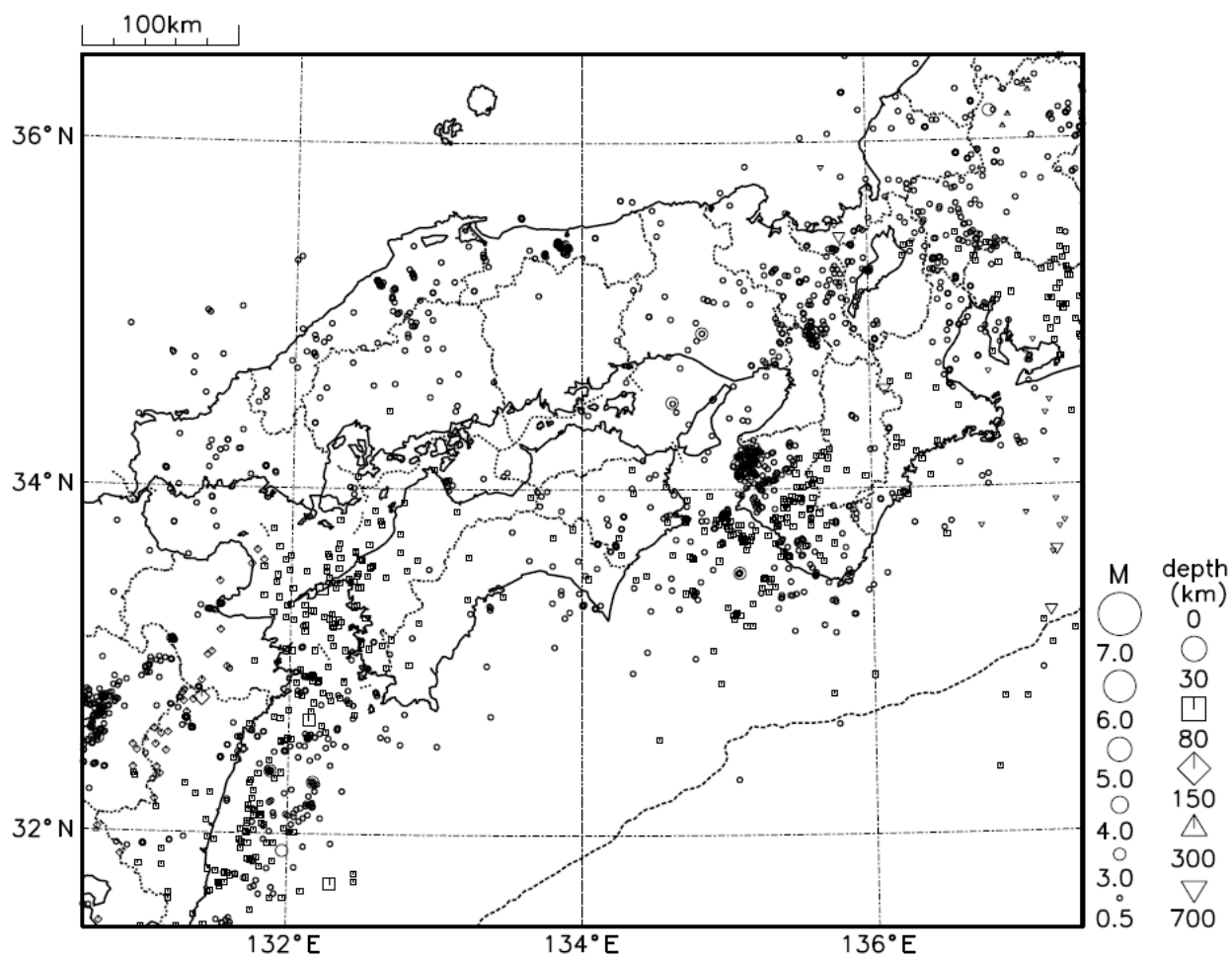


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### [概況]

7月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は16回（6月は7回）であった。7月中、特に目立った活動はなかった。

### ○九州地方の地震活動

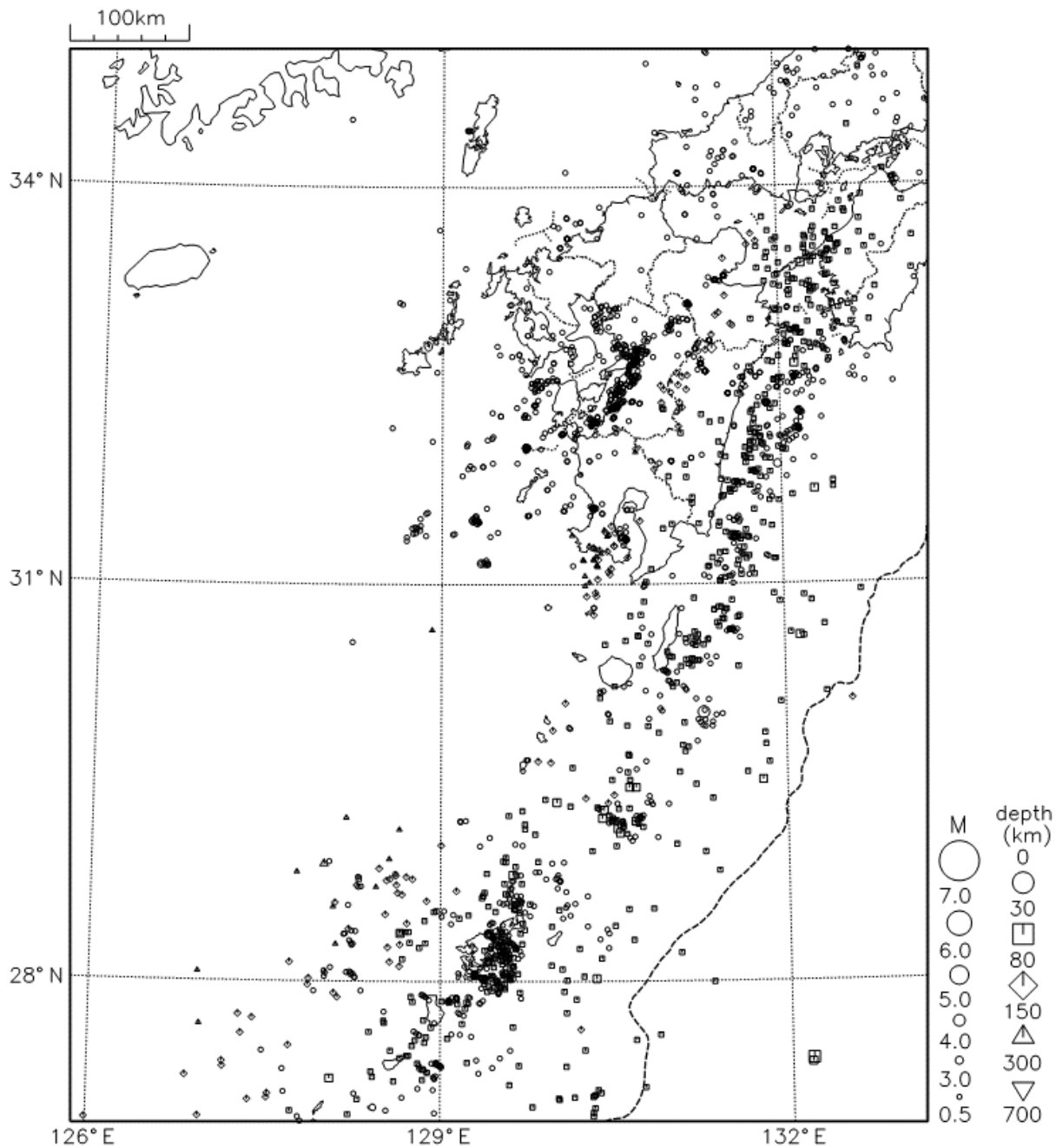


図9 九州地方の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、M $\geq$ 0.5）

[概況]

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は24回（6月は24回）であった。  
7月中、特に目立った活動はなかった。

## ○沖縄地方の地震活動

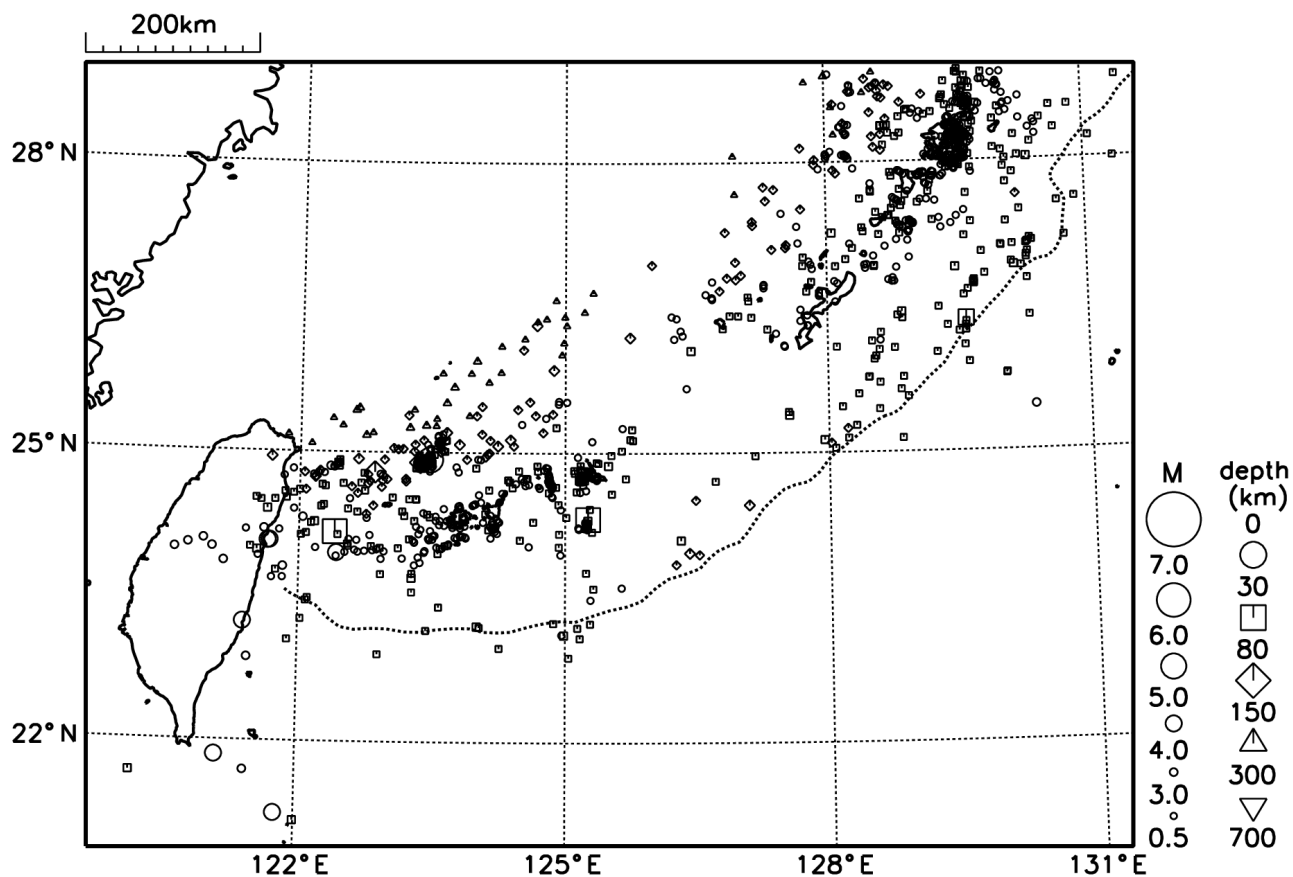


図10 沖縄地方の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### [概況]

7月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は3回（6月は19回）であった。  
7月中、特に目立った活動はなかった。



## ○その他の地域の地震活動

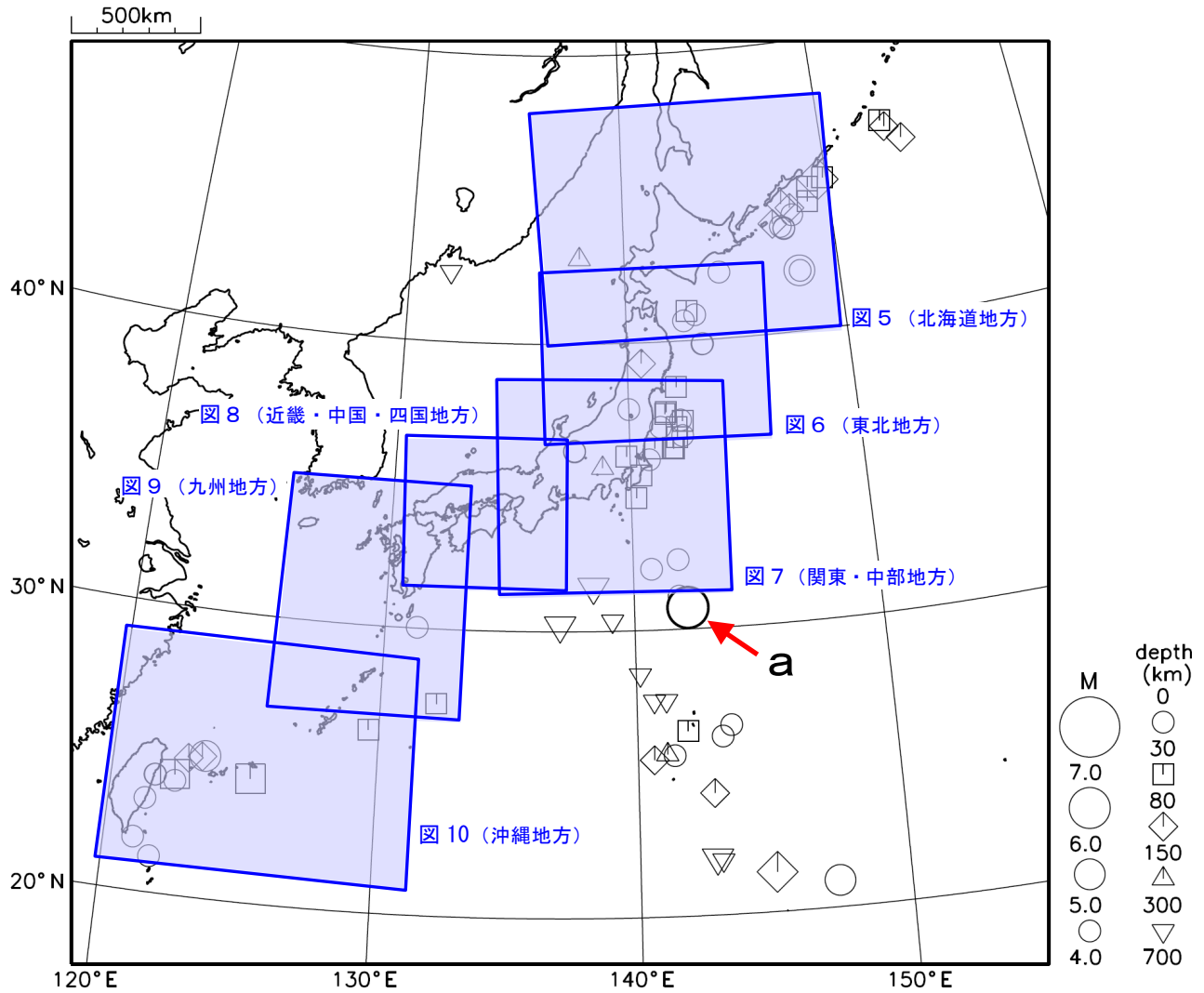


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2020年7月1日～7月31日、 $M \geq 4.0$ ）

### [概況]

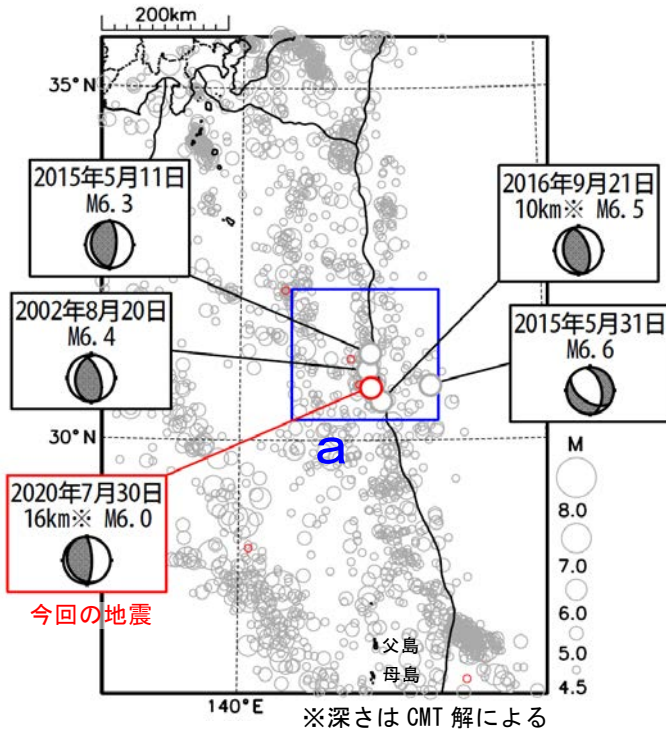
7月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震は1回であった（6月は2回）。

7月中に図5～10の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

30日09時35分に鳥島近海でM6.0の地震（震度1以上を観測した震度観測点はなし、図11中のa）が発生した。（p.15参照）。

## 7月30日 鳥島近海の地震

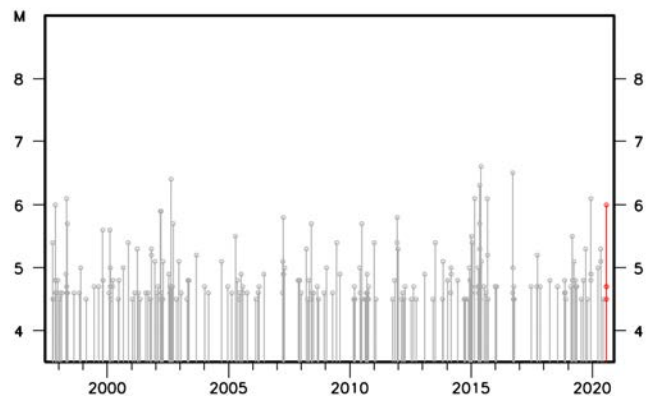
震央分布図  
 (1997年10月1日～2020年7月31日、  
 深さ0～700km、 $M \geq 4.5$ )  
 2020年7月の地震を赤く表示  
 図中の発震機構はCMT解



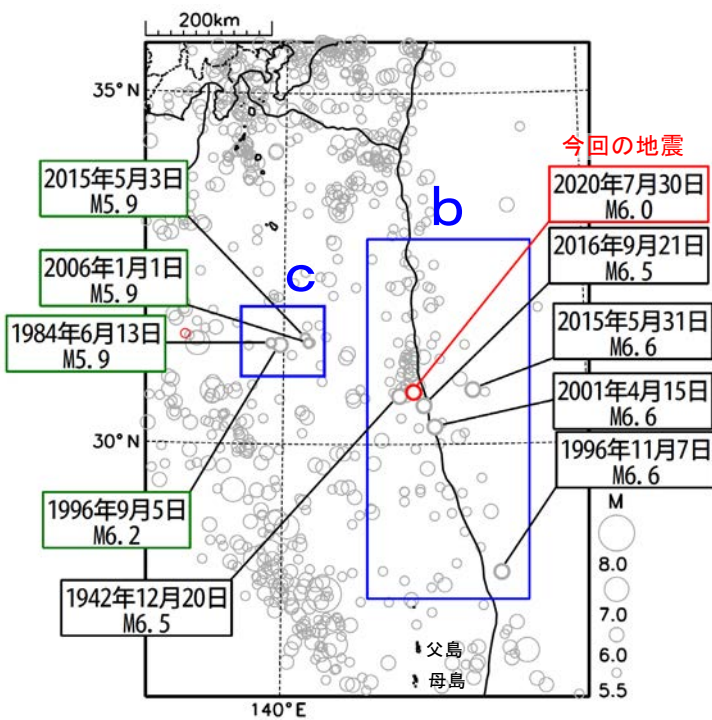
2020年7月30日09時35分に鳥島近海の深さ16km (CMT解による) でM6.0の地震 (震度1以上を観測した地点はなし) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図

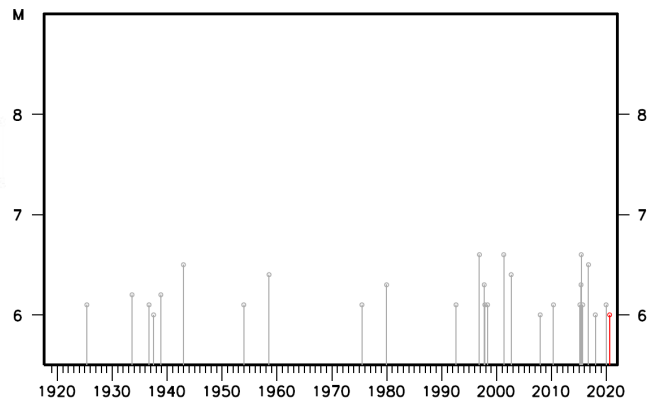


震央分布図  
 (1919年1月1日～2020年7月31日、  
 深さ0～700km、 $M \geq 5.5$ )  
 2020年7月の地震を赤く表示



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震が時々発生しているが、揺れによる被害が生じた地震は発生していない。なお、鳥島近海 (領域c) では、1996年9月5日に発生したM6.2の地震をはじめ、M6程度の規模でも津波を観測する地震が発生する可能性がある。

領域b内のM-T図



緑色の吹き出しは津波を観測した地震

## ● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第34回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第412回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和2年8月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料をp.18～50に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時<sup>(注)</sup>と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

### 1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

(1) 東海から紀伊半島北部：6月29日から7月14日

(2) 四国東部から四国西部：7月22日から継続中

### 2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。また、上記(1)の期間に同地域及びその周辺のGNSSのデータでも、わずかな地殻変動を観測しています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2019年中頃から志摩半島で観測されているそれまでの傾向とは異なるわずかな地殻変動は、最近では鈍化しているように見えます。

(長期的な地殻変動)

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

### 3. 地殻活動の評価

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2019年中頃からの志摩半島での地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び志摩半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、志摩半島周辺の長期的ゆっくりすべりは、最近では鈍化しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

(長期的な地殻変動)

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

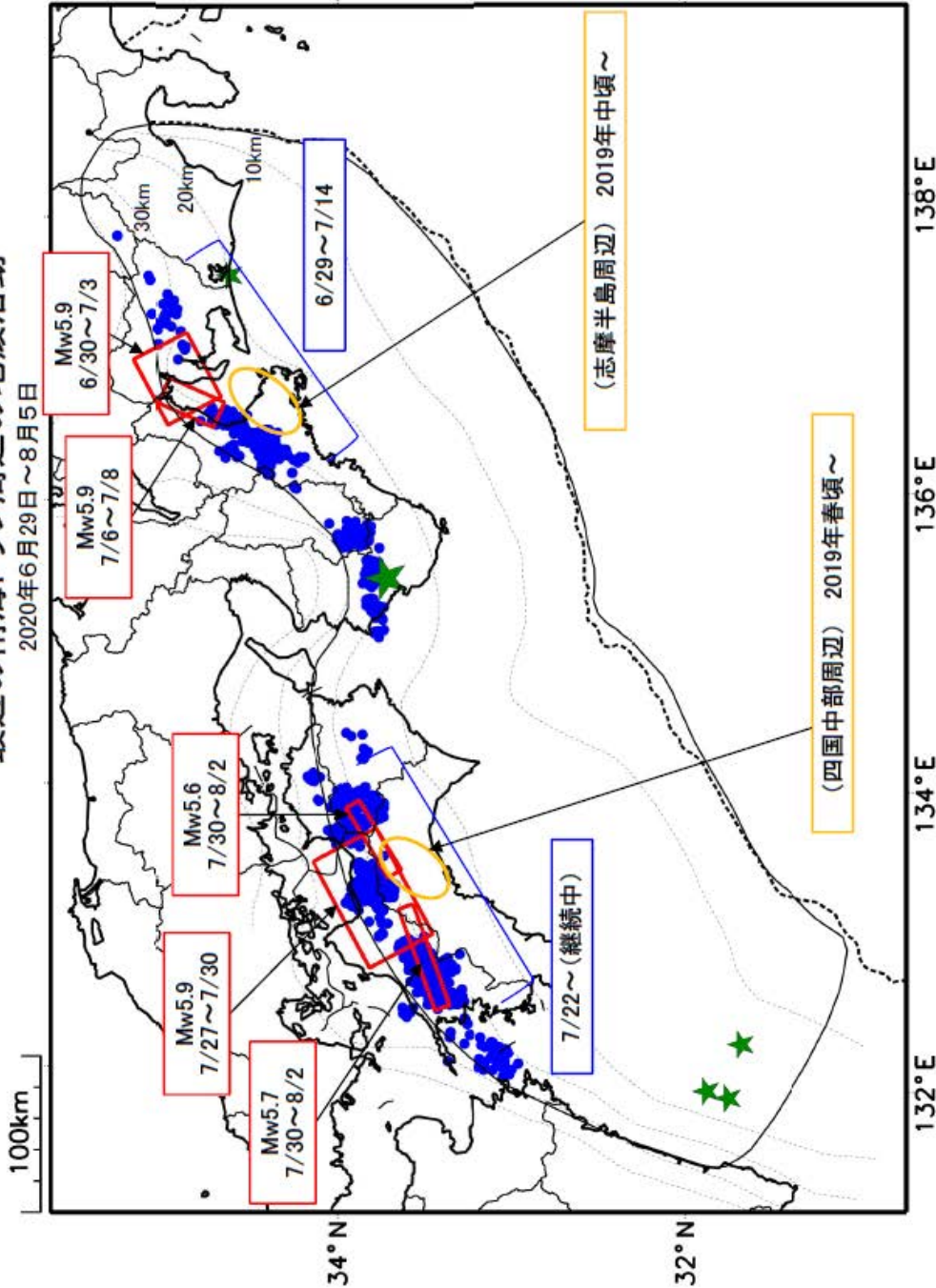
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2020年6月29日～8月5日



- 緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●) 深部低周波地震(微動)
- 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
- 黄(○) 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべり.....【東海から紀伊半島北部】気象庁の解析結果による。【四国東部から四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。  
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、志摩半島周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

気象庁作成



令和2年7月1日～令和2年8月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
7/11	03:19	遠州灘	30	3.7	2	フィリピン海プレート内部
7/12	15:06	日向灘	-	3.5	-	
7/19	09:28	日向灘	26	3.9	1	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
8/1	12:15	和歌山県南部	46	4.2	3	フィリピン海プレート内部
8/5	20:40	日向灘	25	3.5	-	

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<b>■四国東部</b> 6月28日～7月4日 7月10日～11日 7月15日～16日 7月21日～27日 <u>7月30日～（継続中）</u> ・・・(2)	<b>■紀伊半島北部</b> 6月30日～7月1日 <u>7月3日～14日</u> ・・・(1) 7月29日～30日 8月3日  <b>■紀伊半島中部</b> 7月12日 7月17日 7月19日～20日 7月24日 7月30日～31日  <b>■紀伊半島西部</b> 7月2日～3日 7月11日～13日 7月19日 7月26日 7月28日～30日 8月1日～4日	<u>6月29日～7月5日</u> ・・・(1) 7月12日～13日 7月15日 7月24日～25日 7月30日～31日 8月2日～4日
<b>■四国中部</b> <u>7月22日～8月4日</u> ・・・(2)		
<b>■四国西部</b> 7月5日～7日 7月12日～18日 7月20日～22日 7月24日～26日 <u>7月29日～（継続中）</u> ・・・(2)		

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

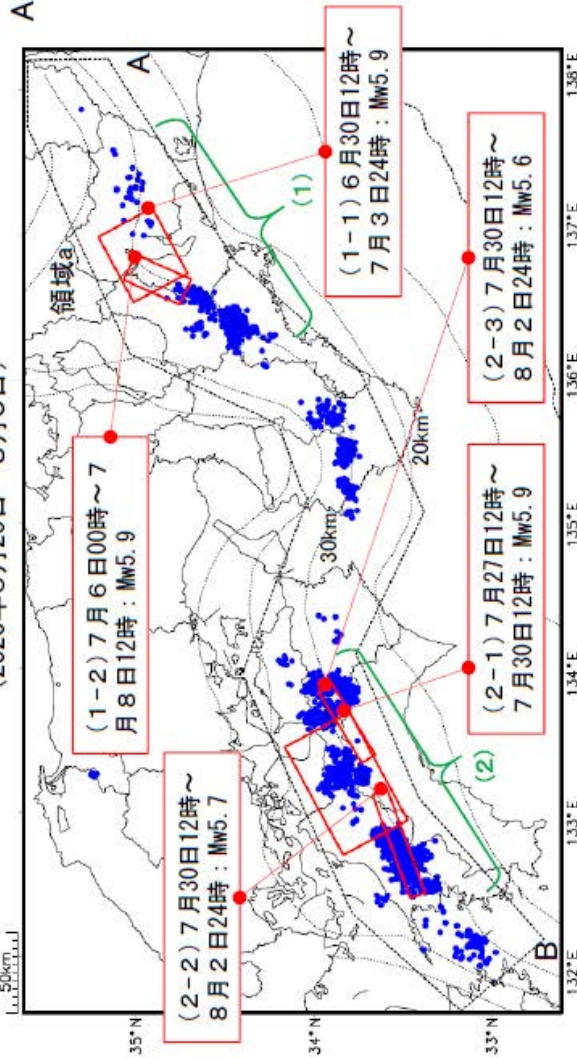
※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）、（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

気象庁作成

# 深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

深部低周波地震（微動）の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル  
 (2020年6月25日～8月5日)

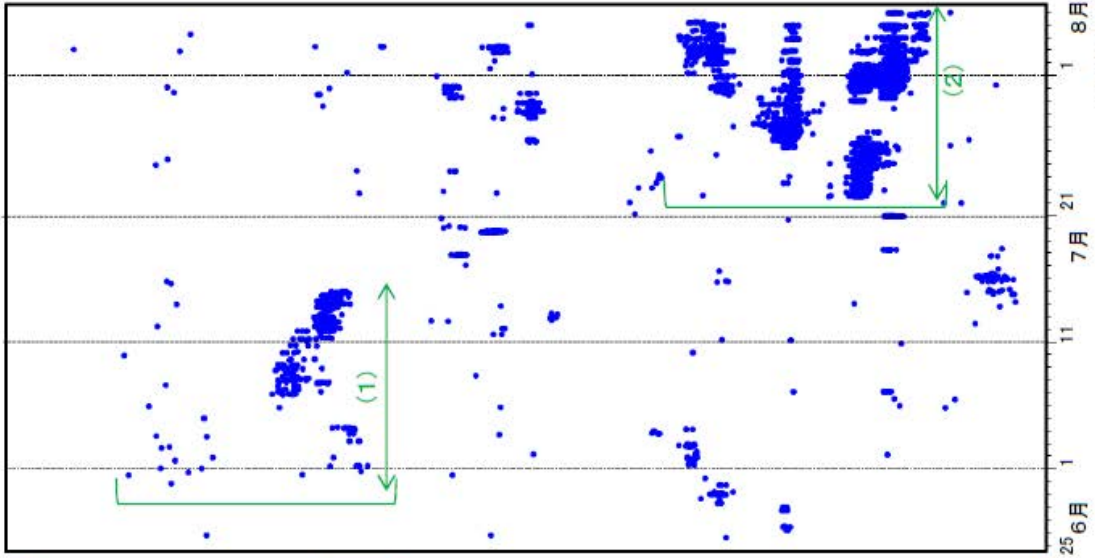


主な深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

活動場所	深部低周波地震(微動)活動の活動の期間	短期的ゆっくりすべりの期間と規模
(1) 東海から紀伊半島北部	6月29日～7月14日	(1-1) 6月30日12時～7月3日24時: Mw5.9 (1-2) 7月6日00時～7月8日12時: Mw5.9
(2) 四国東部から四国西部	7月22日～(継続中)	(2-1) 7月27日12時～7月30日12時: Mw5.9 (2-2) 7月30日12時～8月2日24時: Mw5.7 (2-3) 7月30日12時～8月2日24時: Mw5.6

**B**  
 ●: 深部低周波地震(微動) 震央(気象庁の解析結果を示す) 期間(気象庁の解析結果を示す)  
 □: 短期的ゆっくりすべりの断層モデル(東海から紀伊半島北部:気象庁の解析結果を示す。四国:産業技術総合研究所の解析結果を示す。)  
 点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10km)ごとの等深線を示す。

領域a(点線矩形)内の深部低周波地震(微動)の時空間分布図(A-B投影)



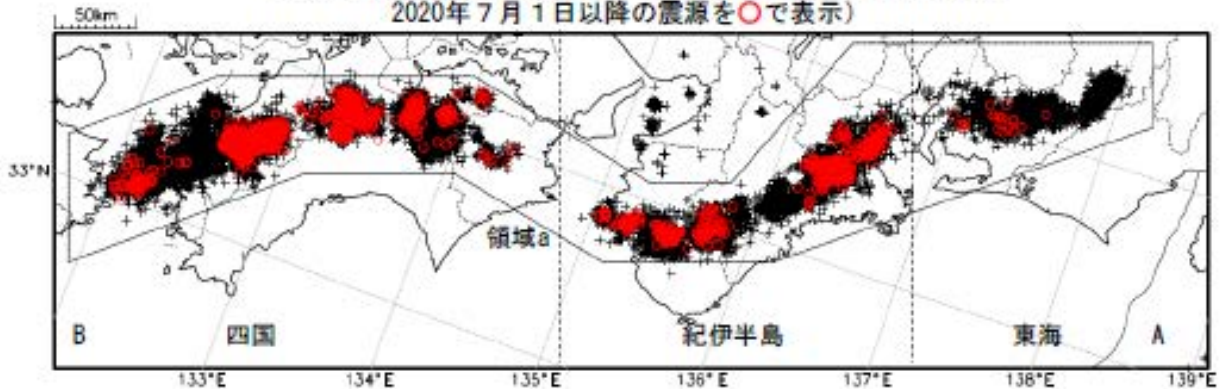
気象庁作成



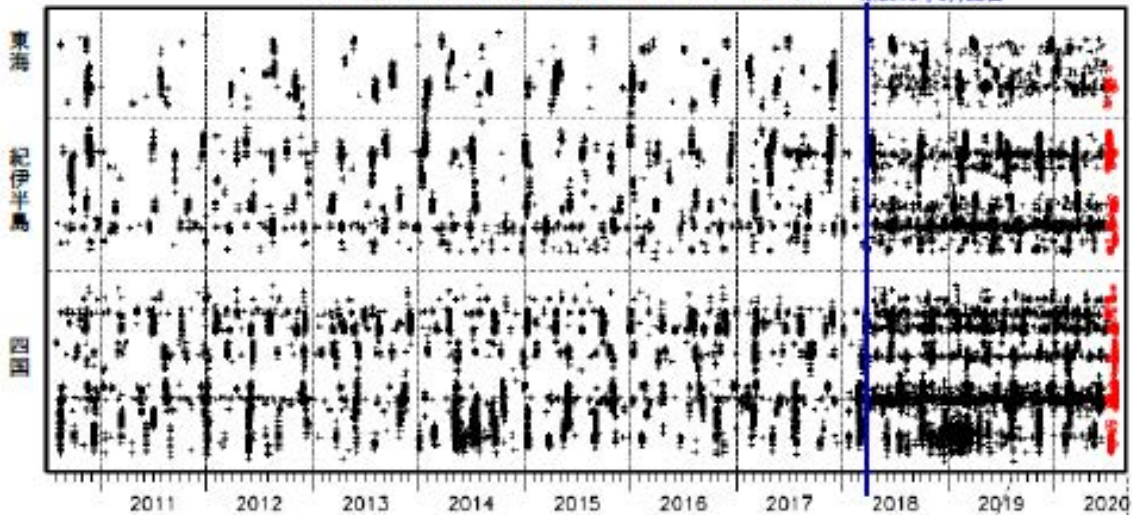
## 深部低周波地震（微動）活動（2010年8月1日～2020年7月31日）

深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

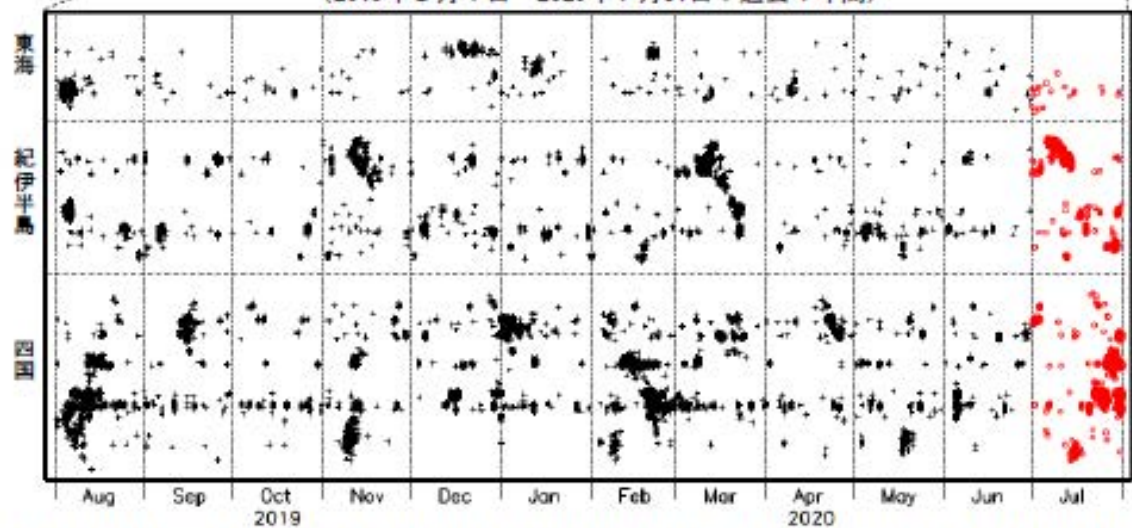
震央分布図（2010年8月1日～2020年7月31日：過去10年間  
2020年7月1日以降の震源を○で表示）



上図領域a内の時空間分布図（A-B投影） ※2018年3月22日



（2019年8月1日～2020年7月31日：過去1年間）



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成



## 東海から紀伊半島北部の深部低周波地震(微動)活動と 短期的ゆっくりすべり

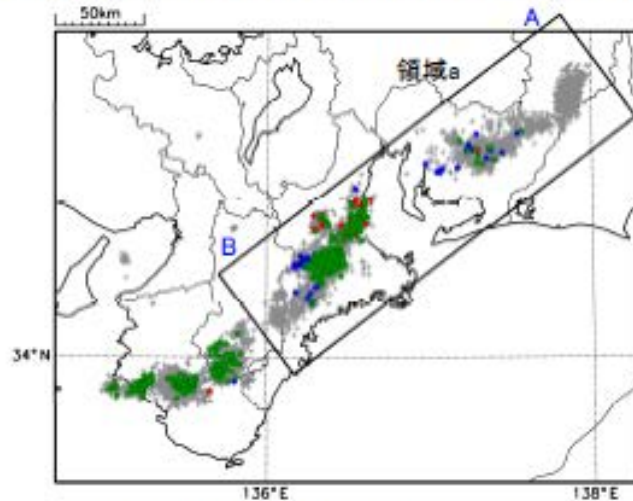
6月29日から7月14日にかけて、東海から紀伊半島北部で深部低周波地震(微動)を観測した。6月29日に東海で始まった活動は、7月6日以降は主に紀伊半島北部でみられ、14日かけて南西に広がった。

深部低周波地震(微動)活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

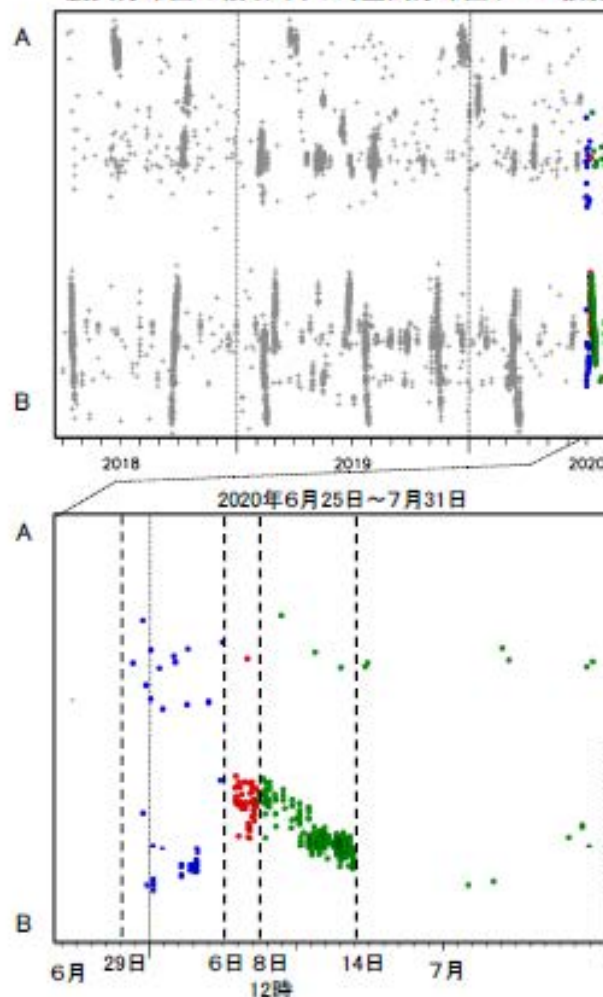
### 深部低周波地震(微動)活動

震央分布図(2018年4月1日～2020年7月31日、深さ0～60km、Mすべて)

灰:2018年4月1日～2020年6月28日、青:2020年6月29日～7月5日、赤:7月6日～7月8日12時、緑:7月8日12時～7月31日



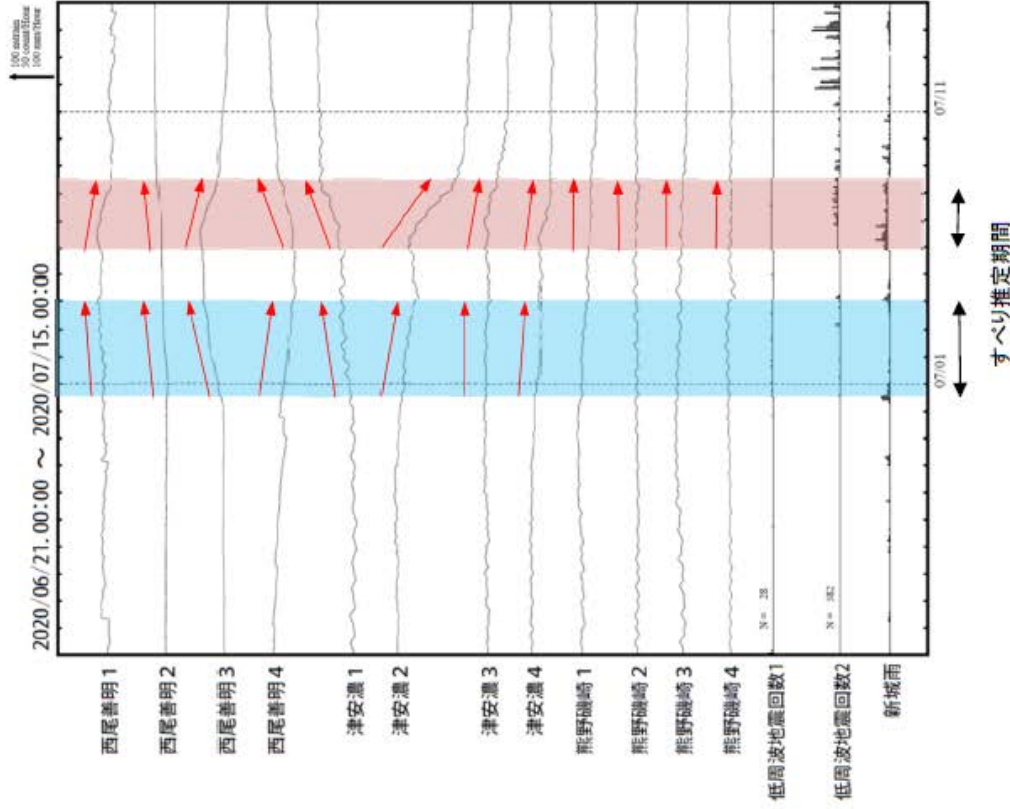
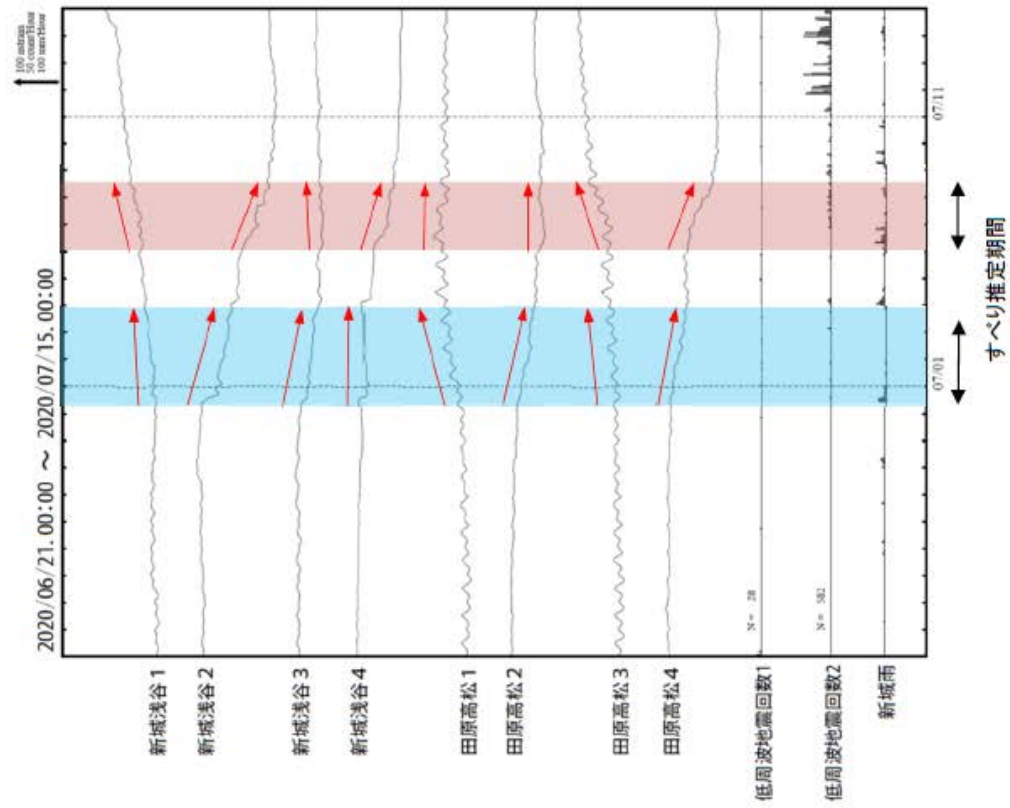
震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)



気象庁作成

東海から紀伊半島北部で観測した短期的ゆっくりすべり(6月30日～7月8日)

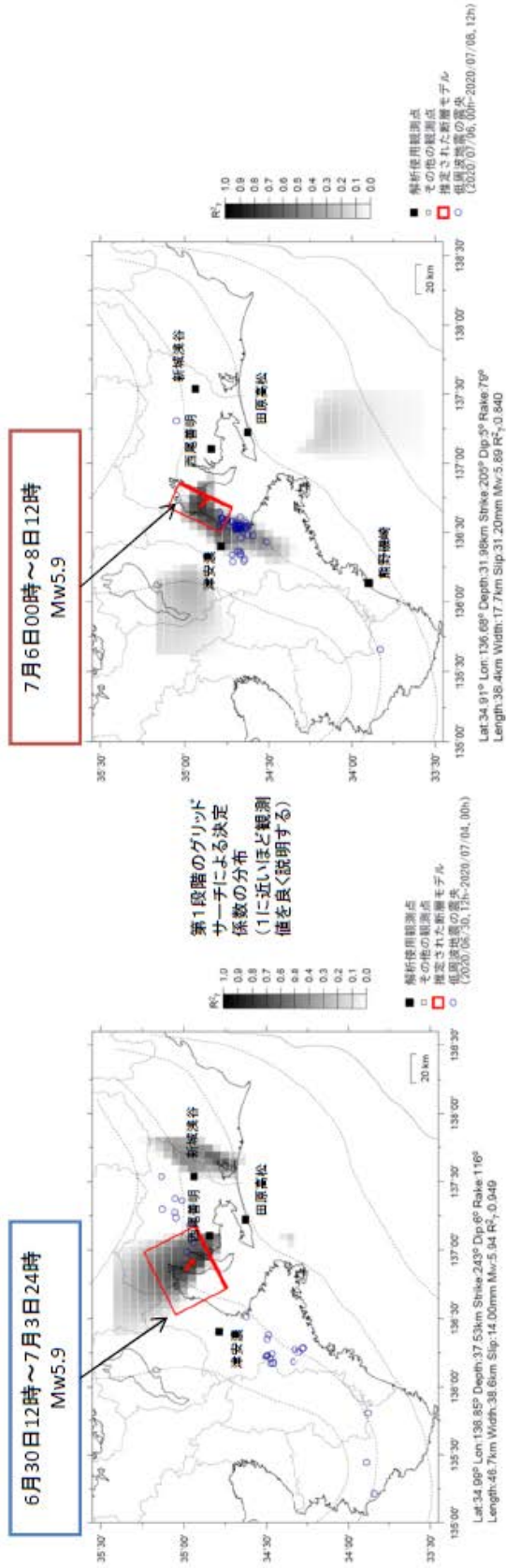
愛知県から三重県で観測されたひずみ変化



西尾善明、津安濃及び熊野磯崎は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

東海から紀伊半島北部で観測した短期的ゆっくりすべり(6月30日～7月8日)

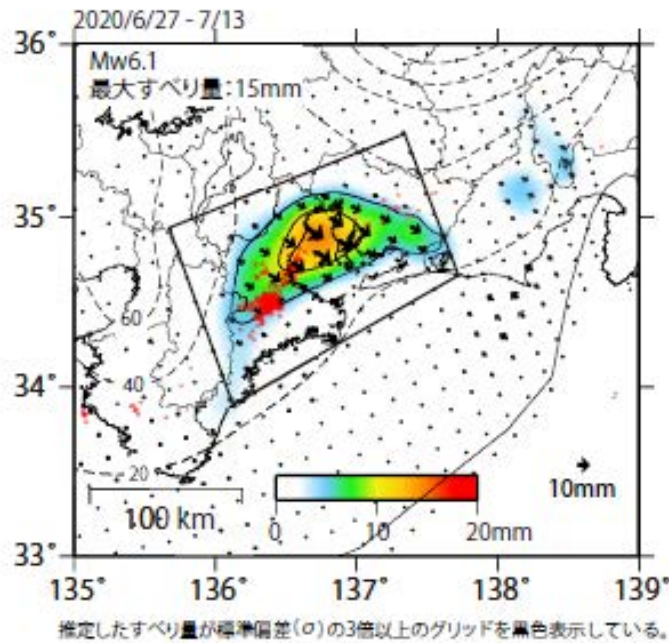


前図に観測されたひずみ観測点での変化量を元にすべり推定を行ったところ、低周波地震とほぼ同じ場所にすべり域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法(坂場ほか, 2012)を参考に以下の2段階で行う。  
 ・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。  
 ・その位置を中心に、他の断層パラメータの最適解を求める。

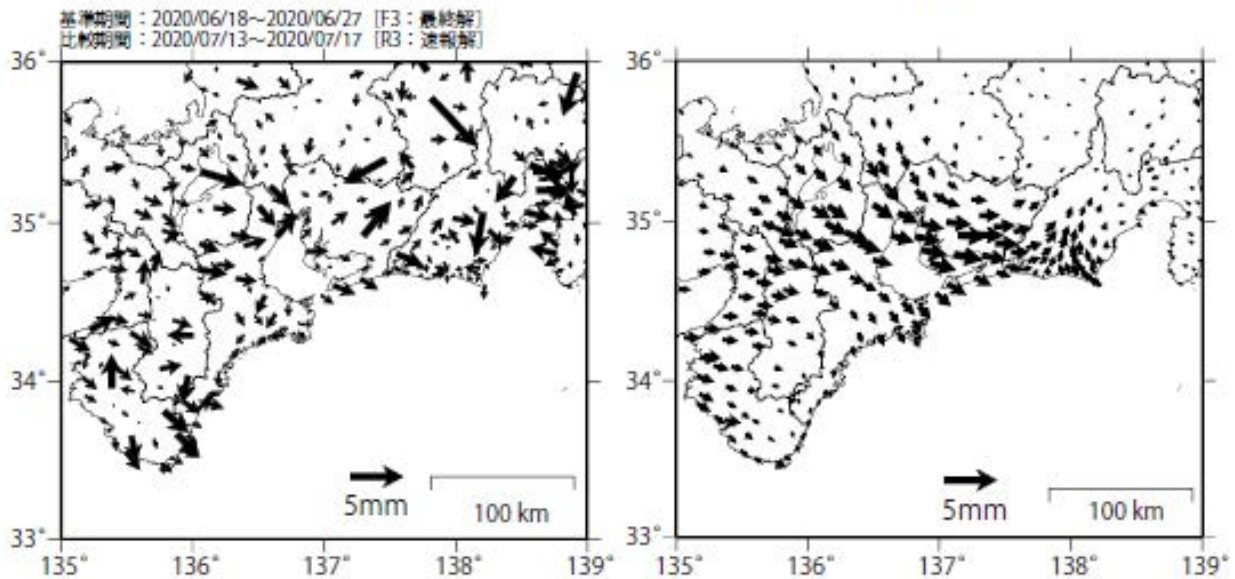


GNSSデータから推定された  
紀伊半島北部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)



観測

計算



解析に使用した全観測点の座標時系列から  
共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯33.4~36°、東経135~139°  
使用データ: F3解(2020/6/1 - 2020/7/4)+R3解(2020/7/5 - 2020/7/17)  
トレンド期間: 2018/1/1 - 2019/1/1  
モーメント計算範囲: 上段の図の黒枠内側  
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他, 2007)  
赤丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)  
コンター間隔: 5mm  
固定高: 三隅

国土地理院

四国の深部低周波微動活動状況（2020年7月） 防災科研 MOWLAS

- 7月14～18日頃に豊後水道において、やや活発な活動。
- 7月22日頃より四国東部から西部において、活発な活動。

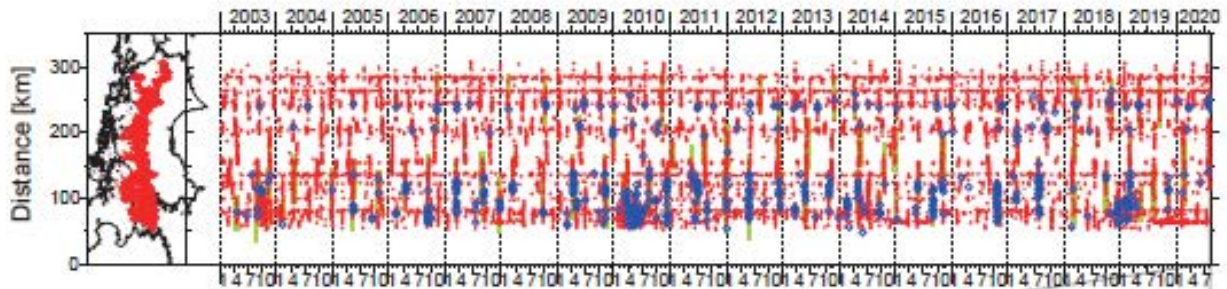
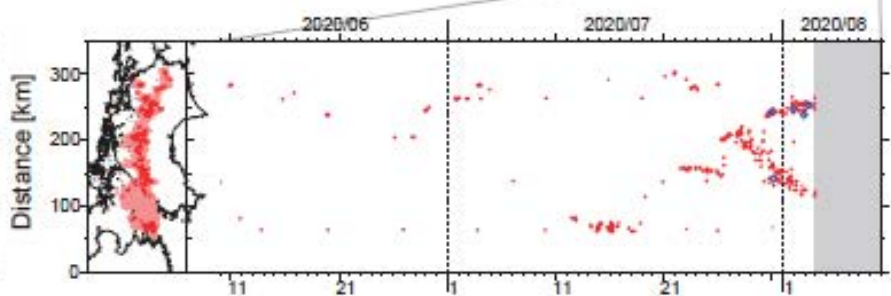


図1. 四国における2003年1月～2020年8月3日までの深部低周波微動の時空間分布(上図)。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法(Maeda and Obara, 2009)およびクラスタ処理(Obara et al., 2010)によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期20秒



に卓越する超低周波地震(Ito et al., 2007)である。黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント(SSE)を示す。下図は2020年7月を中心とした期間の拡大図である。7月14～18日頃に豊後水道においてやや活発な活動がみられ、南方向への活動域の移動が若干みられた。7月22日頃から開始した活発な活動は、徳島県西部から愛媛県西部の領域でみられている。この活動は愛媛県中部で開始した後、26日頃から愛媛県東部で活発化し、西方向への活動域の移動がみられる。30日頃からは愛媛・徳島県境付近でも活動が活発化し、やや東方向への活動域の移動がみられる。7月1～4日頃には徳島県中部から香川県において、7月21～26日頃には徳島県東部から香川県において、それぞれ小規模な活動がみられた。7月12日頃には豊後水道において、ごく小規模な活動がみられた。

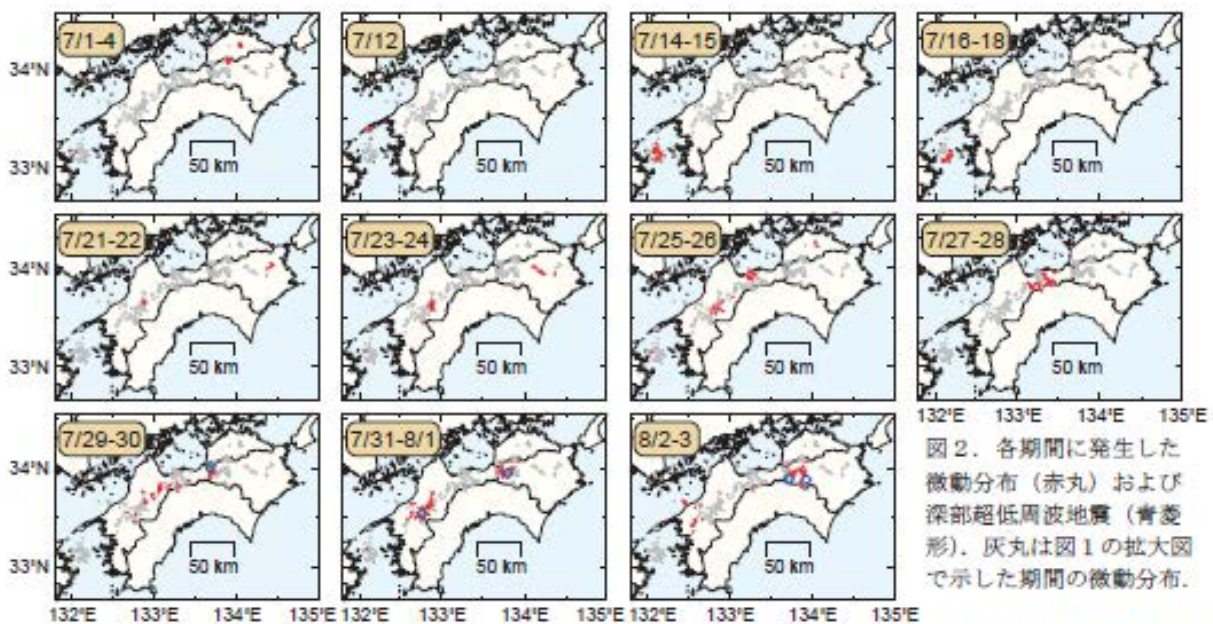


図2. 各期間に発生した微動分布(赤丸)および深部超低周波地震(青菱形)。灰丸は図1の拡大図で示した期間の微動分布。

防災科学技術研究所資料



暫定

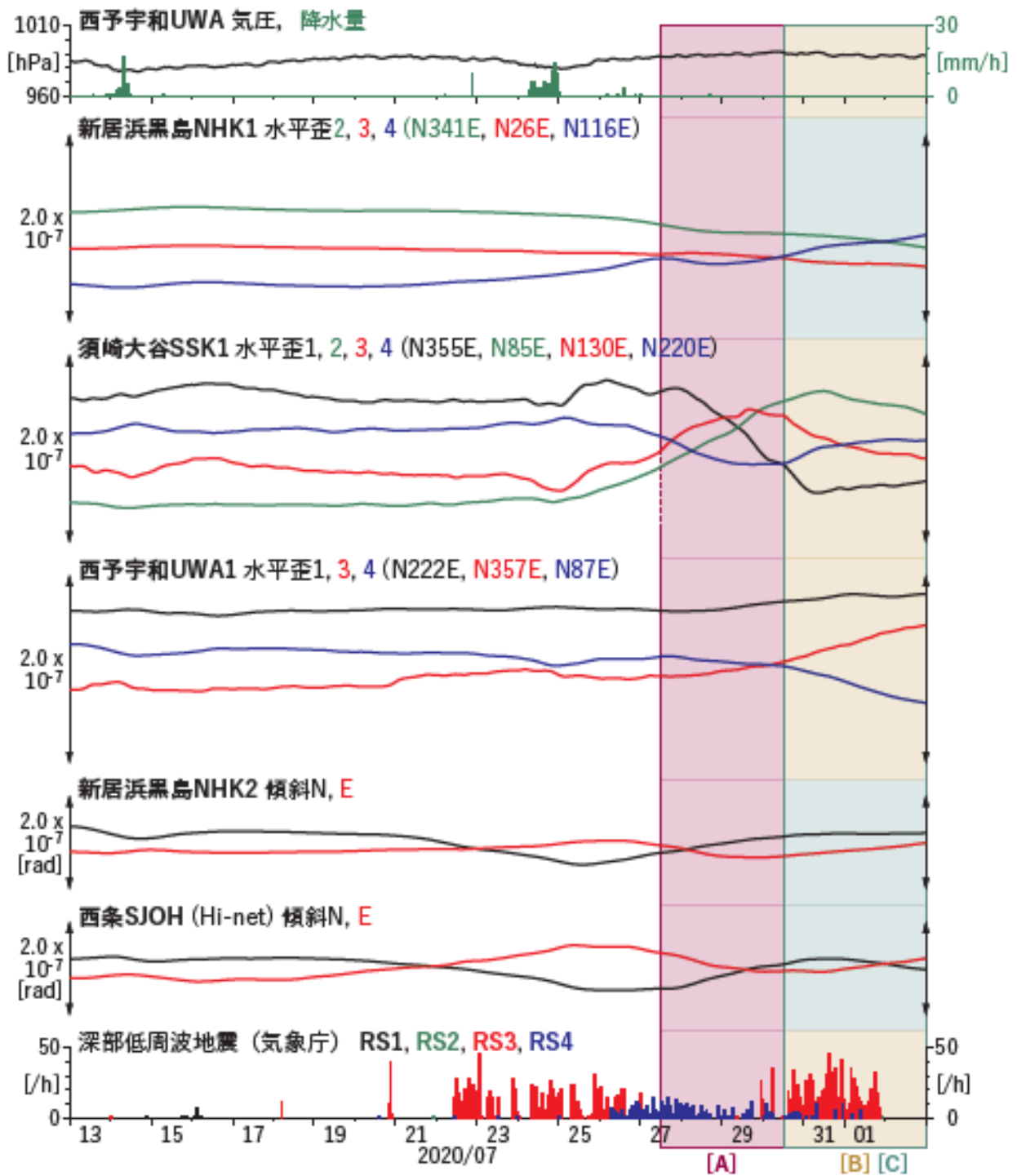


図6 歪・傾斜の時間変化 (2020/07/13 00:00 - 2020/08/03 00:00 (JST))

暫定

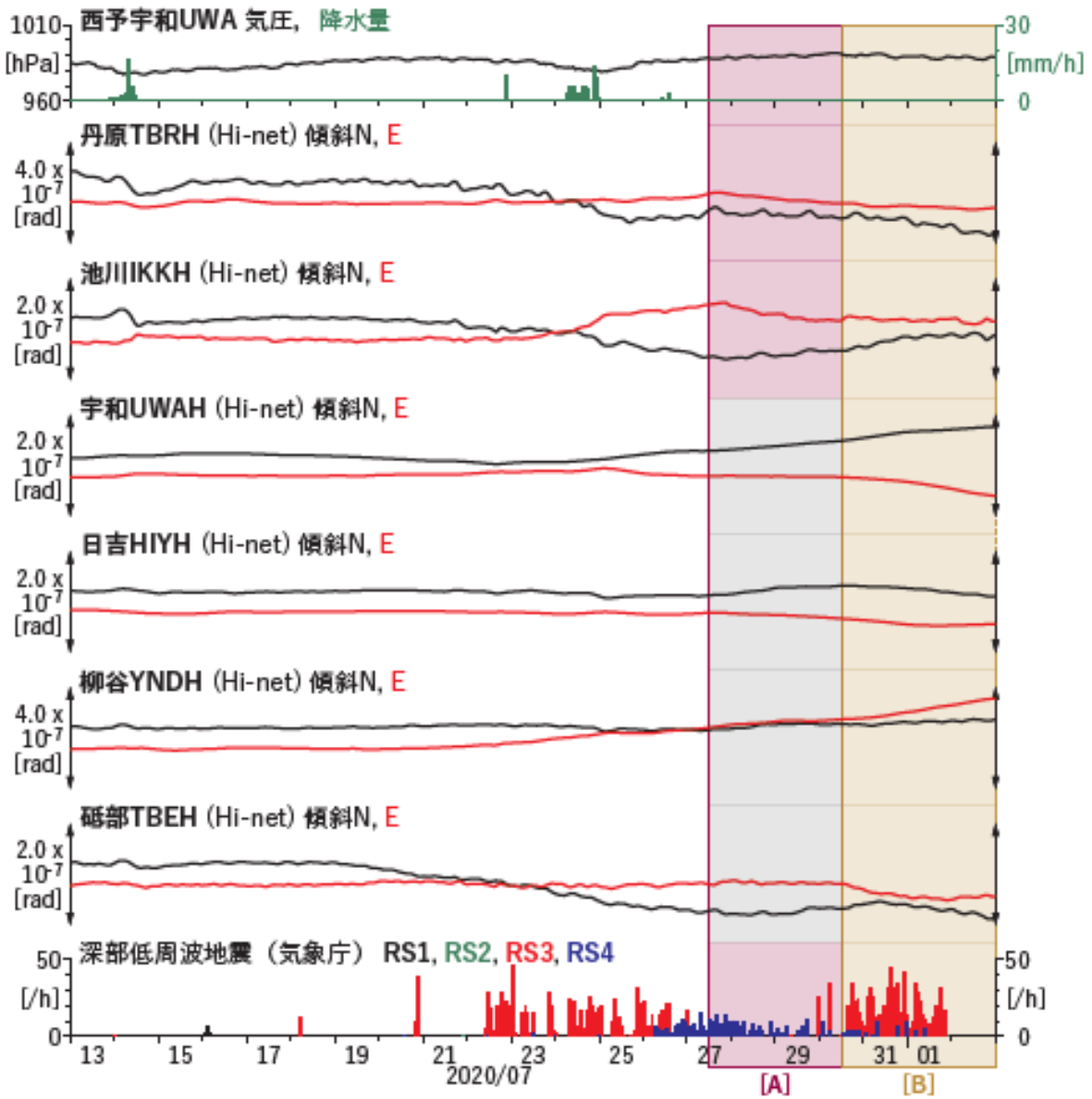


図7 傾斜の時間変化 (2020/07/13 00:00 - 2020/08/03 00:00 (JST))

暫定

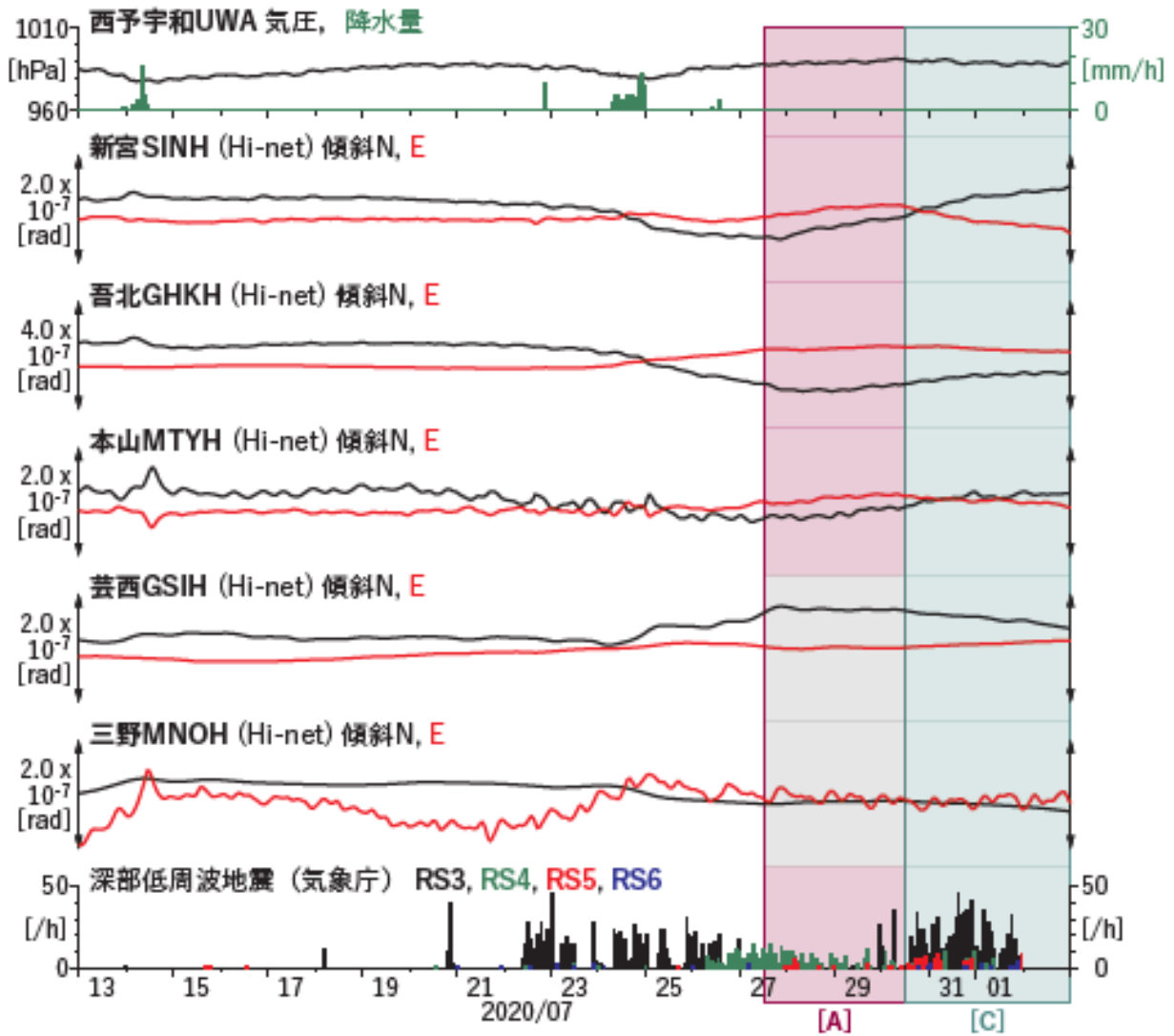


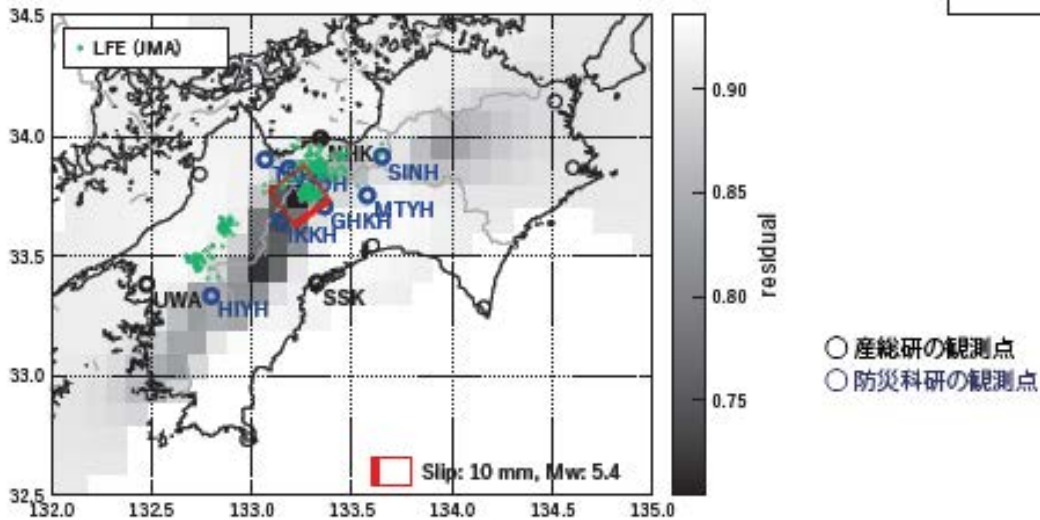
図8 傾斜の時間変化 (2020/07/13 00:00 - 2020/08/03 00:00 (JST))



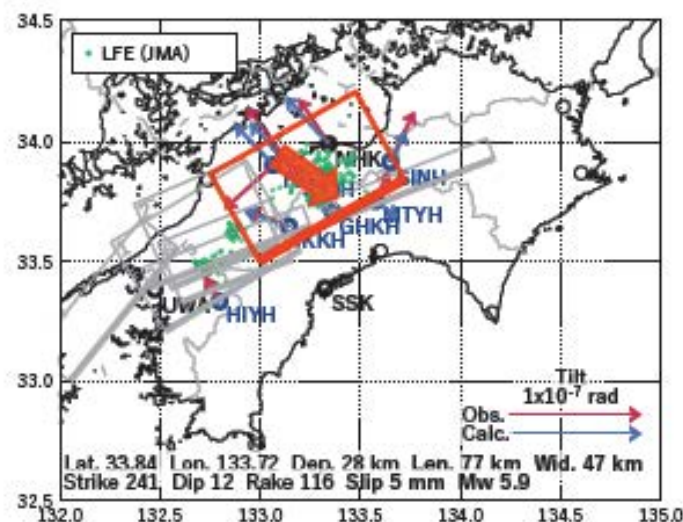
[A] 2020/07/27PM - 30AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布

暫定



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

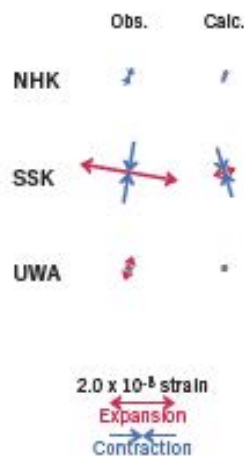


図9 2020/07/27PM - 30AM の歪・傾斜変化（図6-8[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

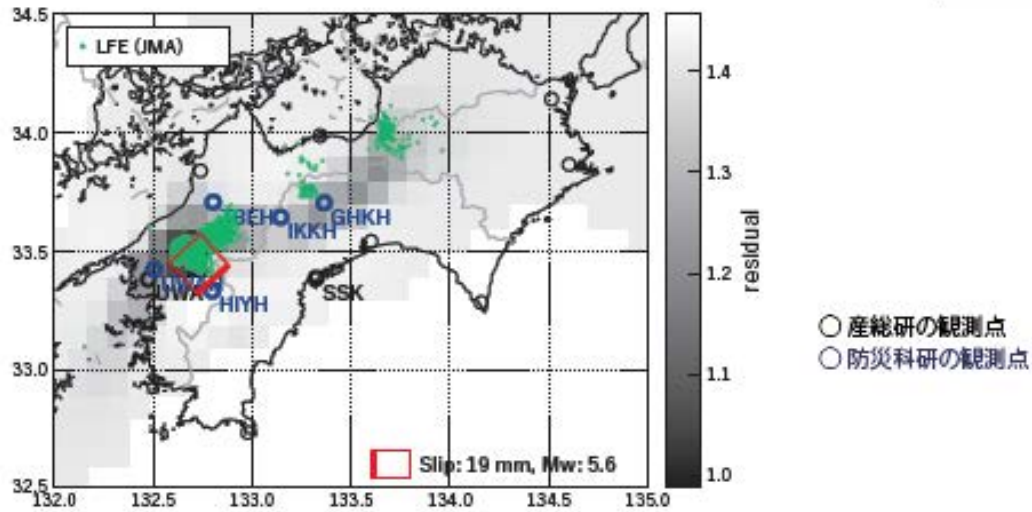
4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

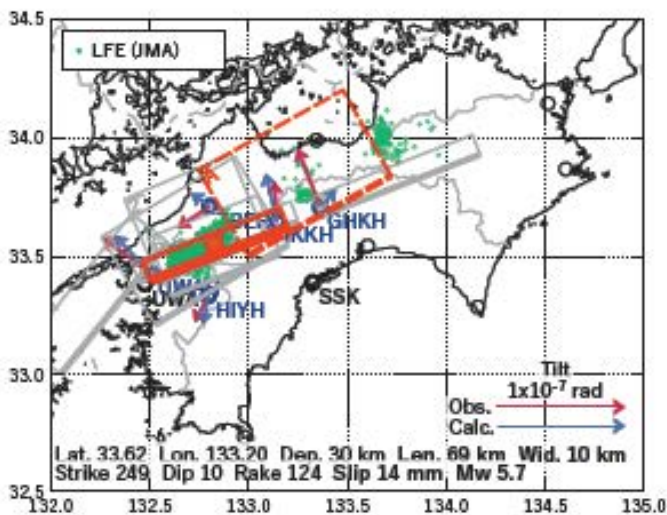
[B] 2020/07/30PM - 08/02

暫定

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

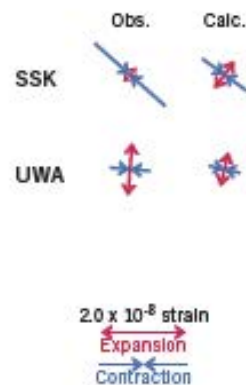


図10 2020/07/30PM - 08/02 の歪・傾斜変化（図6-8[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

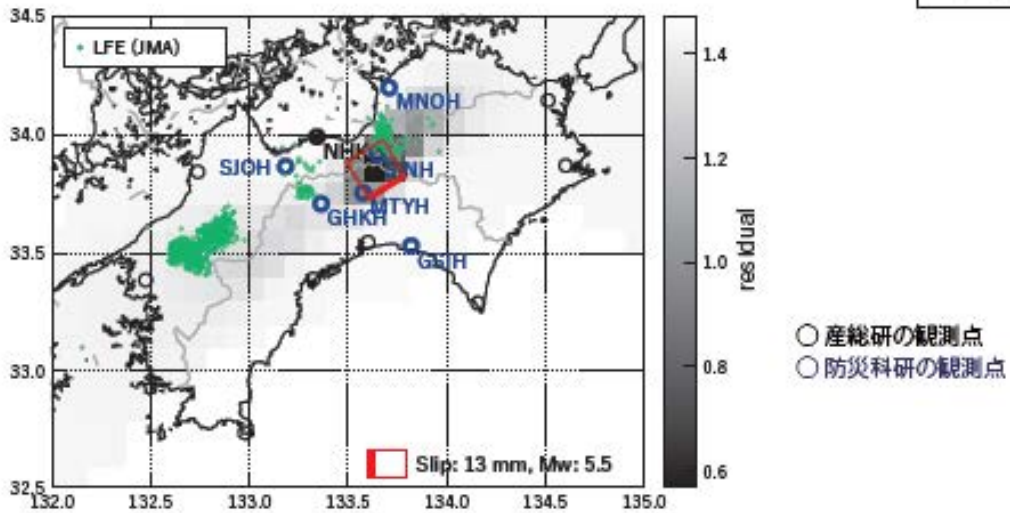
A: 2020/07/27PM - 30AM (Mw5.9)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

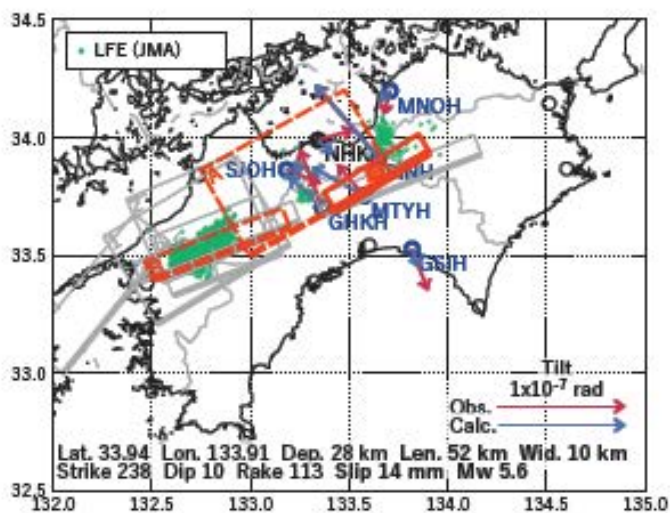
[C] 2020/07/30PM - 08/02

暫定

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

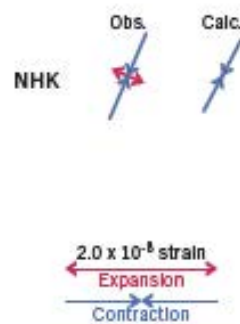


図11 2020/07/30PM - 08/02 の歪・傾斜変化（図6-8[C]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2020/02/19-20AM (Mw5.5), 2: 2020/02/20PM-21AM (Mw5.8), 3: 2020/02/21PM-22 (Mw5.6)

4: 2020/04/23-27 (Mw5.5), 5: 2020/05/17-20AM (Mw5.6), 6: 2020/06/04PM-06 (Mw5.5)

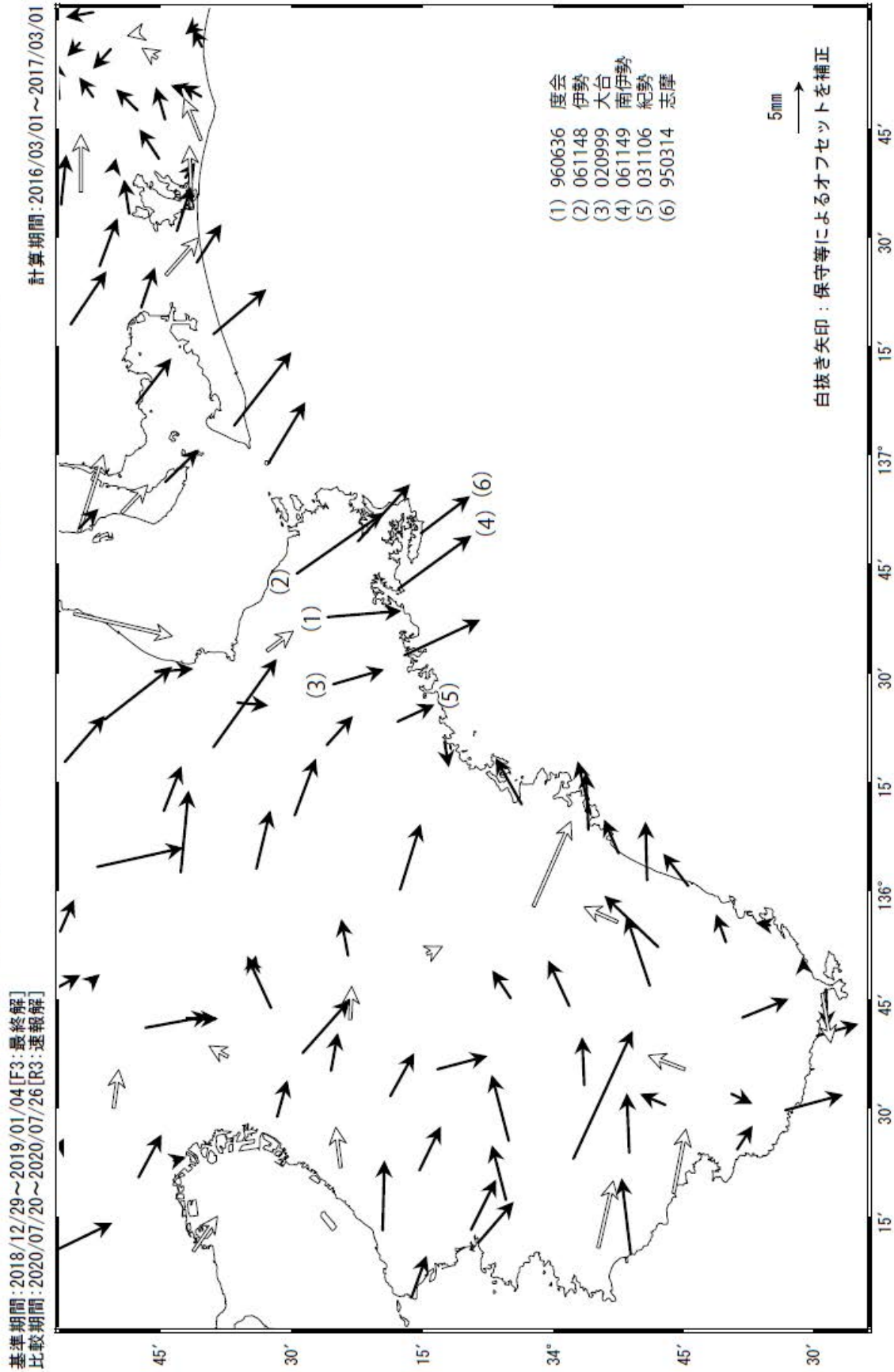
A: 2020/07/27PM - 30AM (Mw5.9), B: 2020/07/30PM - 08/02 (Mw5.7)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。



（国土地理院による GNSS 解析）

志摩半島の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

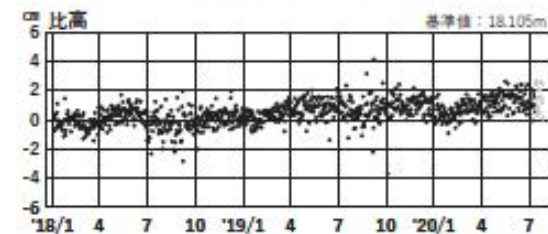
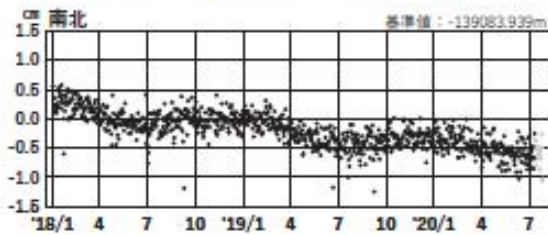
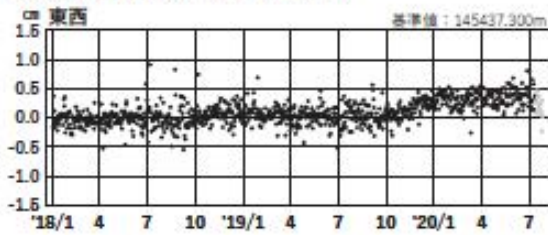
固定局：網野(960640)

志摩半島 G N S S 連続観測時系列（1）  
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

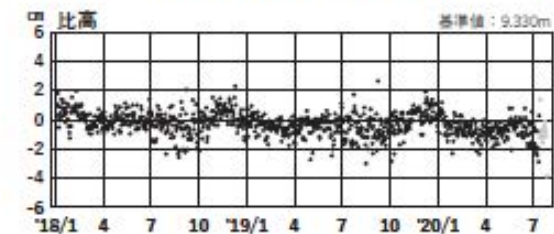
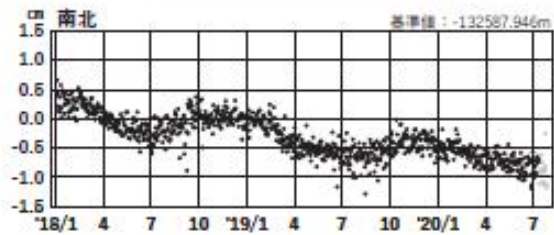
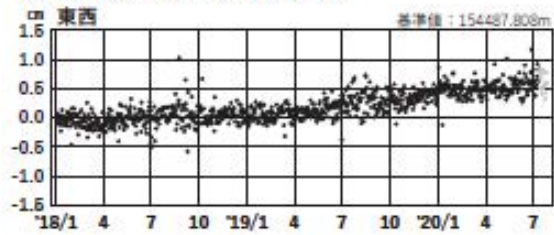
期間：2018/01/01～2020/07/27 JST

計算期間：2016/03/01～2017/03/01

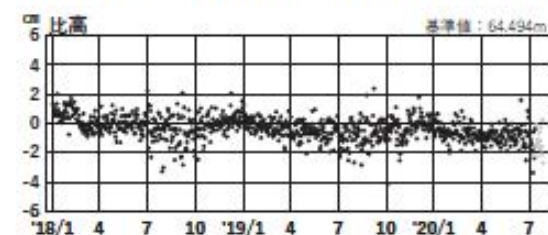
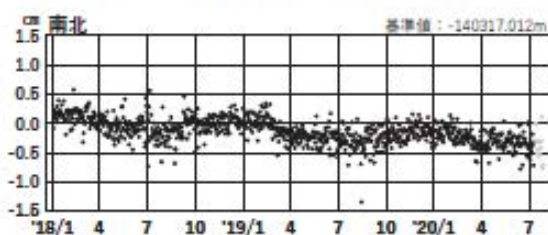
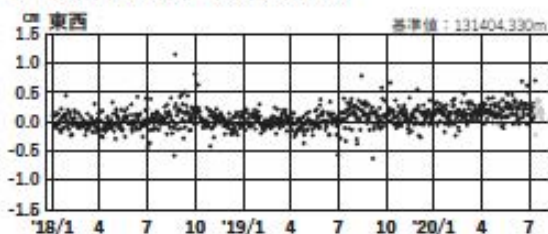
(1) 網野(960640)→度会(960636)



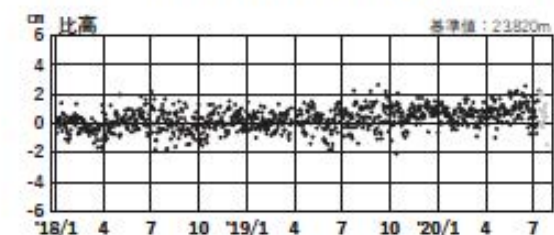
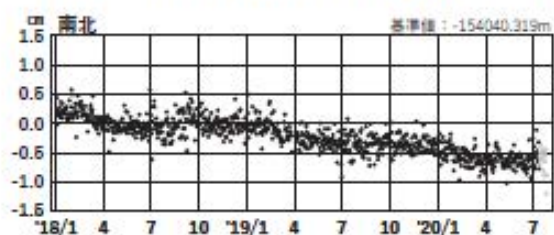
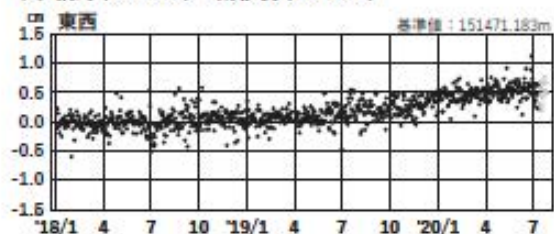
(2) 網野(960640)→伊勢(061148)



(3) 網野(960640)→大台(020999)



(4) 網野(960640)→南伊勢(061149)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

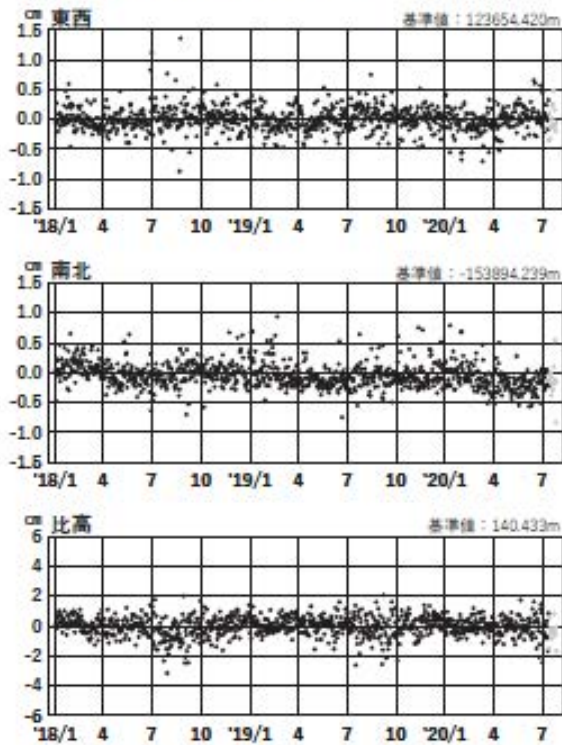
国土地理院

志摩半島 GNSS連続観測時系列（2）  
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

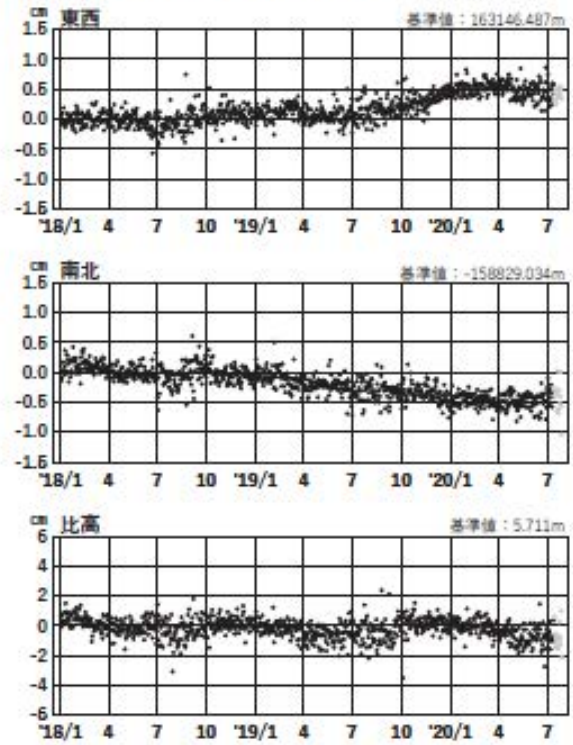
期間: 2018/01/01~2020/07/27 JST

計算期間: 2016/03/01~2017/03/01

(5) 網野(960640)→紀勢(031106)



(6) 網野(960640)→志摩(950314)

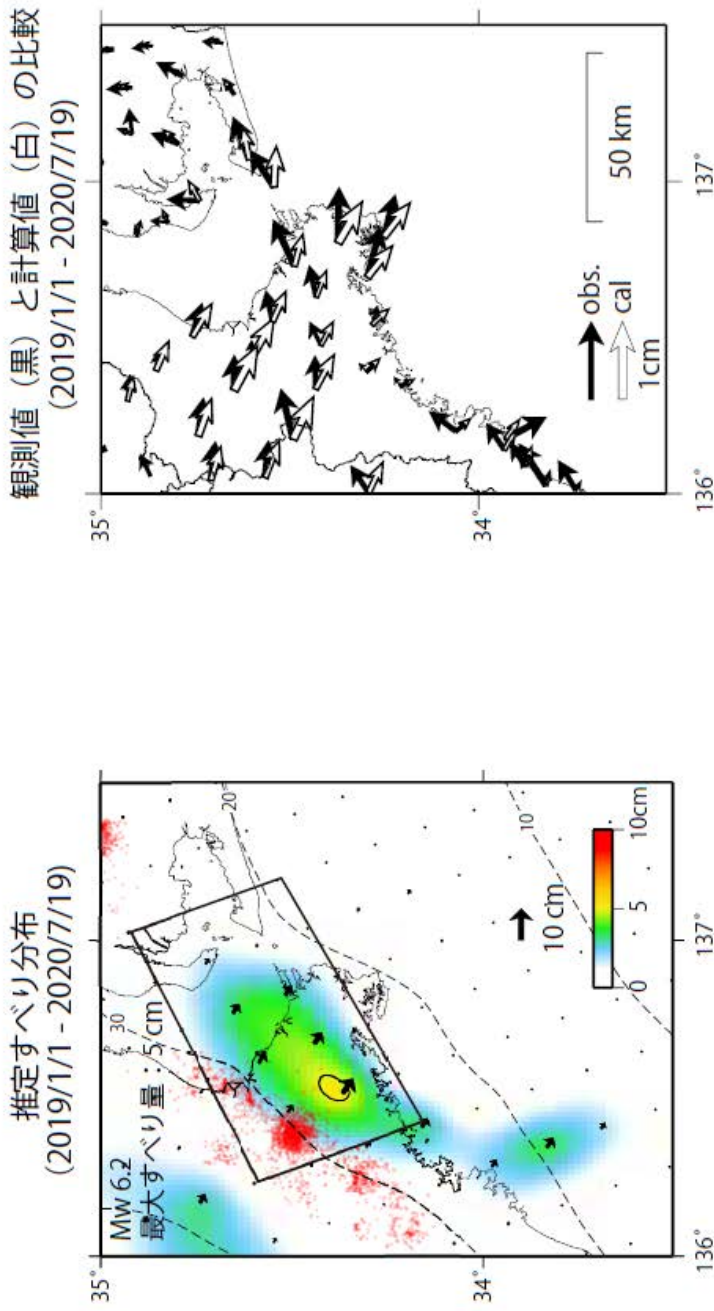


●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院



GNSSデータから推定された  
志摩半島の長期的ゆっくりすべり（暫定）

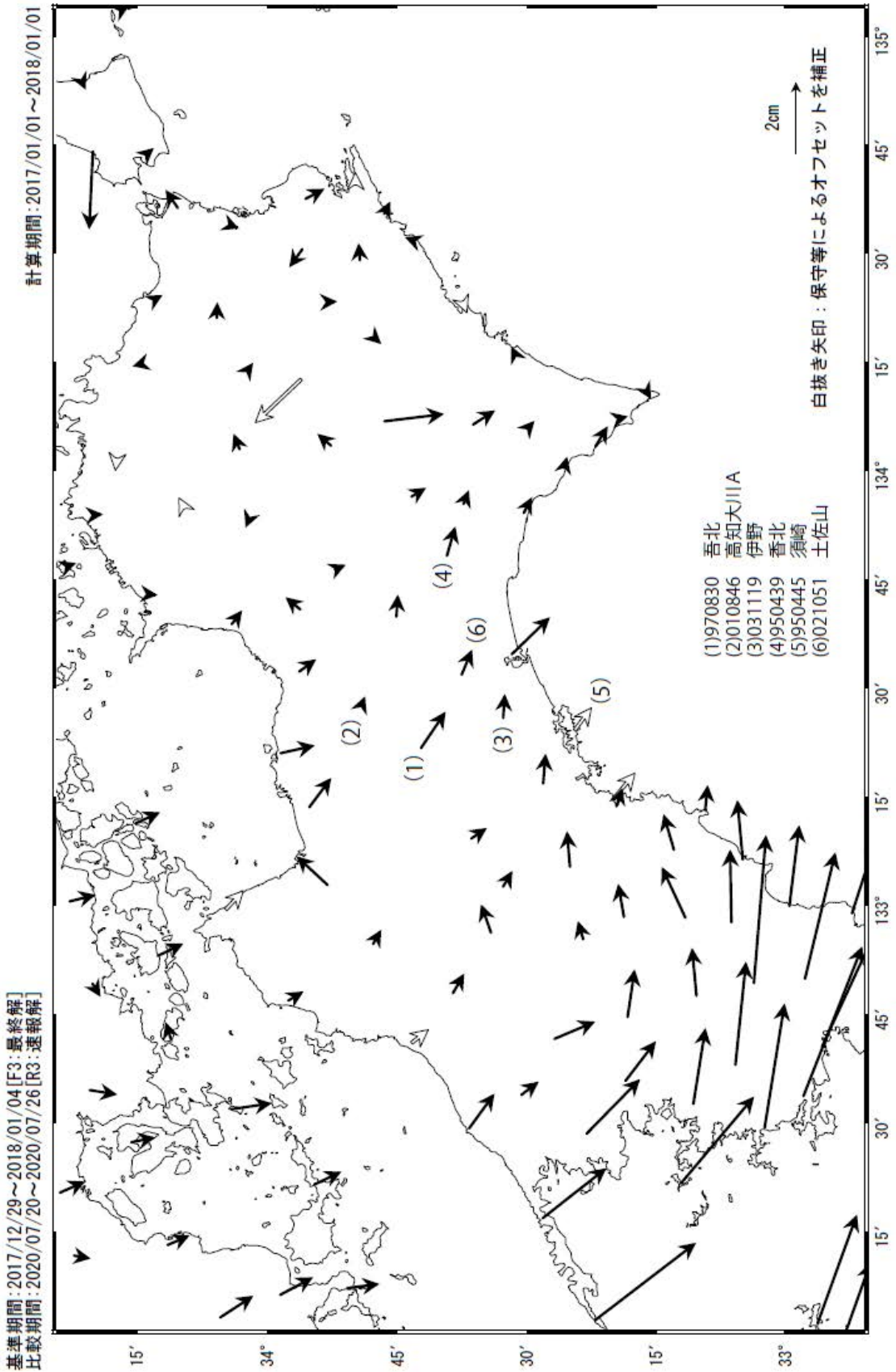


使用データ：F3解 (2018/1/1 - 2020/7/4) + R3解 (2020/7/5 - 2020/7/19) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み  
トレンド期間：2016/3/1 - 2017/3/1（年周・半年周成前は2017/1/1 - 2020/7/19のデータで補正）  
モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルタで平滑化した値  
黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（弘瀬・他、2007）  
すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束  
赤丸：低周波地震（気象庁一元化震源）  
固定局：網野

（国土地理院による GNSS 解析）

四国中部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

固定局：網野 (960640)

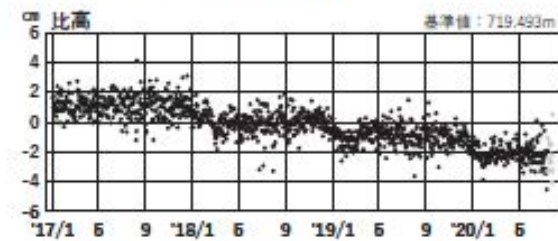
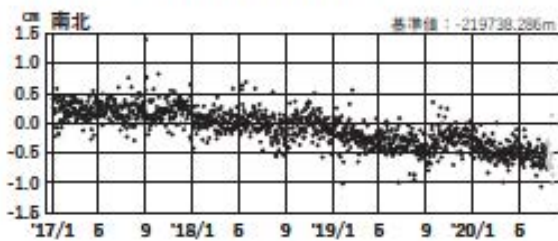
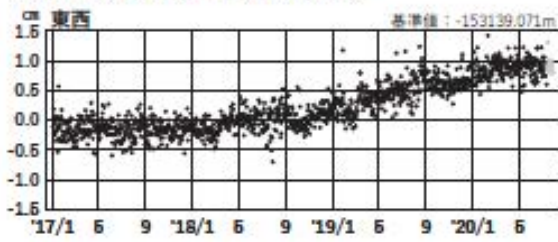


四国中部 G N S S 連続観測時系列（1）  
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

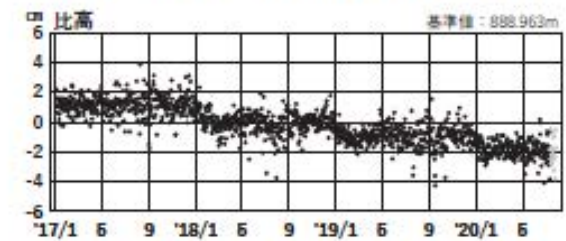
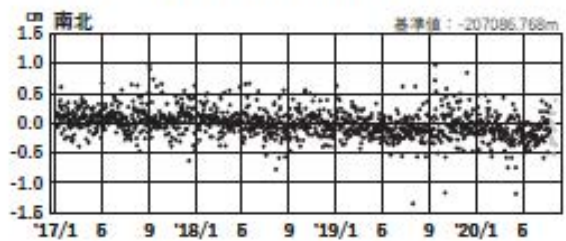
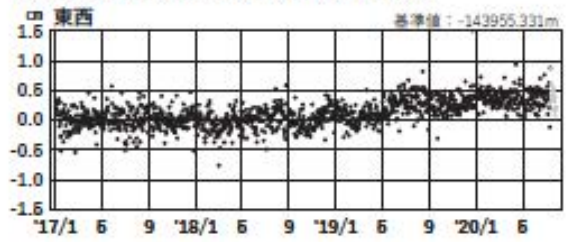
期間: 2017/01/01~2020/07/27 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

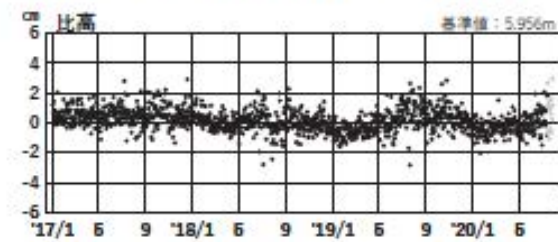
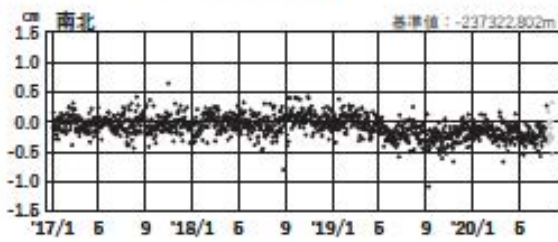
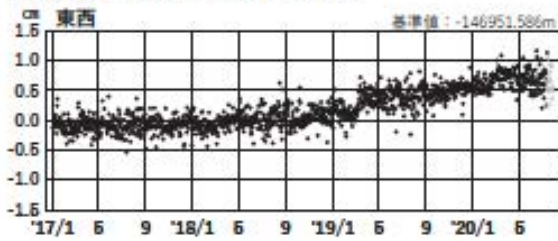
(1) 網野(960640)→吾北(970830)



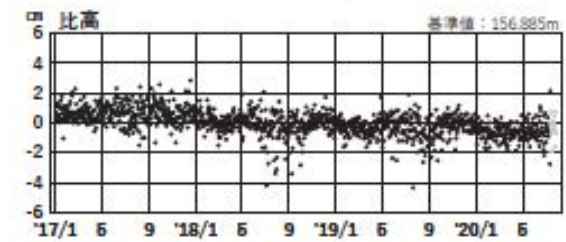
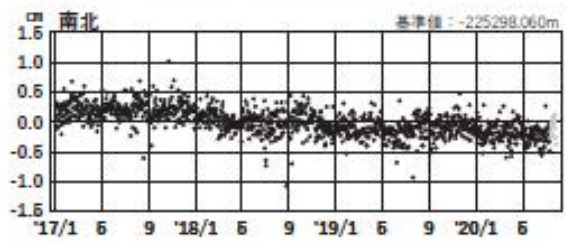
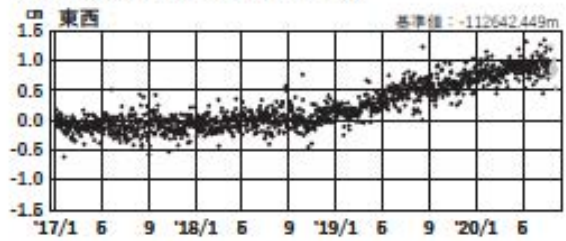
(2) 網野(960640)→高知大川 A (010846)



(3) 網野(960640)→伊野(031119)



(4) 網野(960640)→香北(950439)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

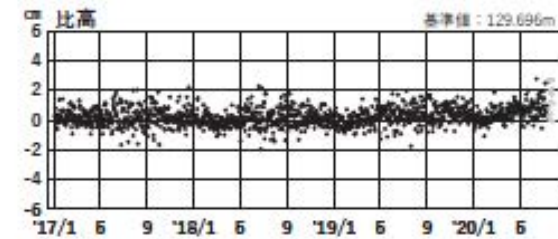
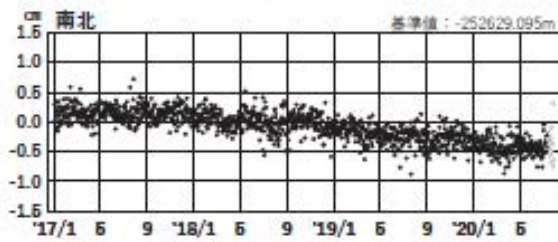
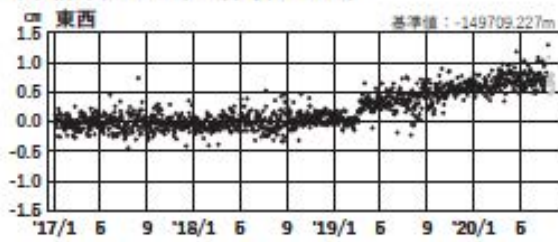
国土地理院

四国中部 GNS S連続観測時系列（2）  
1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

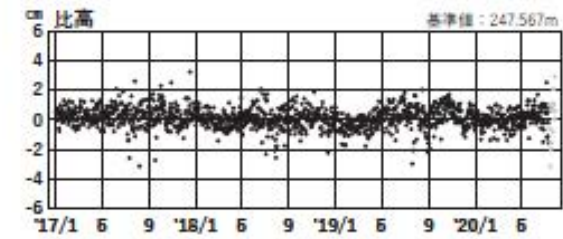
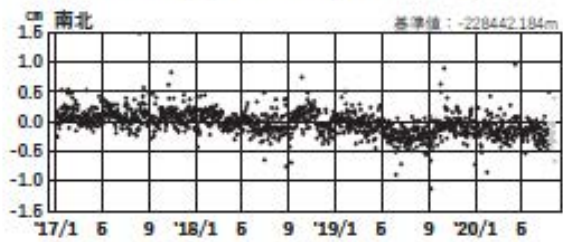
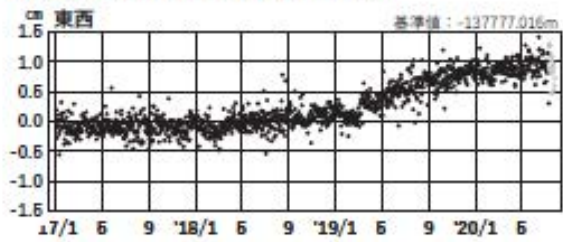
期間: 2017/01/01~2020/07/27 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

(5) 網野(960640)→須崎(940445)



(6) 網野(960640)→土佐山(021051)

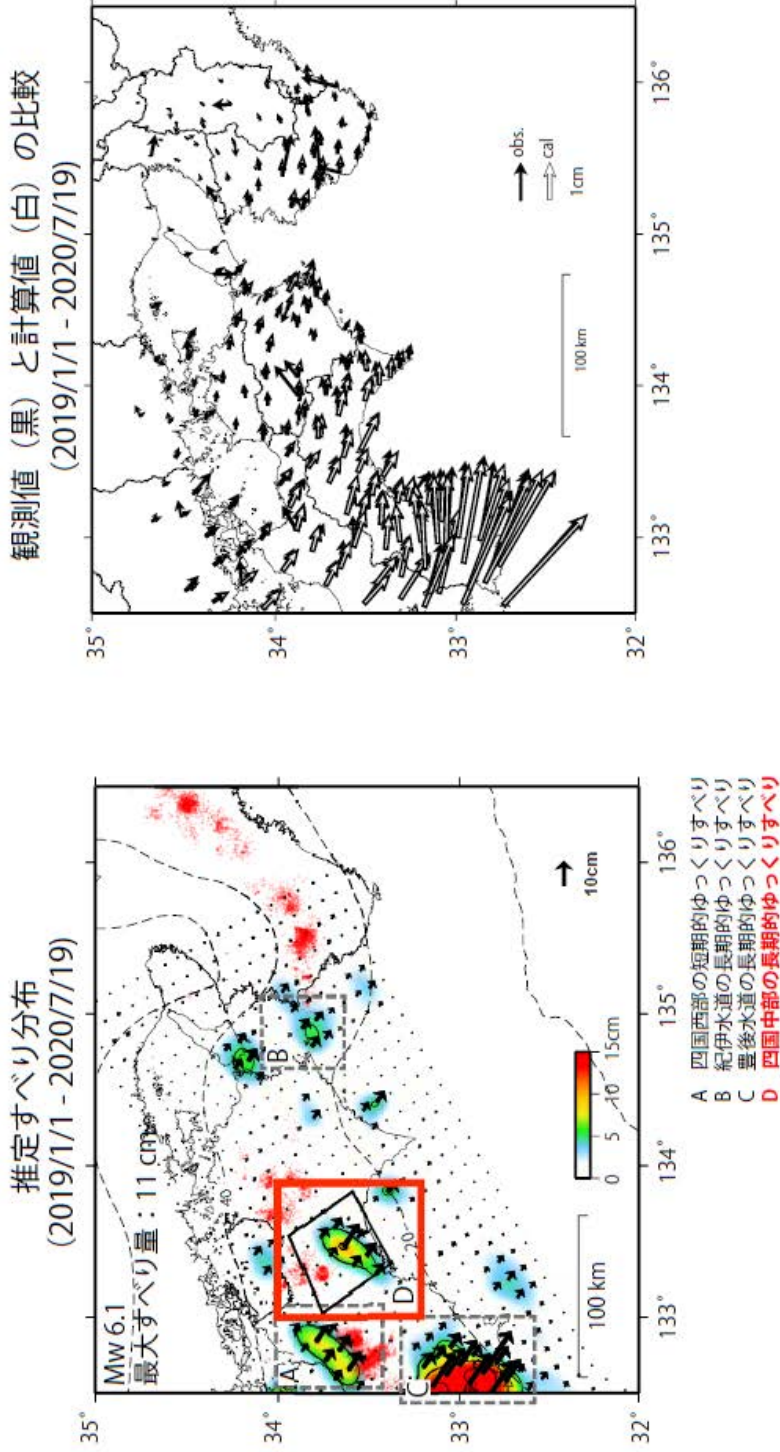


●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院



GNSSデータから推定された  
四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）



使用データ：F3解 (2019/1/1 - 2020/7/4) + R3解 (2020/7/5 - 2020/7/19) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周成成分は2017/1/1 - 2020/7/19のデータで補正)

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルタで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)

すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

赤丸：低周波地震 (気象庁一元化震源)

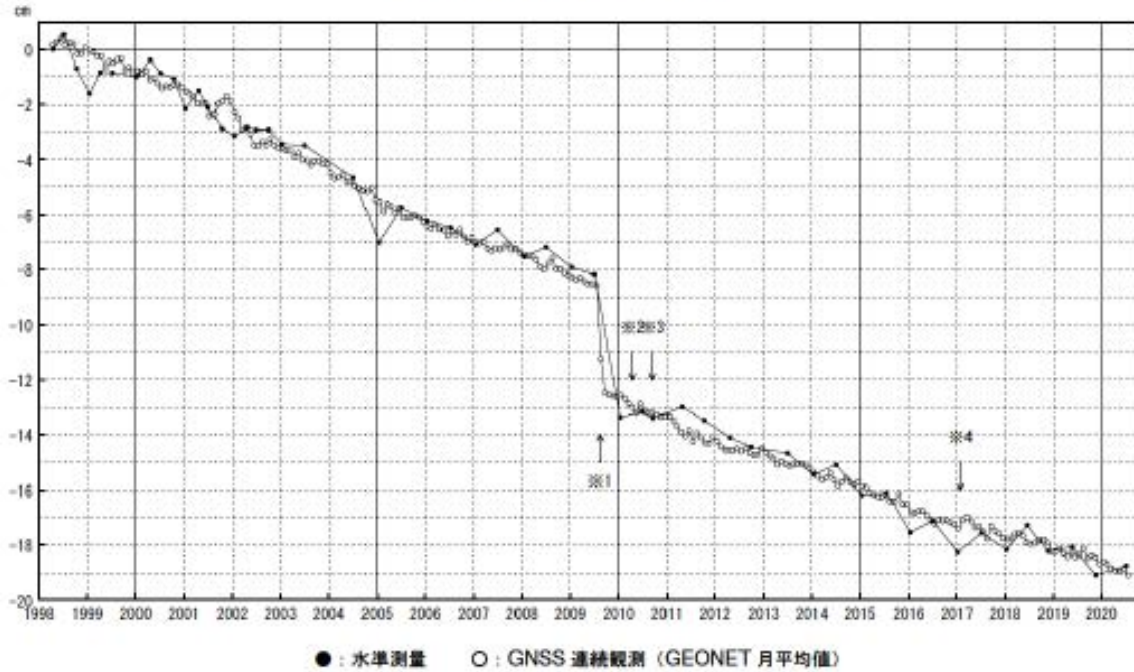
固定局：網野

### 御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

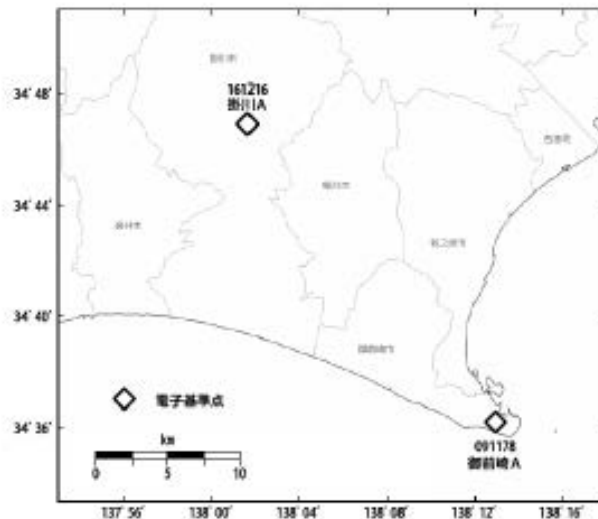
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・最新のプロット点は 07/01～07/11 の平均。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。

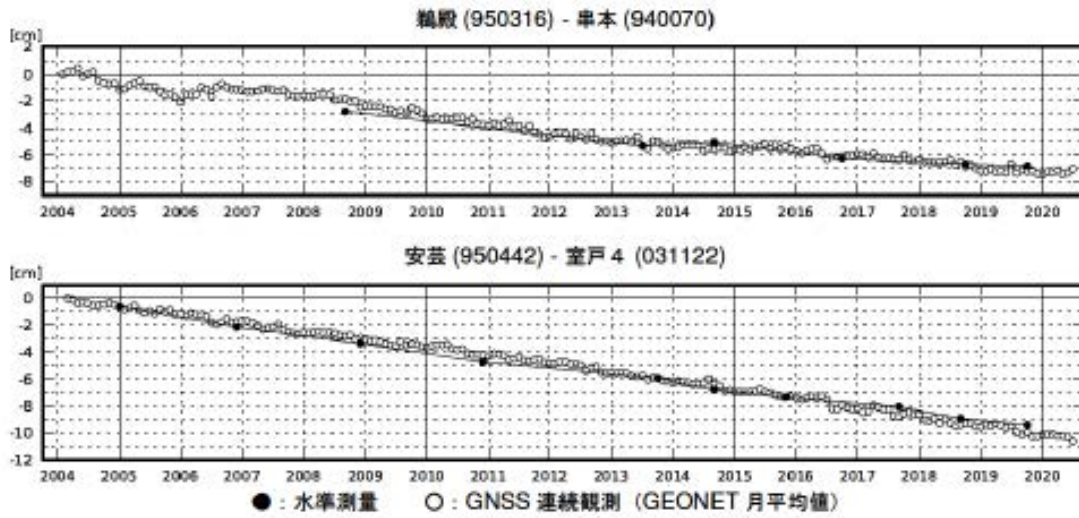


国土地理院

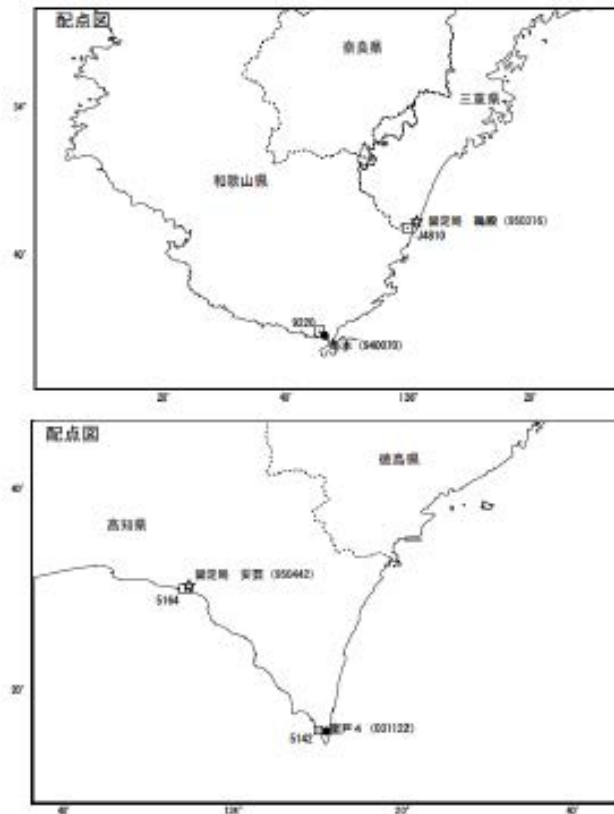


紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

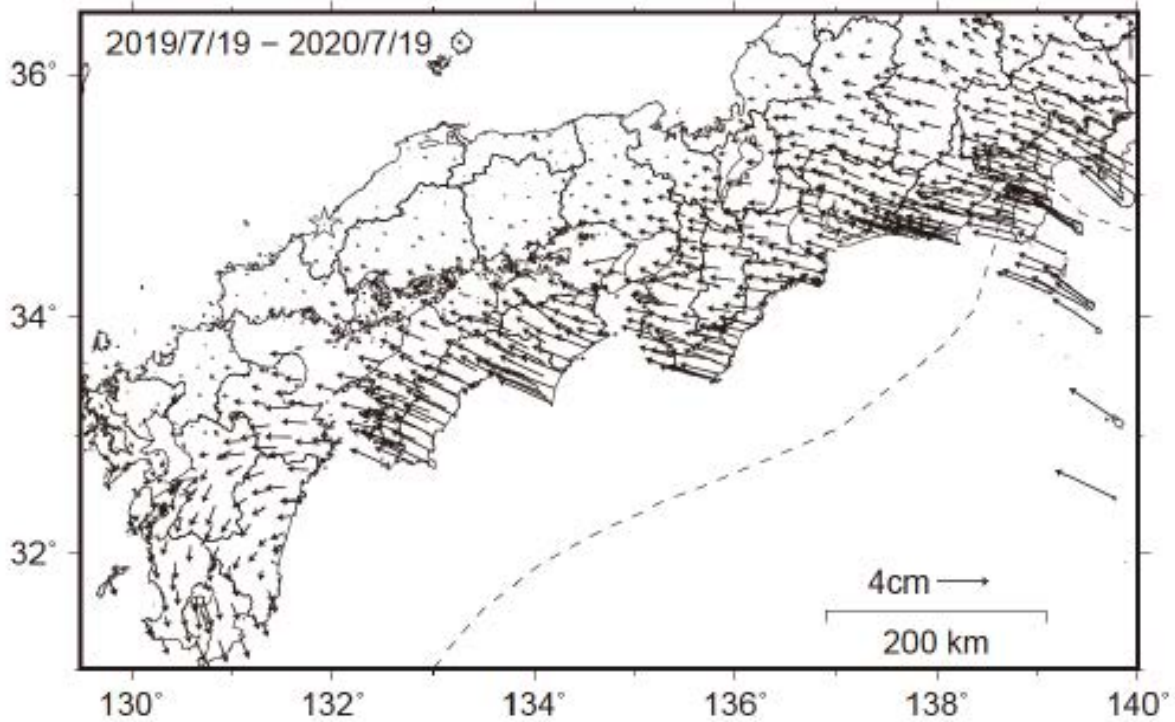


- ・ 最新のプロット点は 7/1~7/11 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

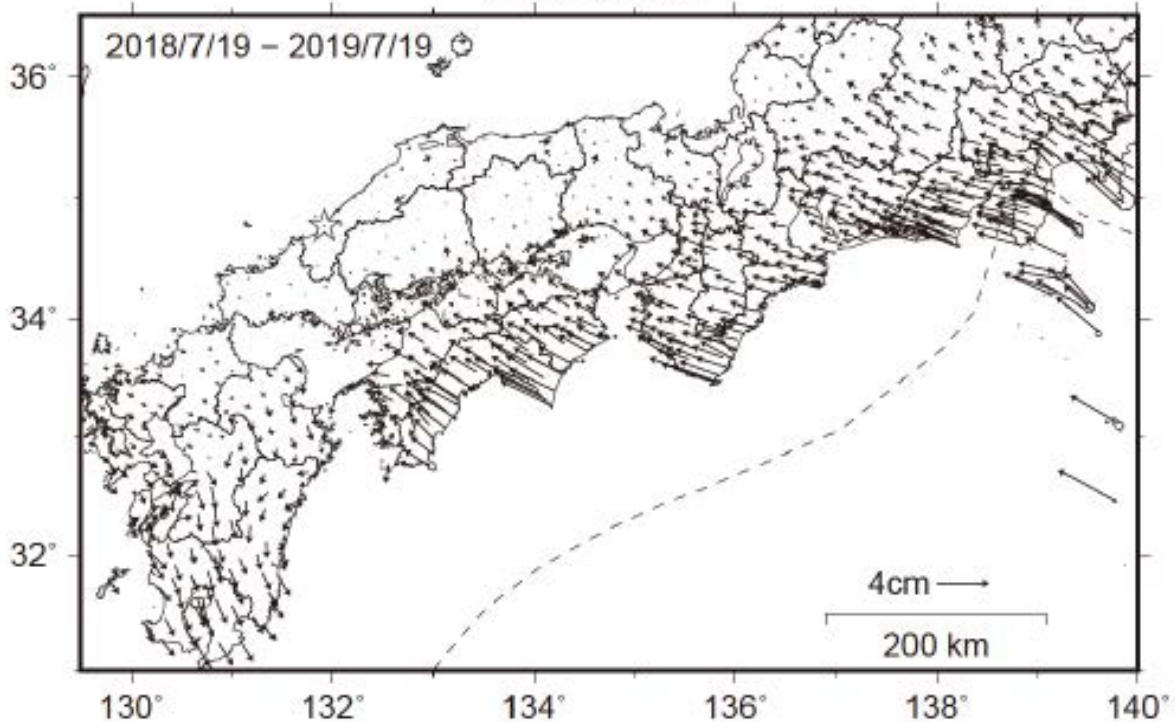


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



・各日付 ± 6日の計 13日間の変動量の中央値をとり、その差から1年間の変動量を表示している。

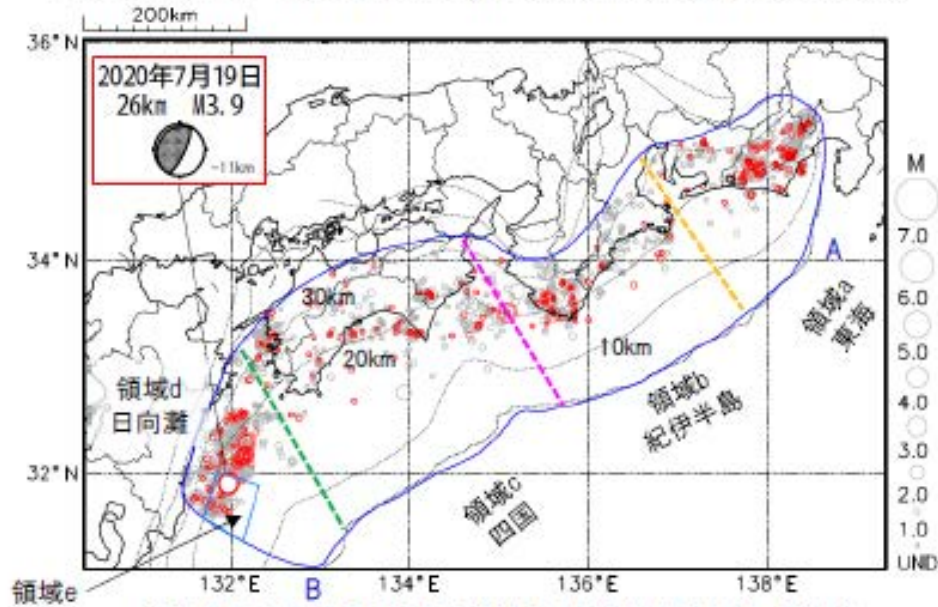
国土地理院

## プレート境界とその周辺の地震活動

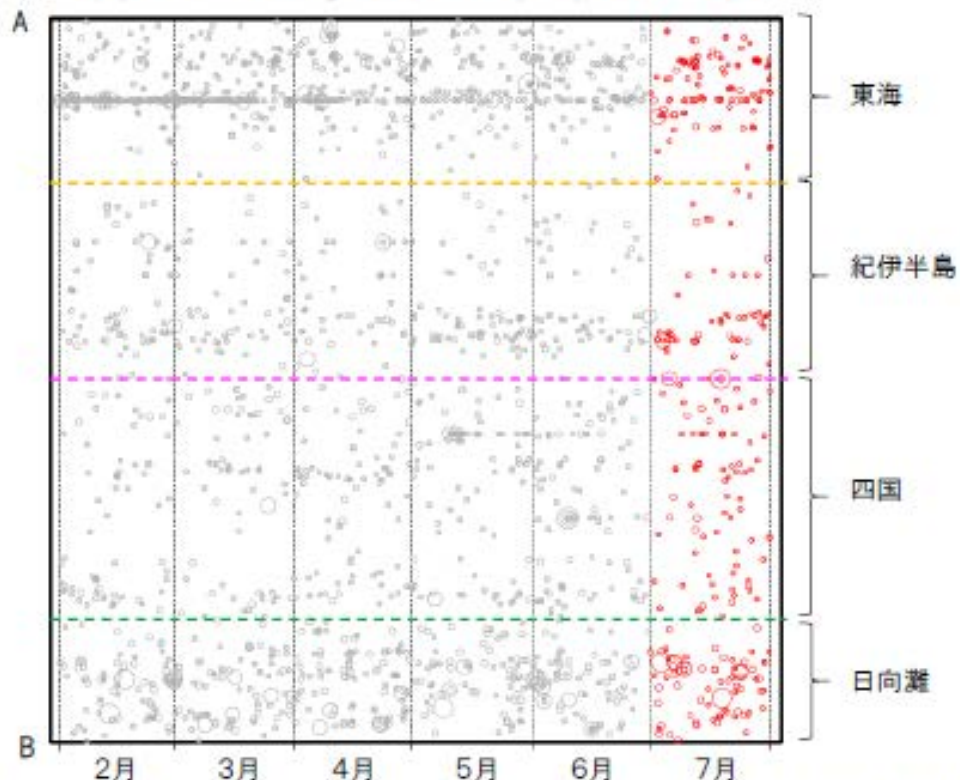
フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。  
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

(2020年2月1日～2020年7月31日、M全て、2020年7月の地震を赤く表示)



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図(A-B投影)



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差(+は浅い、-は深い)を示す。

・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

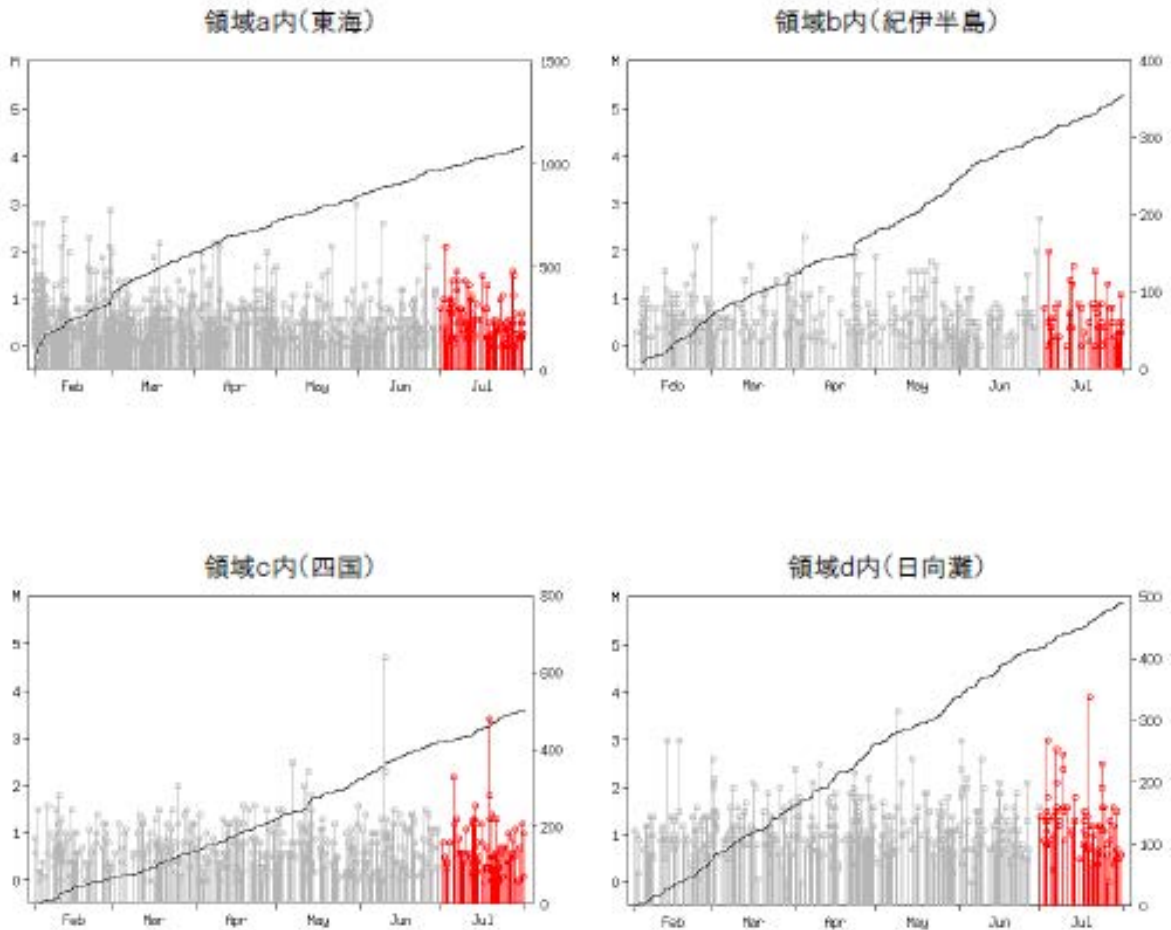
気象庁作成



## プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図



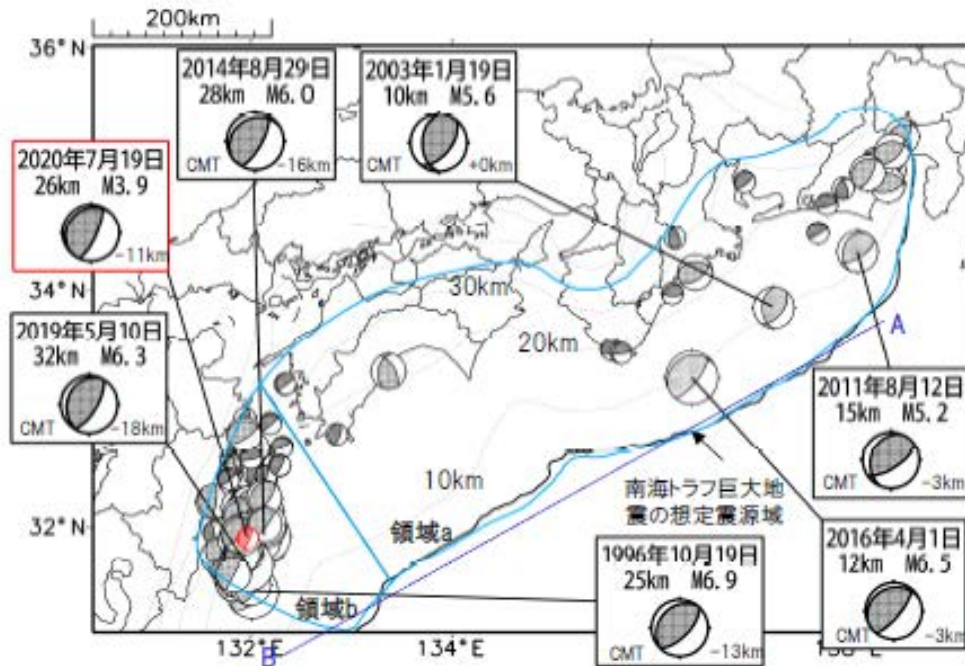
※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成



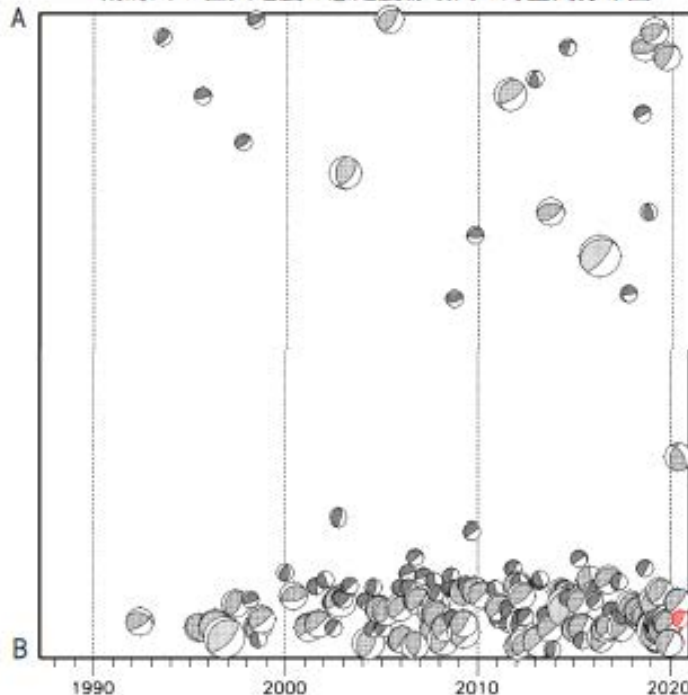
## 想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2020年7月31日、M $\geq$ 3.2、2020年7月の地震を赤く表示)



- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。
- ・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。
- ・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。
- ・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

**【抽出条件】**

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

- P軸の傾斜角が45度以下
- P軸の方位角が65度以上180度以下(※)
- T軸の傾斜角が45度以上
- N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

- ・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。
- ・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。
- ・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km～-20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

## 南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2020年7月31日

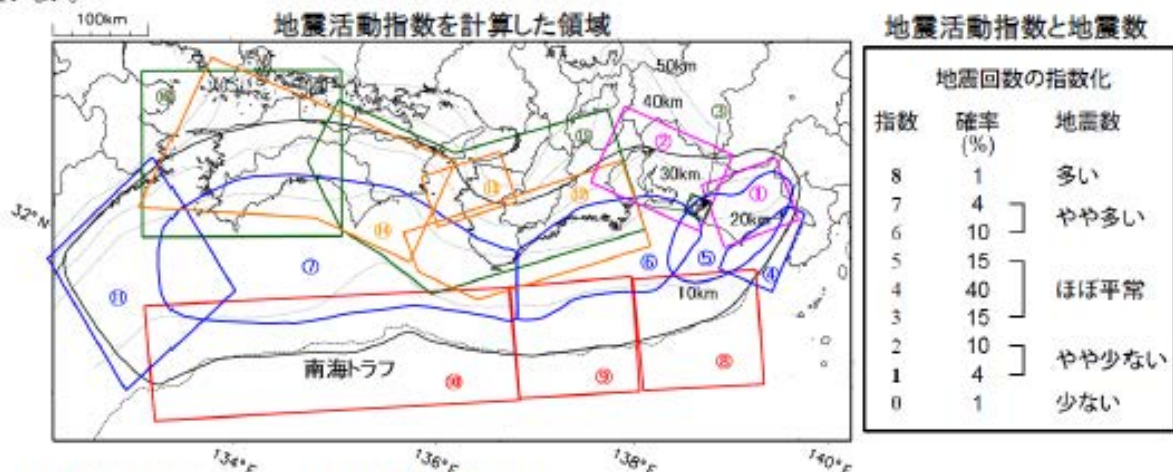
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南海	⑦南海
	地	ブ	地	ブ	ブ	全	全	全	全
地震活動指数	4	5	5	4	6	3	4	3	5
平均回数	16.5	18.5	26.6	13.7	13.4	13.2	18.3	19.6	21.3
MLさい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0~ 30km	0~ 60km	0~ 30km	0~ 60km	0~ 60km	0~ 60km	0~ 60km	0~ 100km	0~ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	ブ	ブ
	全	全	全	地	地	地	ブ	ブ
地震活動指数	7	4	5	3	1	1	3	2
平均回数	12.1	14.9	20.6	22.9	42.0	30.5	27.7	28.2
MLさい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0~ 100km	0~ 100km	0~ 100km	0~ 20km	0~ 20km	0~ 20km	20~ 100km	20~ 100km

\* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2019年1月31日

\* 領域欄の「地」は地殻内、「ブ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

\* ③の領域（三重県南東沖）は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



\* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

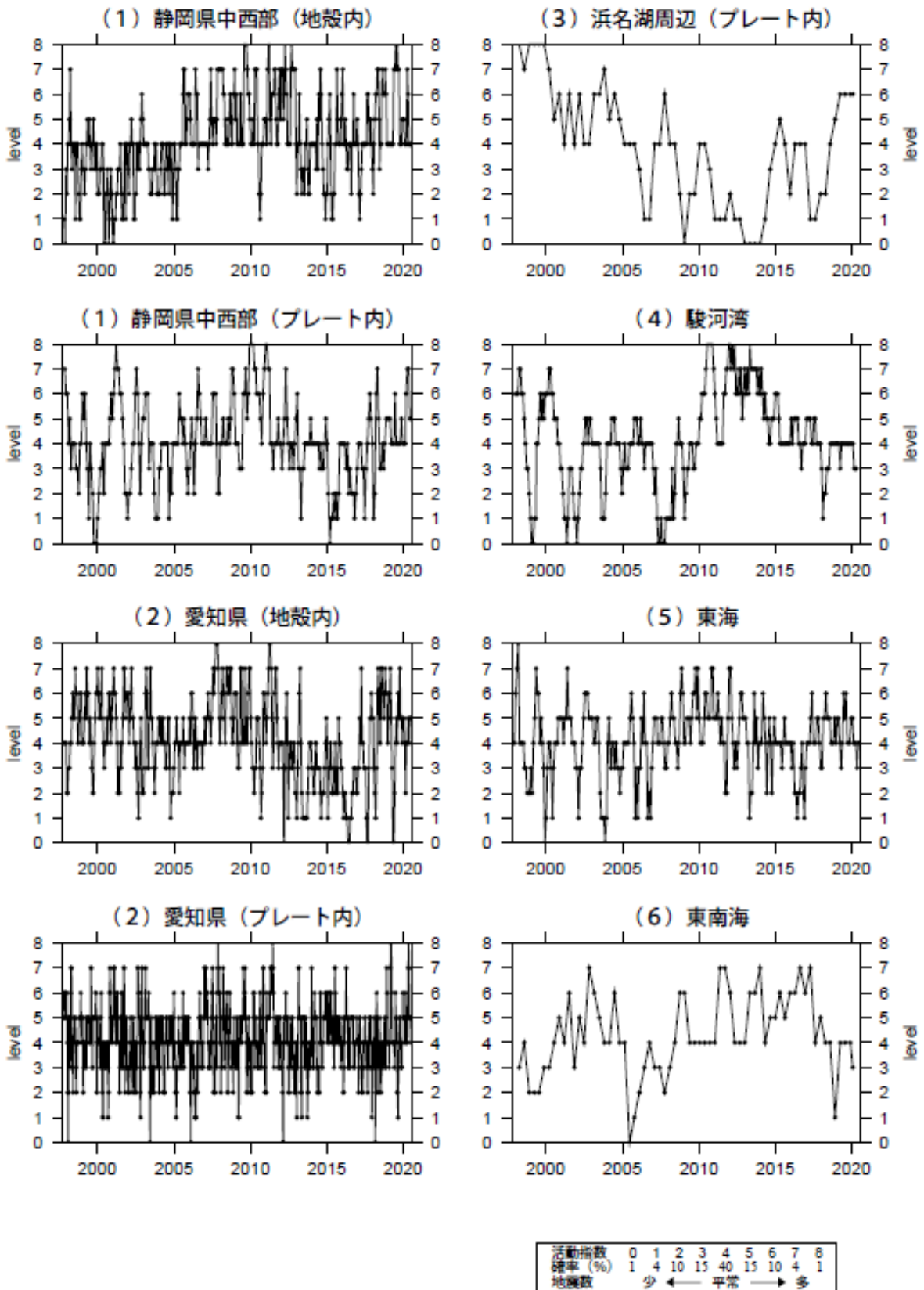
\* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成



地震活動指数一覧

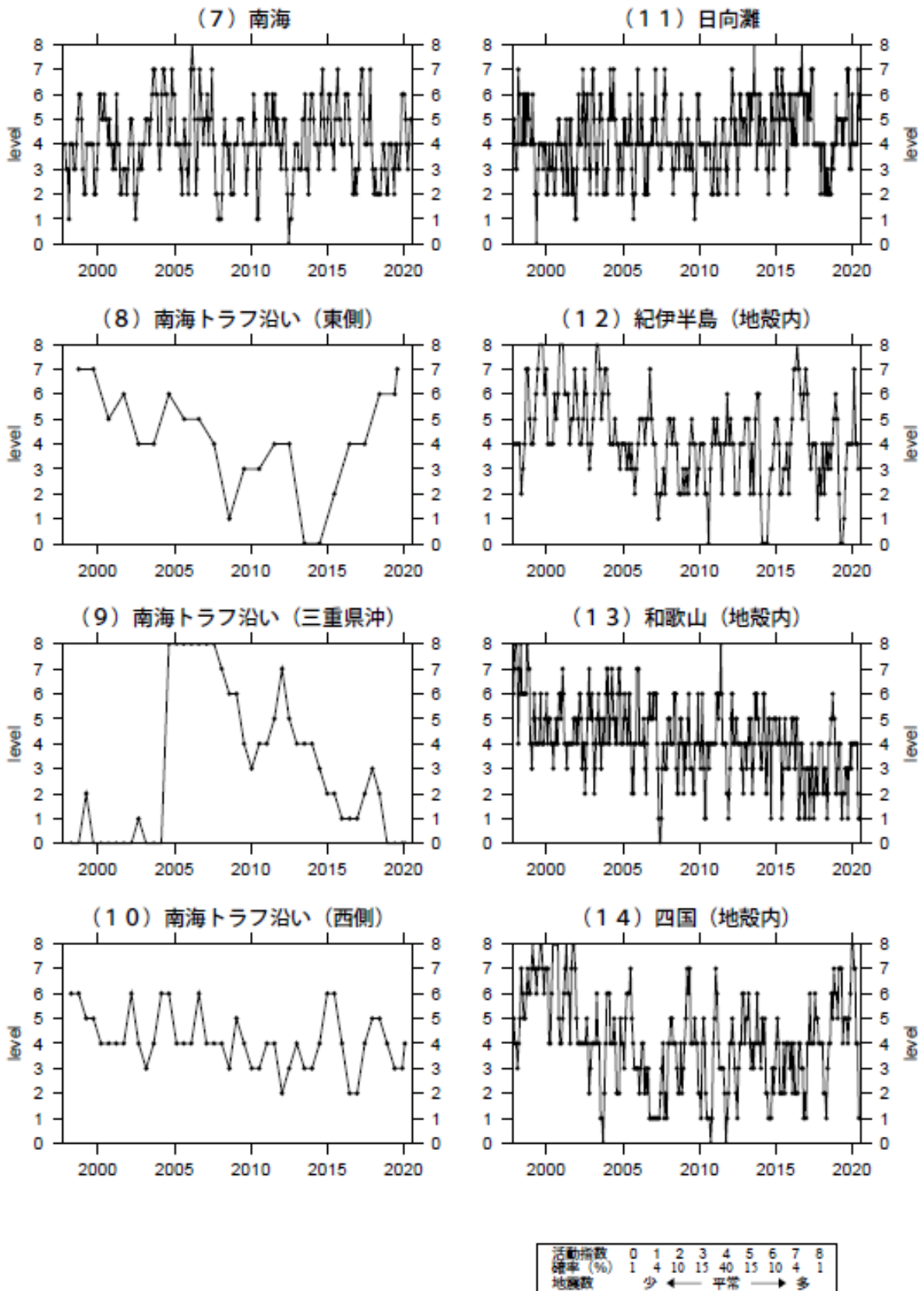
2020年07月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2020年07月31日

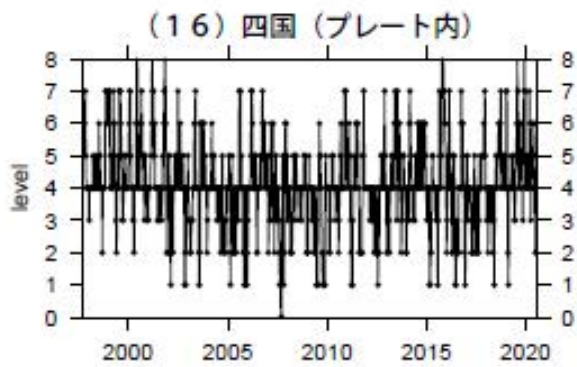
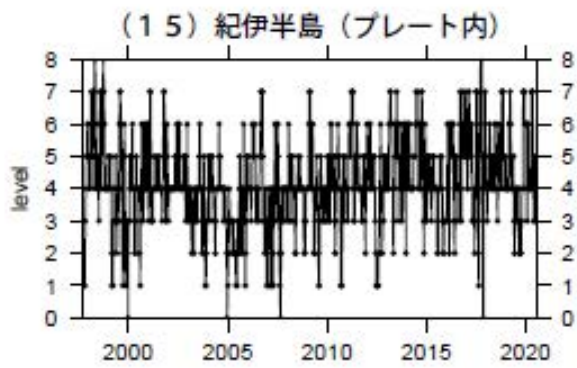


気象庁作成



地震活動指数一覧

2020年07月31日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少		← 平常 →				多		

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和2年7月）

警報・予報事項に変更のあった火山はありません（令和2年8月11日14時現在）。

表1 令和2年8月11日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

**【各火山の活動状況及び警報・予報事項】(7月1日~31日)**

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

**草津白根山(白根山(湯釜付近)) [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

湯釜付近浅部の火山性地震が継続的に発生していることから、湯釜付近の浅部の熱水活動はやや高い状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

**浅間山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

浅間山の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動が継続し、GNSS 連続観測では、一部の基線でわずかな伸びの変化が見られます。また、山体浅部を震源とする火山性地震が増減を繰り返しながら引き続き発生しています。

浅間山では火山活動が高まっており、今後、山頂火口から概ね2 km 以内に影響を及ぼす小噴火の可能性あります。

山頂火口から概ね2 km の範囲では、引き続き弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### 西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

11日及び20日に実施した海上からの観測では、大量の火山灰を噴出する活発な噴火が確認されました。また、気象衛星ひまわりでも火口縁上4,000m程度の噴煙が継続的に確認されました。

一方、7月中旬以降、西之島付近で周囲に比べて温度の高かった領域で地表面温度の低下が認められたほか、7月に入り溶岩噴出率の急激な低下が認められました。30日の上空からの観測では、火山灰噴出を伴う活発な噴火活動は継続していたものの、溶岩の流出や大きな噴石の飛散は認められませんでした。

以上のように、火山活動に低下傾向が見られていますが、火山灰噴出を伴う活発な噴火活動は継続していますので、山頂火口から概ね2.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

### 硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

### 福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

### 阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

阿蘇山では6月下旬以降、噴火は観測されていません。

火山性微動の平均振幅は概ね小さい状態で経過しました。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや少ない状態で経過し、GNSS連続観測でも基線の伸びは停滞しており、火山活動の低下傾向がみられます。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

新燃岳では、火山性地震の回数が増減を繰り返しています。また、火口西側斜面の割れ目付近において引き続き噴気や地熱域が認められ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加するなど、火山活動がわずかに高まった状態となっています。一方で、地殻変動のデータに特段の変化がみられていないことから、現在のところ規模の大きな噴火に至る可能性は低いと考えられます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

### 桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が1日、2日及び8日に観測されましたが、9日以降は、ごく小規模な噴火を含めて噴火は観測されていません。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、6月下旬から山体膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されていましたが、7月中旬以降鈍化もしくは停滞しています。

広域のGNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積された状態が継続しており、桜島島内地下へのマグマの供給も続いていることから、南岳山頂火口を中心に、噴火活動が再び活発化する可能性があります。



南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

#### **薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】**

薩摩硫黄島では、4月30日以降、噴火は観測されていません。

地震や微動の発生状況に特段の変化はありませんが、夜間に火映が観測され、時折噴煙が高くなるなど、長期的には熱活動が高まった状態が続いています。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

#### **口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】**

口永良部島では、5月14日以降、噴火は観測されていません。

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過するなど火山活動は高まった状態で経過しています。

GNSS連続観測では、2019年10月頃からの島内の基線の伸びに、鈍化または停滞傾向がみられます。しかし、地下ではマグマが蓄積された状態が維持されていると推定され、その蓄積量は2015年噴火発生前の状態に匹敵します。

2019年10月以降の火山活動は、2018年から2019年の火山活動と同程度以上で推移しており、2014年から2015年に匹敵する火山活動に発展する可能性も考えられます。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加していることから、流下する火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

#### **諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】**

<sup>おたけ</sup>御岳火口では、活発な噴火活動が続いています。

諏訪之瀬島では、長期的に噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）



令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年9月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年10月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2016年12月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月7日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年3月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年3月29日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年4月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年12月6日噴火予報(活火山であることに留意)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2014年10月24日火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年5月1日噴火予報(平常) 2016年2月28日火口周辺警報(火口周辺危険) 2016年3月29日噴火予報(活火山であることに留意) 2016年12月6日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2016年12月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年1月13日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年5月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月31日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年4月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2018年5月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年4月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年5月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年10月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月11日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2017年10月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2017年10月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年6月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年1月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年2月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年4月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年11月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年12月20日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2020年1月2日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、\*\*印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカランダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

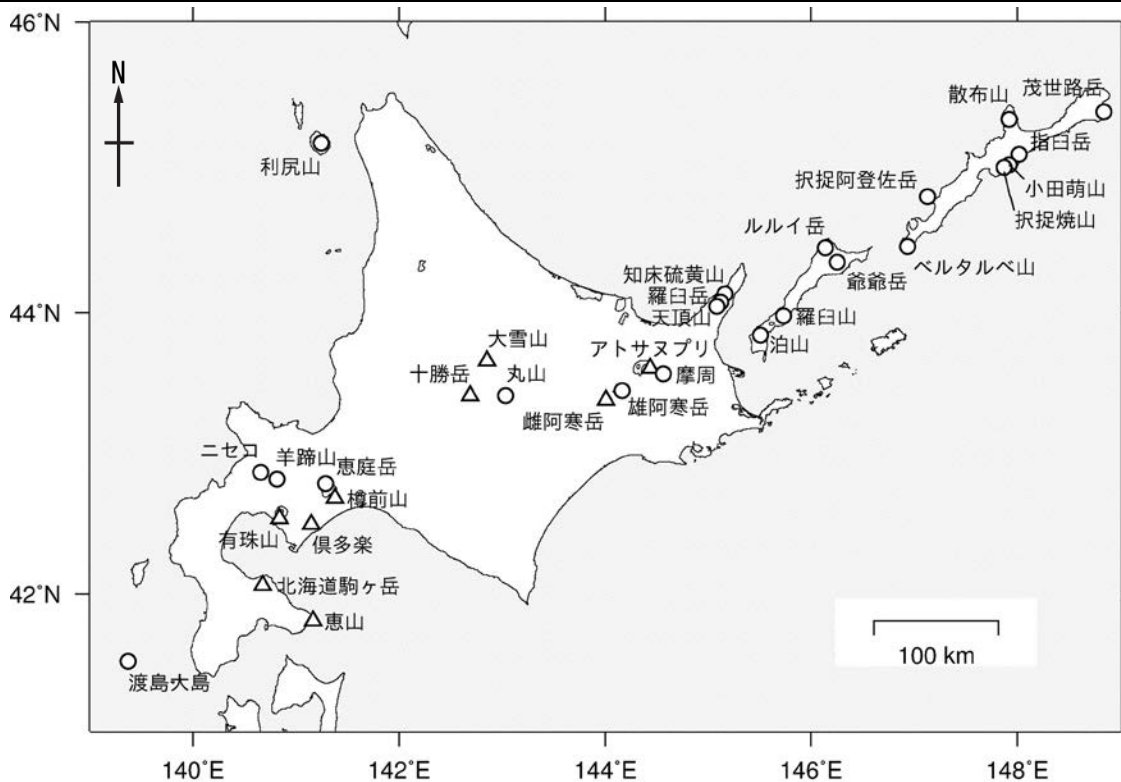
## ○ 北海道地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年7月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



## 各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

### アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

赤沼火口及び北西斜面06噴気孔列の噴気高がやや高い状態で経過しており、噴気活動がやや活発になっています。火山性地震の顕著な増加はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、今後の活動の推移に注意してください。

### 大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

十勝岳では、2006年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は2017年秋頃からほぼ停滞しているものの、山体浅部が膨張した状態は維持されています。火山性地震の一時的な増加、火山性微動や火山性地震と同期した傾斜変動は引き続き観測されており、振子沢噴気孔群や62-2火口では地熱域の拡大や火口温度の上昇が確認されています。火山活動の活発化を示唆する現象が観測されていますので、今後の活動推移には注意が必要です。

### 樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

### 倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 東北地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年7月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

#### 各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

**岩木山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**八甲田山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**十和田**〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**秋田焼山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**岩手山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

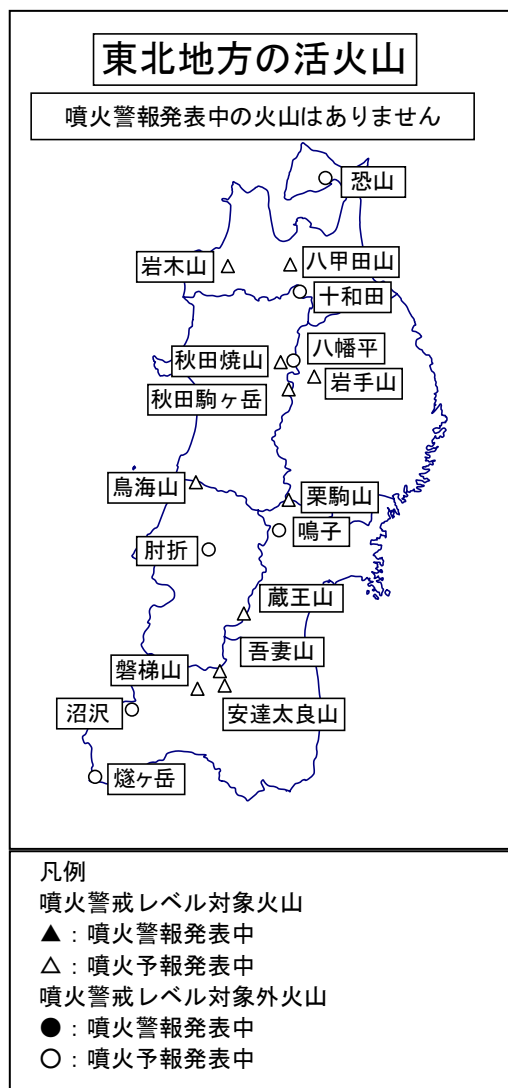
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**秋田駒ヶ岳**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の活動がやや活発な状況が続いています。また、女岳付近では地熱活動も継続的に認められており、今後の火山活動の推移に注意してください。

**鳥海山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕



火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、概ね静穏に経過しています。

**吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

GNSS 連続観測では、2020年3月頃から吾妻山深部の膨張を示す変化が現われ始めた可能性があります。この変化が継続した場合には、火山活動が活発化に向う可能性がありますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

大穴火口付近では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

**安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

---

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

# ○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

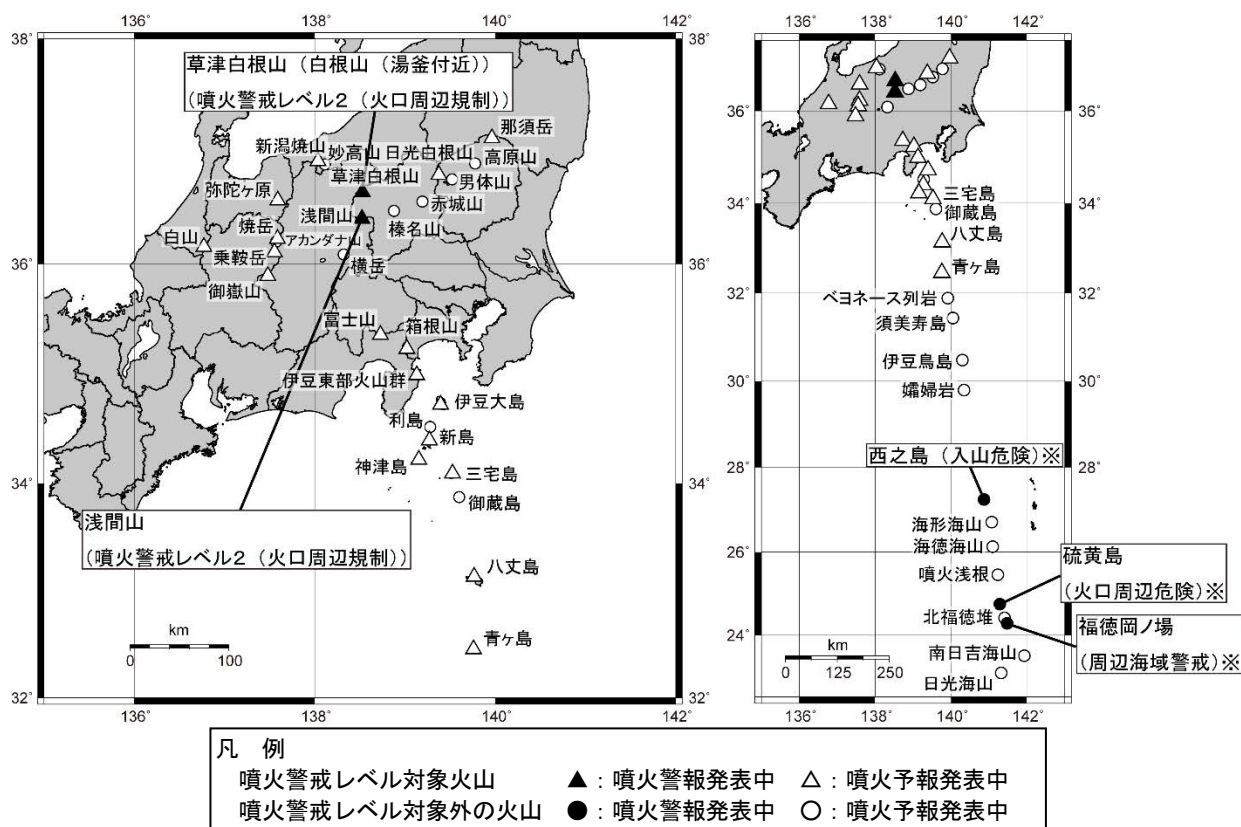
## 管内月間火山概況（令和2年7月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

### 噴火警報及び噴火予報の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



\* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



## 各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。  
その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

### 那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

湯釜付近浅部の火山性地震が継続的に発生していることから、湯釜付近の浅部の熱水活動はやや高い状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### 草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

浅間山の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動が継続し、GNSS連続観測では、一部の基線でわずかな伸びの変化が見られます。また、山体浅部を震源とする火山性地震が増減を繰り返しながら引き続き発生しています。  
浅間山では火山活動が高まっており、今後、山頂火口から概ね2km以内に影響を及ぼす小噴火の可能性あります。  
山頂火口から概ね2kmの範囲では、引き続き弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。  
噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### 新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。  
しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴煙活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

### 弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

### 焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震活動が継続しており、GNSS連続観測では山頂付近で緩やかな膨張が続いているとみられます。中長期的に焼岳の火山活動は高まってきており、今後の火山活動の推移に注意してください。

### 乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。  
ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出してい

ます。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500mの範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

#### 白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

19日から20日にかけて、白山の山頂付近北側のやや深部を震源とする地震が一時的に増加しました。その後、地震回数は少ない状態で経過し、火山活動の活発化を示す変化は認められていません。

#### 富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### 箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によると思われる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意する必要があります。

#### 伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### 伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴気活動は低調で、火山性地震は少ない状態で経過しており、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。長期的に継続していた山体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでの膨張により地下深部にマグマが供給された状態にあり、火山活動はやや高まった状態にあると考えられますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

#### 新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### 神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### 三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調な状態で、火山ガス放出量は少ない状態で経過しています。しかし、地殻変動観測では山体が膨張する変化が継続しており、長期的には地下へマグマが供給されていると考えられます。また、山体浅部の膨張を示すと考えられる地殻変動も観測されています。ただちに噴火する兆候はありませんが、今後の火山活動に注意してください。

噴煙活動は低調ではあるものの、主火孔からの噴煙活動が引き続き認められることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から 500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

#### 八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### 青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### 西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

11日及び20日に実施した海上からの観測では、大量の火山灰を噴出する活発な噴火が確認されました。また、気象衛星ひまわりでも火口縁上4,000m程度の噴煙が継続的に確認されました。

一方、7月中旬以降、西之島付近で周囲に比べて温度の高かった領域で地表面温度の低下が認められたほか、7月に入り溶岩噴出率の急激な低下が認められました。30日の上空からの観測では、火山灰噴出を伴う活発な噴火活動は継続していたものの、溶岩の流出や大きな噴石の飛散は認められませんでした。

以上のように、火山活動に低下傾向が見られていますが、火山灰噴出を伴う活発な噴火活動は継続していますので、山頂火口から概ね2.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

**硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕**

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。

火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

**福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

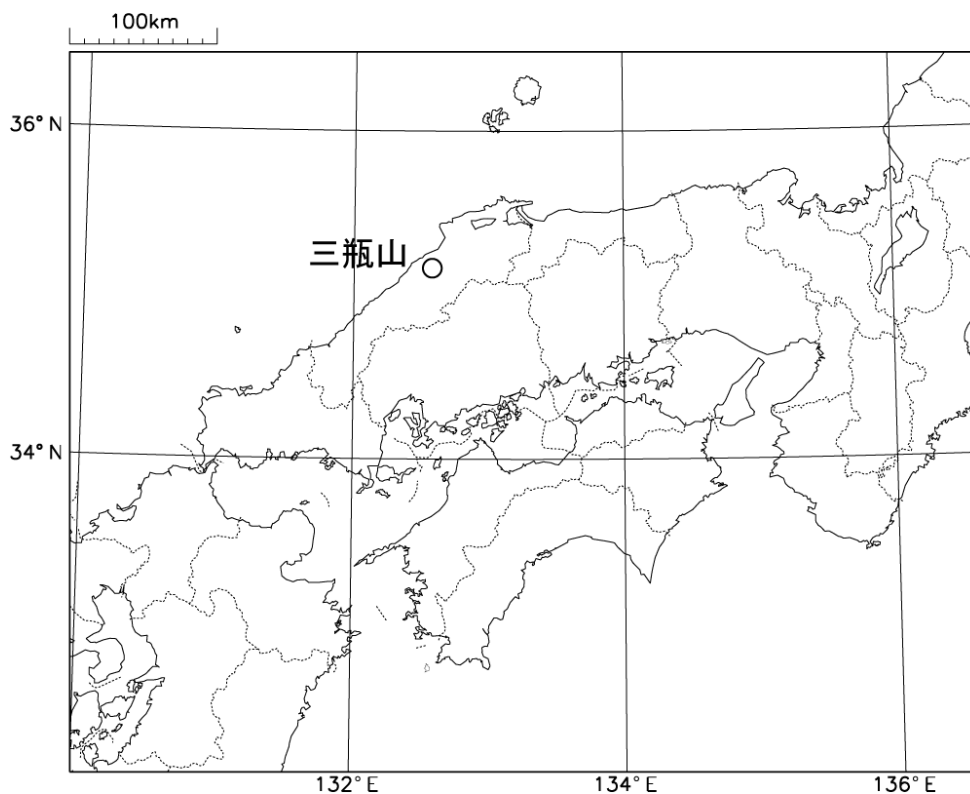
### 管内月間火山概況（令和2年7月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
大阪管区气象台地震火山課

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（7月31日現在）

##### 三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



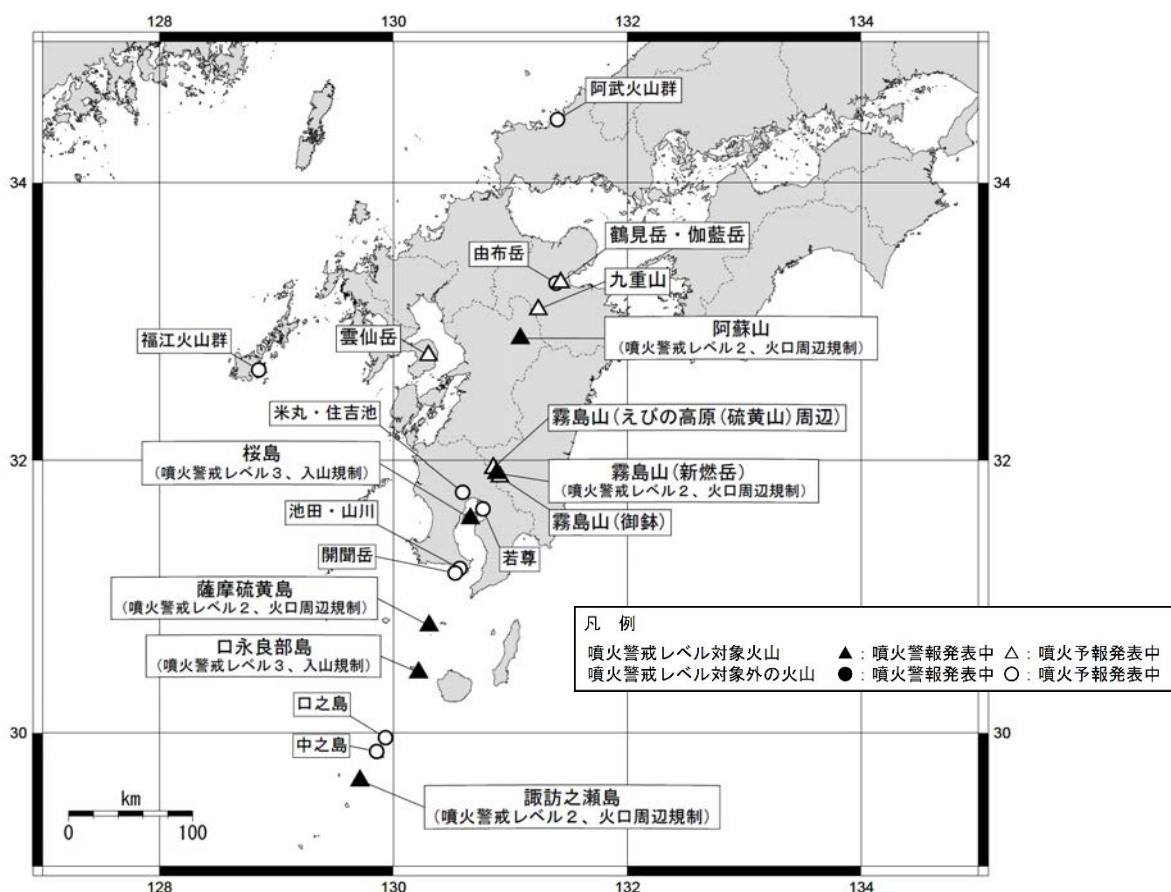
## ○ 九州地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年7月）

福岡管区気象台  
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和2年7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（7月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

### 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

### 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2014年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

### 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

阿蘇山では6月下旬以降、噴火は観測されていません。

火山性微動の平均振幅は概ね小さい状態で経過しました。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや少ない状態で経過し、GNSS連続観測でも基線の伸びは停滞しており、火山活動の低下傾向がみられます。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

### 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは2019年2月頃から概ね停滞しています。

火山活動に特段の変化は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

### 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では、火山性地震の回数が増減を繰り返しています。また、火口西側斜面の割れ目付近において引き続き噴気や地熱域が認められ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加するなど、火山活動がわずかに高まった状態となっています。一方で、地殻変動のデータに特段の変化がみられていないことから、現在のところ規模の大きな噴火に至る可能性は低いと考えられます。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

### 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

### 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が1日、2日及び8日に観測されましたが、9日以降は、

ごく小規模な噴火を含めて噴火は観測されていません。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、6月下旬から山体膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されていましたが、7月中旬以降鈍化もしくは停滞しています。

広域のGNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積された状態が継続しており、桜島島内地下へのマグマの供給も続いていることから、南岳山頂火口を中心に、噴火活動が再び活発化する可能性があります。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

#### 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

薩摩硫黄島では、4月30日以降、噴火は観測されていません。

地震や微動の発生状況に特段の変化はありませんが、夜間に火映が観測され、時折噴煙が高くなるなど、長期的には熱活動が高まった状態が続いています。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

くちのえらぶじま

#### 口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

口永良部島では、5月14日以降、噴火は観測されていません。

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過するなど火山活動は高まった状態で経過しています。

GNSS連続観測では、2019年10月頃からの島内の基線の伸びに、鈍化または停滞傾向がみられます。しかし、地下ではマグマが蓄積された状態が維持されていると推定され、その蓄積量は2015年噴火発生前の状態に匹敵します。

2019年10月以降の火山活動は、2018年から2019年の火山活動と同程度以上で推移しており、2014年から2015年に匹敵する火山活動に発展する可能性も考えられます。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が増加していることから、流下する火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

#### 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口では、活発な噴火活動が続いています。

諏訪之瀬島では、長期的に噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 沖縄地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年7月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
沖縄气象台地震火山課

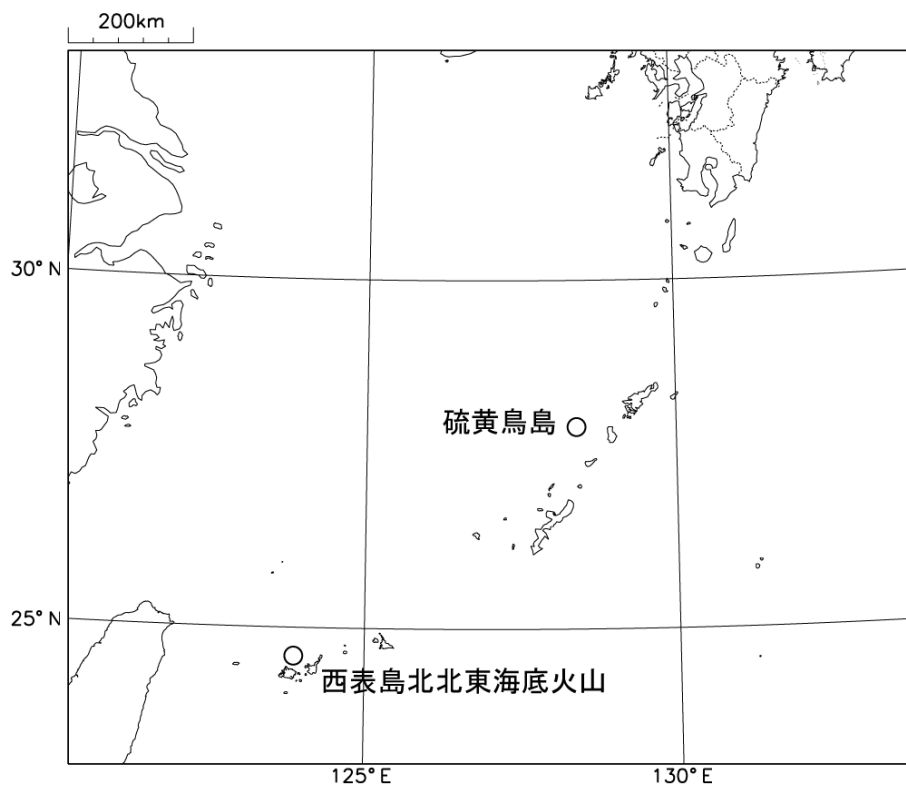
#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（7月31日現在）

##### 硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### 西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



表 令和2年7月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第63号～75号	1日～6日、10日、 13日、17日、20日、 24日 16時00分 27日、31日 16時10分	地殻変動、噴火等の火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第70号～78号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	噴煙、地殻変動、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による地熱域、火山ガス等の状況。
西之島	火口周辺警報 (入山危険)	解説情報 第4号～5号	4日 10時45分 15日 14時00分	噴火の状況、噴煙の状況。 海上から観測した噴火活動。
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第73号～88号	1日～10日、13日、 17日、20日、24日、 27日、31日 16時00分	火山性地震、地殻変動、湯釜火口内の状況、火山性微動の発生等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第12号～32号	1日～17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	地殻変動、火山性地震、噴煙、火山ガス等の火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第55号～65号	3日、6日、10日、 13日 16時00分 15日 13時40分 16日、17日、20日、 24日、27日、31日 16時00分	火山性微動、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガスの状況。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第60号～68号	3日、6日、10日、 13日、17日、20日、 24日 16時00分 27日 16時10分 31日 16時00分	火山性地震、地殻変動、現地調査による火山ガスや地熱域の状況等火山活動の状況。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第28号～31号	6日、13日、20日、 27日 16時00分	噴煙、火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第27号～31号	3日、10日、17日、 24日、31日 16時00分	噴火の状況。 噴煙、火山性地震・微動、地殻変動等火山活動の状況。
		降灰予報(速報)	12日 16時42分 22日 22時57分 23日 01時25分 31日 14時10分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報(詳細)	12日 17時02分 22日 23時08分 23日 01時39分 31日 14時29分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報 第1号	22日 22時15分	大穴火口付近で明るく見える現象を観測。 火山活動の状況。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、阿蘇山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

## ● 世界の主な地震

令和2年（2020年）7月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

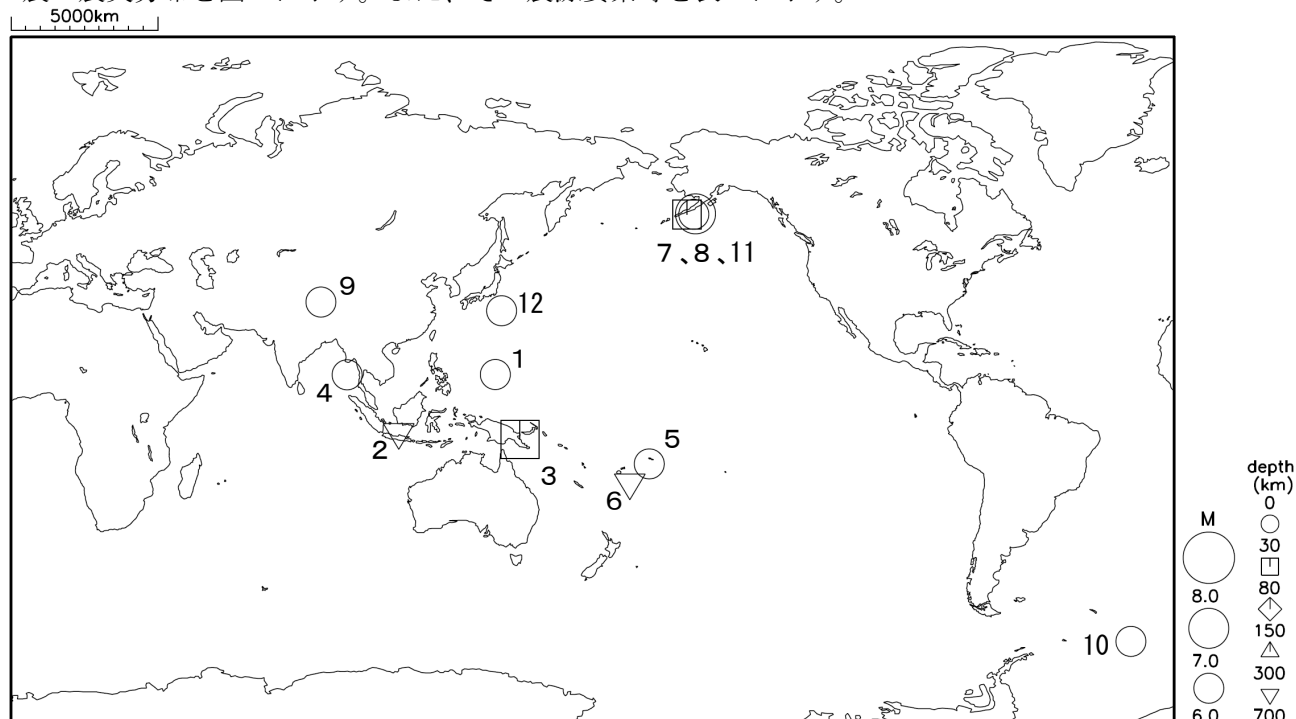


図1 令和2年（2020年）7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和2年（2020年）7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07日03時16分	N12° 04.7′	E140° 14.7′	10			6.2	ミクロネシア、カロリン諸島西部			
2	07日07時54分	S 5° 35.7′	E110° 41.7′	539			6.7	ジャワ海			
3	17日11時50分	S 7° 50.5′	E147° 45.9′	80			(7.0)	バブアニューギニア、ニューギニア東部		○	○
4	17日23時03分	N11° 59.0′	E 94° 53.3′	10			6.1	インド、アンダマン諸島			
5	19日00時32分	S15° 14.6′	W172° 39.9′	14			6.1	サモア諸島			
6	22日05時56分	S20° 48.4′	W178° 37.0′	605			6.0	フィジー諸島			
7	22日15時12分	N55° 01.7′	W158° 31.3′	28			(7.8)	米国、アラスカ半島			○
8	22日15時16分	N54° 55.9′	W159° 02.5′	18	6.1			アラスカ州南方			
9	23日05時07分	N33° 08.7′	E 86° 51.9′	10			6.3	チベット自治区(中国)			
10	26日09時53分	S60° 46.9′	W 25° 18.8′	10			6.3	サウスサンドウィッチ諸島			
11	28日17時03分	N54° 52.0′	W161° 08.6′	41			6.1	米国、アラスカ半島			
12	30日09時35分	N30° 44.5′	E142° 09.1′	16*		6.0	(5.8)	鳥島近海			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2020年8月3日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間=協定世界時+9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「\*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

## 7月17日 パプアニューギニア、ニューギニア東部の地震

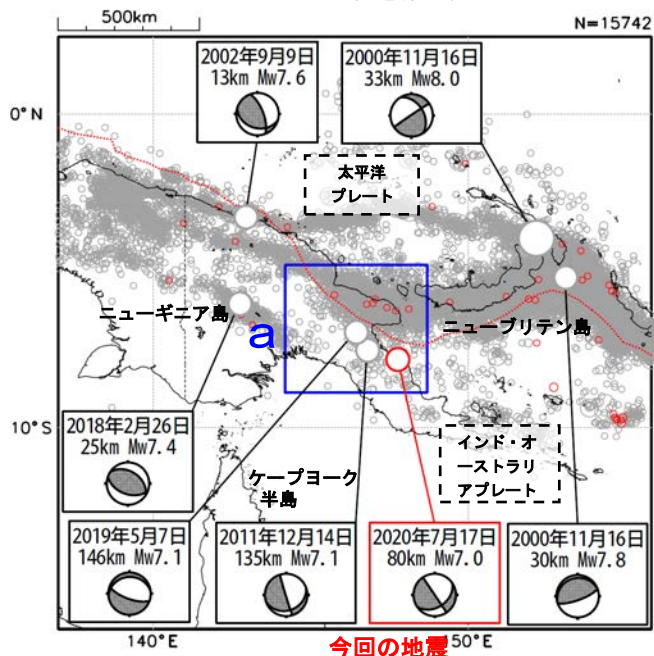
2020年7月17日11時50分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューギニア東部の深さ80kmでMw7.0の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、同日12時17分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

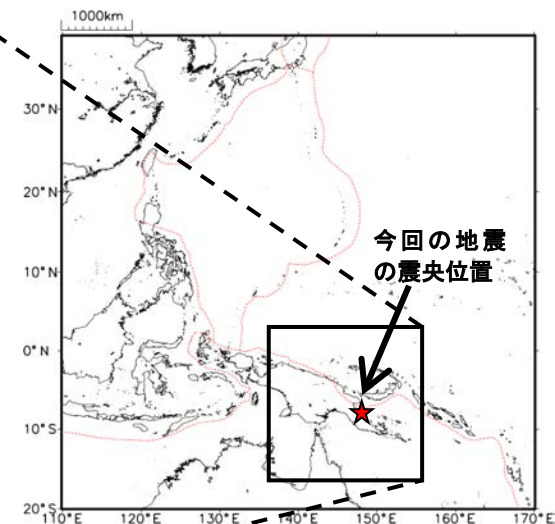
2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、M7.0以上の地震では、最近では2019年5月7日にMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震が発生した地域ではM7.0以上の地震が頻繁に発生しており、1996年2月17日にはMw8.2の地震が発生し、父島で104cm、串本（和歌山県）で96cmなど、日本でも津波を観測した。

震央分布図  
(2000年1月1日~2020年7月31日、深さ0~150km、M≥4.0)  
2020年7月の地震を赤く表示

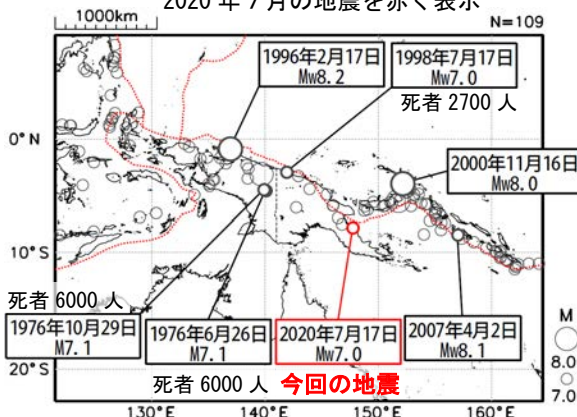
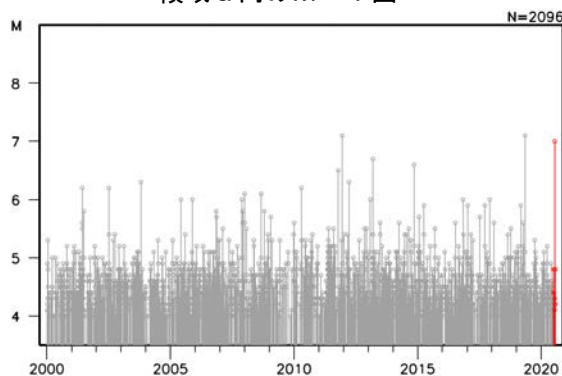


プレート境界の位置



震央分布図  
(1970年1月1日~2020年7月31日、深さ0~150km、M≥7.0)  
2020年7月の地震を赤く表示

領域a内のM-T図



今回の地震、M8.0以上の地震、及び死者1000人以上の地震に吹き出しを付けた。

※本資料中、2000年以降の震央分布図に吹き出しの注釈がある地震のうち、2009年4月以降の地震（今回の地震を含む）の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。吹き出しのないその他の地震については米国地質調査所 (USGS) による (2020年8月3日現在)。

また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2020年8月3日現在)。プレート境界の位置はBird (2003) より引用。過去の被害及び吹き出しのある過去の被害地震の内、1996年、1998年、2007年の地震のMwは、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

## 7月22日 アラスカ半島の地震

2020年7月22日15時12分（日本時間、以下同じ）にアラスカ半島の深さ28kmでMw7.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は発震機構（気象庁によるCMT解）が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。

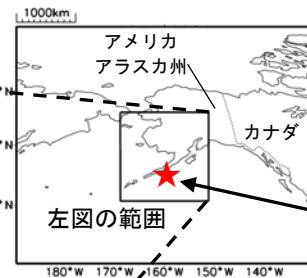
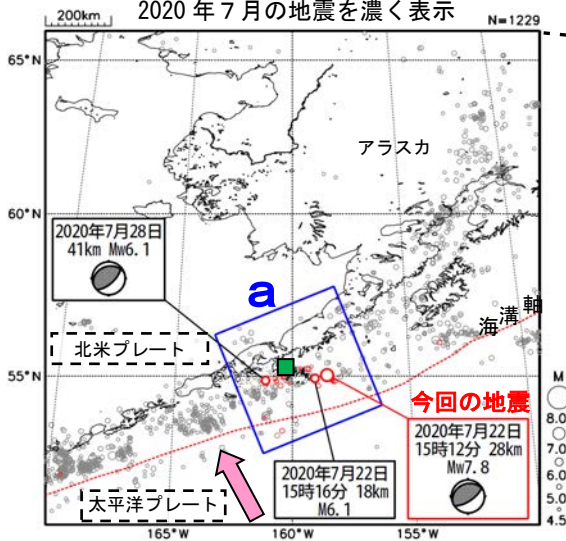
気象庁は、この地震により、遠地地震に関する情報を同日15時50分（日本沿岸で若干の海面変動あり）と同日19時50分（現地でも津波を観測）に発表した。この地震によりサンドポイント（米国アラスカ州）で0.24mの津波を観測した。今回の地震の震央周辺（領域a）では、この地震の後、同日15時16分にM6.1の地震、また、7月28日にもMw6.1の地震が発生した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、時々M6.0以上の地震が発生している。

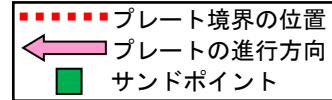
1915年以降の活動をみると、アラスカ周辺では、1964年3月28日に最大級規模の地震（アラスカ地震）（Mw9.2）が発生し、死者131人等の被害が生じている。

震央分布図①

(2000年1月1日～2020年7月31日、  
深さ0～200km、M≥4.5)  
2020年7月の地震を濃く表示



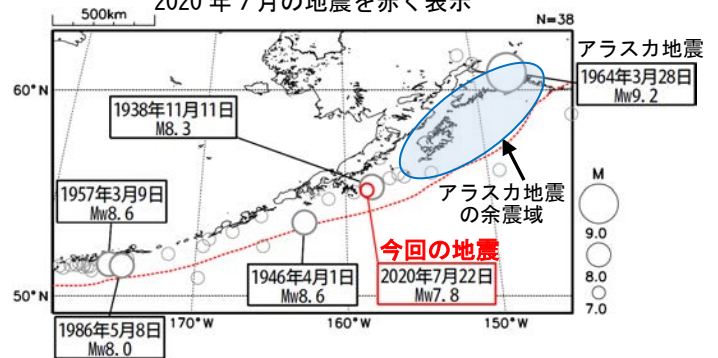
今回の地震の震央位置



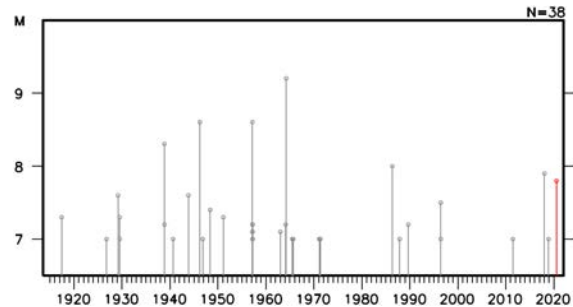
プレートの進行方向は、北米プレートを固定した場合の相対的な方向である。

震央分布図②

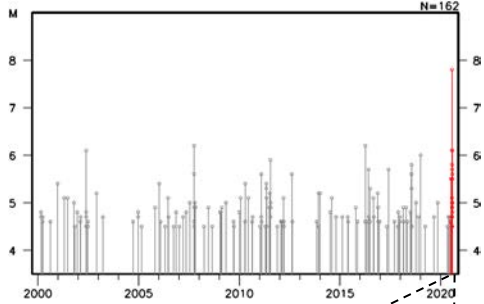
(1915年1月1日～2020年7月31日、  
深さ0～200km、M≥7.0)  
2020年7月の地震を赤く表示



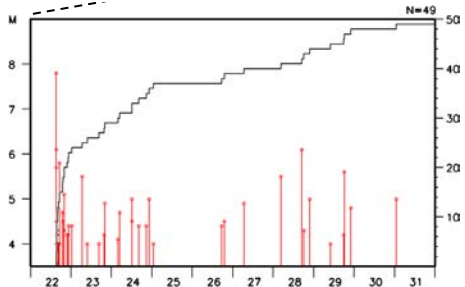
上図内のM-T図



領域a内のM-T図及び回数積算図



(2020年7月22日～31日、M≥4.0)



※本資料中、震央分布図①内の今回の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震のMは米国地質調査所（USGS）、発震機構はGlobalCMTによる。震央分布図②内の2016年以前の地震の震源要素は国際地震センター（ISCGEM）による。その他の震源要素はいずれも米国地質調査所（USGS）による（2020年8月3日現在）。1964年3月28日の地震（アラスカ地震）のMと被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。津波の高さは、米国海洋大気庁（NOAA）による（2020年8月3日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.



## ● 世界の主な火山活動

令和2年（2020年）7月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）\*は以下のとおり。



図 令和2年（2020年）7月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” ([http://www.volcano.si.edu/reports\\_weekly.cfm](http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、\*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後にF'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 01 14	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 42.5' N	130° 44.1' E	12km	M: 2.1
2	1 13 12	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町*=1.0 大船渡市大船渡町=0.7 大船渡市猪川町=0.6 一関市室根町*=0.5 1 石巻市桃生町*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.8 登米市東和町*=0.7 南三陸町志津川=0.6	38° 48.8' N	141° 55.5' E	53km	M: 3.6
3	1 17 45	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.4	26° 27.3' N	141° 56.6' E	56km	M: 4.3
4	1 18 25	千葉県東方沖 茨城県 2 稲敷市伊佐津*=1.7 稲敷市結佐*=1.5 1 河内町源清田*=1.3 龍ヶ崎市役所*=1.1 稲敷市江戸崎甲*=1.1 神栖市溝口*=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 潮来市辻*=1.1 潮来市堀之内=1.0 つくば市小莖*=0.8 稲敷市須賀津*=0.8 坂東市岩井=0.8 笠間市石井*=0.7 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 取手市寺田*=0.7 石岡市柿岡=0.7 筑西市舟生=0.7 土浦市常名=0.6 利根町布川=0.5 千葉県 2 多古町多古=2.4 一宮町一宮=2.4 長生村本郷*=2.4 旭市南堀之内*=2.3 九十九里町片貝*=2.3 長南町総合グラウンド=2.2 山武市殿台*=2.2 市原市姉崎*=2.2 いすみ市国府台*=2.2 長南町長南*=2.1 睦沢町下之郷*=2.1 山武市蓮沼ニ*=2.0 大網白里市大網*=2.0 山武市松尾町富士見台=1.9 山武市松尾町五反田*=1.8 東金市日吉台*=1.8 芝山町小池*=1.8 勝浦市墨名=1.8 いすみ市大原*=1.8 いすみ市岬町長者*=1.8 山武市蓮沼ハ*=1.8 匝瑳市八日市場ハ*=1.7 横芝光町宮川*=1.7 千葉若葉区小倉台*=1.7 千葉佐倉市海隣寺町*=1.7 横芝光町栗山*=1.7 旭市ニ*=1.7 勝浦市新官*=1.7 白子町関*=1.7 茂原市道表*=1.7 東金市東岩崎*=1.6 東金市東新宿=1.6 旭市高生*=1.6 山武市埴谷*=1.6 香取市仁良*=1.5 旭市萩園*=1.5 1 香取市役所*=1.4 千葉緑区おゆみ野*=1.4 成田国際空港=1.4 千葉中央区中央港=1.3 千葉中央区千葉市役所*=1.3 匝瑳市今泉*=1.3 四街道市鹿渡*=1.3 富里市七栄*=1.3 木更津市富士見*=1.3 香取市佐原平田=1.2 印西市美瀬*=1.2 長柄町桜谷*=1.2 成田市中台*=1.2 成田市名古屋=1.1 香取市佐原諏訪台*=1.1 成田市役所*=1.1 成田市松子*=1.1 八街市八街*=1.1 印西市大森*=1.1 香取市羽根川*=1.1 君津市久留里市場*=1.1 大多喜町大多喜*=1.1 千葉花見川区花島町*=1.1 市原市国分寺台中央*=1.0 千葉稲毛区園生町*=1.0 鴨川市横渚*=1.0 香取市岩部*=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 酒々井町中央台*=1.0 鴨川市八色=0.9 鴨川市内浦=0.9 白井市復*=0.9 栄町安食台*=0.9 八千代市大和田新田*=0.9 神崎町神崎本宿*=0.9 成田市猿山*=0.8 千葉美浜区稲毛海岸*=0.8 館山市長須賀=0.7 木更津市太田=0.7 銚子市小畑新町=0.5 埼玉県 1 さいたま緑区中尾*=1.3 春日部市谷原新田*=0.9 川口市青木*=0.8 春日部市柏壁*=0.8 加須市大利根*=0.7 吉川市きよみ野*=0.7 さいたま大宮区大門*=0.7 越谷市越ヶ谷*=0.6 春日部市金崎*=0.6 加須市騎西*=0.5 草加市中央*=0.5 さいたま南区別所*=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.8 東京国際空港=0.7 八王子市堀之内*=0.7 東京大田区本羽田*=0.6 東京大田区多摩川*=0.6 調布市西つつじヶ丘*=0.6 東京中央区勝どき*=0.5 東京墨田区東向島*=0.5 東京板橋区高島平*=0.5 東京足立区神明南*=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町*=1.2 横浜中区山手町=1.1 横浜港南区丸山台東部*=0.8 横浜磯子区洋光台*=0.7 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.7 藤沢市朝日町*=0.5 湯河原町中央=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.9	35° 23.7' N	140° 26.7' E	57km	M: 4.4
5	1 22 24	千葉県東方沖 千葉県 1 長南町総合グラウンド=0.8 一宮町一宮=0.6 長南町長南*=0.6 長生村本郷*=0.5	35° 23.9' N	140° 26.1' E	57km	M: 2.7
6	2 16 07	北海道東方沖 北海道 2 中標津町丸山*=1.7 標津町北2条*=1.7 根室市落石東*=1.7 1 根室市瑤瑤瑠*=1.4 羅臼町岬町*=1.3 清里町羽衣町*=1.3 別海町常盤=1.2 別海町本別海*=1.0 根室市厚床*=0.9 標茶町塘路*=0.9 根室市牧の内*=0.6 羅臼町緑町*=0.6 根室市弥栄=0.6	43° 36.6' N	147° 40.1' E	11km	M: 4.8
7	2 23 29	茨城県南部 茨城県 1 つくば市小莖*=1.1 つくばみらい市福田*=1.1 土浦市常名=0.9 取手市寺田*=0.9 石岡市柿岡=0.7 水戸市内原町*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.6 茨城古河市下大野*=0.6 土浦市藤沢*=0.5 筑西市門井*=0.5 城里町小勝*=0.5 桜川市真壁*=0.5 栃木県 1 栃木市旭町=1.1 真岡市田町*=0.9 宇都宮市明保野町=0.5 栃木市岩舟町静*=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.0	35° 59.6' N	140° 08.1' E	59km	M: 3.3

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
8	3 00 08	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*0.7	29° 35.6' N	129° 42.4' E	6km	M: 2.1
9	3 11 36	長野県中部 長野県 2 松本市安曇*1.7 1 松本市奈川*1.4 松本市梓川梓*1.3 木曾町開田高原西野*1.3 朝日村役場*1.2 山形村役場*1.1 松本市丸の内*1.1 木曾町新開*1.1 塩尻市櫛川保育園*1.1 木曾町三岳*1.0 諏訪市湖岸通り*0.9 木曾町日義*0.9 安曇野市堀金*0.8 安曇野市穂高福祉センター*0.7 下諏訪町役場*0.7 長野市中条*0.7 塩尻市木曾平沢*0.7 松本市波田*0.6 木祖村藪原*0.6 岐阜県 2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.8 1 高山市高根町*0.9 高山市上宝町本郷*0.9	36° 13.3' N	137° 38.7' E	4km	M: 3.7
10	3 12 21	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*1.1 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.1	36° 13.3' N	137° 38.7' E	5km	M: 2.9
11	3 14 12	<b>福島県沖</b> 宮城県 3 石巻市桃生町*2.6 2 角田市角田*2.4 山元町浅生原*2.4 岩沼市桜*2.2 亘理町悠里*2.0 蔵王町円田*2.0 宮城川崎町前川*2.0 丸森町上滝=1.9 東松島市小野*1.8 石巻市大街道南*1.8 登米市中田町=1.7 登米市迫町*1.7 丸森町鳥屋*1.7 名取市増田*1.7 東松島市矢本*1.6 仙台空港=1.6 柴田町船岡=1.6 白石市亘理町*1.6 大崎市田尻*1.5 大河原町新南*1.5 1 涌谷町新町裏=1.4 登米市豊里町*1.4 村田町村田*1.4 仙台青葉区作並*1.4 仙台若林区遠見塚*1.3 大崎市松山*1.3 大崎市鹿島台*1.3 七ヶ宿町関*1.3 色麻町四籠*1.3 仙台宮城野区五輪=1.3 松島町高城=1.2 大郷町粕川*1.2 大衡村大衡*1.2 栗原市築館*1.2 登米市南方町*1.2 南三陸町志津川=1.2 大崎市古川三日町=1.2 大崎市古川大崎=1.2 栗原市瀬峰*1.2 宮城美里町木間塚*1.1 仙台青葉区雨宮*1.1 登米市米山町*1.1 大崎市古川旭*1.1 仙台泉区将監*1.1 七ヶ浜町東宮浜*1.1 登米市津山町*1.1 栗原市若柳*1.1 仙台太白区山田*1.0 石巻市北上町*1.0 多賀城市中央*1.0 登米市登米町*1.0 仙台青葉区大倉=1.0 利府町利府*1.0 宮城加美町中新田*1.0 栗原市志波姫*1.0 仙台青葉区落合*1.0 栗原市栗駒=1.0 栗原市一迫*1.0 登米市東和町*0.9 石巻市相野谷*0.9 石巻市前谷地*0.9 登米市石越町*0.9 仙台宮城野区苦竹*0.9 栗原市高清水*0.9 気仙沼市笹が陣*0.9 石巻市泉町=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 女川町女川浜*0.8 栗原市金成*0.8 宮城美里町北浦*0.8 気仙沼市唐桑町*0.7 富谷市富谷*0.7 大和町吉岡*0.7 石巻市鮎川浜*0.6 福島県 3 田村市都路町*2.9 檜葉町北田*2.9 浪江町幾世橋=2.9 富岡町本岡*2.8 田村市大越町*2.8 大熊町大川原*2.7 南相馬市原町区高見町*2.7 双葉町両竹*2.5 相馬市中村*2.5 いわき市三和町=2.5 2 田村市常葉町*2.4 田村市滝根町*2.4 小野町小野新町*2.3 福島広野町下北迫大谷地原*2.3 南相馬市小高区*2.3 福島伊達市梁川町*2.2 国見町藤田*2.2 福島伊達市霊山町*2.1 新地町谷地小屋*2.1 南相馬市原町区三島町=2.1 いわき市平梅本*2.1 本宮市本宮*2.0 福島広野町下北迫苗代替*2.0 川内村上川内早渡*2.0 白河市新白河*2.0 飯館村伊丹沢*2.0 玉川村小高*2.0 天栄村下松本*1.9 棚倉町棚倉中居野=1.9 桑折町東大隅*1.9 田村市船引町=1.9 南相馬市原町区本町*1.9 川俣町五百田*1.9 須賀川市八幡山*1.8 鏡石町不時沼*1.8 川内村下川内=1.8 須賀川市岩瀬支所*1.8 泉崎村泉崎*1.8 須賀川市八幡町*1.8 福島伊達市月館町*1.8 南相馬市鹿島区西町*1.8 本宮市白岩*1.8 白河市表郷*1.7 川内村上川内小山平*1.7 大熊町野上*1.7 二本松市金色*1.7 二本松市油井*1.7 浅川町浅川*1.7 古殿町松川新桑原*1.7 いわき市平四ツ波*1.7 小野町中通*1.7 葛尾村落合落合*1.6 福島市松木町=1.6 福島市五老内町*1.6 白河市郭内=1.6 石川町長久保*1.6 福島伊達市前川原*1.6 福島市桜木町*1.5 大玉村玉井*1.5 福島伊達市保原町*1.5 白河市東*1.5 福島市飯野町*1.5 二本松市針道*1.5 中島村滑津*1.5 1 郡山市湖南町*1.4 大玉村南小屋=1.4 矢祭町戸塚*1.4 郡山市朝日=1.3 郡山市開成*1.3 白河市大信*1.3 西郷村熊倉*1.3 いわき市錦町*1.3 矢吹町一本木*1.2 矢祭町東館*1.2 平田村永田*1.2 古殿町松川横川=1.2 三春町大町*1.2 猪苗代町千代田*1.2 須賀川市長沼支所*1.2 いわき市小名浜=1.1 塙町塙*1.0 猪苗代町城南=0.8 棚倉町棚倉ヶ丘*0.7 鮫川村赤坂中野*0.6 二本松市小浜*0.6 天栄村湯本支所*0.5 2 大子町池田*1.9 笠間市石井*1.7 日立市助川小学校*1.5 日立市十王町友部*1.5 1 笠間市中央*1.4 常陸大宮市山方*1.4 那珂市瓜連*1.4 城里町小勝*1.4 日立市役所*1.3 笠間市笠間*1.3 東海村東海*1.3 常陸大宮市北町*1.3 土浦市常名=1.3 水戸市千波町*1.2 常陸太田市高柿町*1.2 高萩市安良川*1.2 常陸大宮市野口*1.2 城里町石塚*1.2 ひたちなか市南神敷台*1.1 常陸大宮市上小瀬*1.1 小美玉市堅倉*1.1 水戸市栗崎町*1.1 石岡市柿岡=1.1 桜川市羽田*1.1 常陸太田市金井町*1.1 小美玉市小川*1.0 土浦市藤沢*1.0 筑西市舟生=1.0 筑西市門井*1.0 笠間市下郷*1.0 北茨城市磯原町*0.9 小美玉市上玉里*0.9 水戸市金町=0.9 ひたちなか市東石川*0.9 石岡市若宮*0.9 取手市寺田*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.9 茨城町小堤*0.9 桜川市岩瀬*0.9 桜川市真壁*0.9 常陸太田市町屋町=0.9 那珂市福田*0.9 城里町阿波山*0.9 つくば市天王台*0.8 つくば市研究学園*0.8 つくば市小茎*0.8 美浦村受領*0.8 坂東市山*0.8 北茨城市中郷町*0.8 稲敷市伊佐津*0.8 行方市麻生*0.8 鉾田市汲上*0.8 常陸太田市町田*0.8 常陸大宮市中富町=0.8 土浦市田中*0.8 高萩市本町*0.8 石岡市石岡*0.8 かすみがうら市土上田*0.7 常陸大宮市高部*0.7 かすみがうら市大和田*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 茨城鹿嶋市宮中*0.6 鉾田市鉾田=0.6 栃木県 2 那須町寺子*1.6	37° 30.4' N	141° 34.3' E	46km	M: 4.9

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 宇都宮市明保野町=1.3 芳賀町祖母井*=1.2 高根沢町石末*=1.2 那須烏山市中央=1.2 栃木那珂川町小川*=1.1 大田原市本町*=1.0 市貝町市塙*=1.0 栃木那珂川町馬頭*=0.9 大田原市黒羽田町=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 益子町益子=0.7 栃木さくら市喜連川*=0.7 那須烏山市大金*=0.7 那須塩原市鍋掛*=0.7 茂木町茂木*=0.6 栃木市岩舟町静*=0.6 小山市神鳥谷*=0.6 真岡市田町*=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5 下野市大松山*=0.5 岩手県 1 一関市室根町*=1.3 一関市千厩町*=1.3 一関市花泉町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 一関市東山町*=1.0 住田町世田米*=0.9 釜石市中妻町*=0.8 平泉町平泉*=0.8 奥州市衣川*=0.8 北上市相去町*=0.7 奥州市前沢*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 盛岡市山王町=0.6 盛岡市藪川*=0.6 遠野市青笹町*=0.5 一関市大東町=0.5 山形県 1 上山市河崎*=1.2 米沢市林泉寺*=1.2 米沢市アルカディア=1.1 高島町高島*=1.0 南陽市三間通*=0.8 白鷹町荒砥*=0.7 米沢市金池*=0.6 山形川西町上小松*=0.6 中山町長崎*=0.6 河北町谷地=0.5 米沢市駅前=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=0.9 桐生市黒保根町*=0.7 邑楽町中野*=0.7 千代田町赤岩*=0.5 沼田市白沢町*=0.5 前橋市粕川町*=0.5 伊勢崎市西久保町*=0.5 埼玉県 1 東松山市松葉町*=0.8 加須市大根*=0.7 久喜市下早見=0.7 春日部市柏壁*=0.7 加須市騎西*=0.6 春日部市金崎*=0.6 川島町下八ツ林*=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=0.8 香取市佐原平田=0.5 八千代市大和田新田*=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6				
12	3 21 44	栃木県北部 福島県 栃木県 群馬県	36° 55.8' N	139° 40.5' E	7km	M: 3.7
		2 檜枝岐村上河原*=2.0 1 南会津町滝原*=1.2 南会津町田島=1.2 南会津町松戸原*=0.9 天栄村湯本支所*=0.5 2 日光市黒部*=2.2 日光市藤原庁舎*=2.0 日光市鬼怒川温泉大原*=1.9 那須塩原市塩原庁舎*=1.7 1 日光市芹沼*=1.4 那須塩原市中塩原*=1.2 日光市瀬川=1.0 日光市御幸町*=0.8 日光市湯元*=0.8 日光市今市本町*=0.7 栃木那珂川町小川*=0.7 宇都宮市中里町*=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.5				
13	3 22 33	千葉県南東沖 千葉県	34° 37.6' N	140° 12.7' E	65km	M: 4.0
		1 館山市長須賀=0.7				
14	4 15 19	福島県沖 福島県	37° 21.3' N	141° 19.9' E	32km	M: 3.5
		1 大熊町大川原*=1.4 双葉町両竹*=1.1 田村市都路町*=1.0 檜葉町北田*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 川内村下川内=0.6 南相馬市鹿島区西町*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.5				
15	5 04 10	岐阜県飛騨地方 岐阜県 長野県	36° 17.1' N	137° 37.2' E	4km	M: 4.4
		3 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=2.5 2 高山市上宝町本郷*=2.2 飛騨市神岡町東町*=1.6 1 飛騨市神岡町殿=1.2 高山市消防署*=0.9 高山市桐生町=0.8 高山市丹生川町坊方*=0.8 高山市高根町*=0.8 飛騨市河合町元田*=0.6 飛騨市古川町*=0.5 恵那市上矢作町*=0.5 2 小川村高府*=2.1 松本市奈川*=1.7 安曇野市堀金*=1.7 松本市安曇*=1.7 山形村役場*=1.6 木曾町開田高原西野*=1.5 松本市丸の内*=1.5 長野市中条*=1.5 1 長野市信州新町新町*=1.4 木曾町三岳*=1.3 安曇野市穂高福祉センター*=1.2 木曾町新開*=1.2 大町市美麻*=1.2 松川村役場*=1.1 安曇野市豊科*=1.1 松本市梓川梓*=1.1 朝日村役場*=1.1 安曇野市穂高支所=1.1 諏訪市湖岸通り=1.0 松本市美須々*=1.0 松本市寿*=0.9 茅野市葛井公園*=0.9 根羽村役場*=0.9 大町市役所=0.8 信濃町柏原東裏*=0.8 松本市波田*=0.8 下諏訪町役場*=0.7 大町市大町図書館*=0.7 諏訪市高島*=0.7 松本市沢村=0.7 安曇野市明科*=0.7 塩尻市櫛川保育園*=0.7 筑北村坂井=0.7 筑北村西条*=0.7 長野池田町池田*=0.6 安曇野市三郷*=0.6				
16	5 07 01	岐阜県飛騨地方 岐阜県 長野県 富山県	36° 16.8' N	137° 37.0' E	4km	M: 4.0
		3 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=2.5 2 高山市上宝町本郷*=2.4 飛騨市神岡町東町*=1.7 1 飛騨市神岡町殿=1.3 高山市消防署*=0.7 高山市高根町*=0.6 飛騨市古川町*=0.6 高山市丹生川町坊方*=0.5 2 小川村高府*=1.8 1 松本市安曇*=1.3 山形村役場*=1.3 長野市信州新町新町*=1.2 安曇野市堀金*=1.2 松本市奈川*=1.2 安曇野市穂高福祉センター*=1.1 木曾町新開*=1.0 長野市中条*=0.9 松本市丸の内*=0.9 木曾町三岳*=0.8 大町市美麻*=0.8 木曾町開田高原西野*=0.7 安曇野市穂高支所=0.6 松本市波田*=0.6 松川村役場*=0.6 富山県 1 立山町吉峰=0.6				
17	5 08 26	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 16.7' N	137° 37.8' E	5km	M: 3.1
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.7				
18	5 14 41	福井県嶺南 福井県	35° 22.9' N	135° 45.3' E	9km	M: 2.4
		1 福井おおい町名田庄久坂*=0.5				
19	5 15 09	長野県中部 岐阜県飛騨地方 長野県中部 長野県中部 岐阜県	36° 15.6' N	137° 37.2' E	4km	M: 4.8
(注)	5 15 10	岐阜県飛騨地方	36° 15.9' N	137° 36.9' E	5km	M: 4.0
(注)	5 15 09	長野県中部	36° 14.5' N	137° 39.5' E	3km	M: 3.8
(注)	5 15 09	長野県中部	36° 15.1' N	137° 38.5' E	5km	M: 3.6
		岐阜県 3 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=3.1 2 高山市上宝町本郷*=2.4 飛騨市神岡町殿=2.0				



令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 飛騨市神岡町東町*=1.3 高山市高根町*=1.2 飛騨市河合町元田*=1.1 高山市消防署*=1.0 恵那市上矢作町*=1.0 飛騨市古川町*=0.9 高山市桐生町=0.7 飛騨市河合町角川*=0.6 飛騨市宮川町*=0.6 中津川市川上*=0.6 高山市丹生川町坊方*=0.5 中津川市加子母*=0.5 中津川市付知町*=0.5 高山市国府町*=0.5 2 松本市安曇*=2.4 小川村高府*=2.3 松本市奈川*=2.2 木曾町開田高原西野*=1.9 長野市信州新町新町*=1.8 長野市中条*=1.8 木曾町三岳*=1.7 大町市美麻*=1.5 朝日村役場*=1.5 安曇野市堀金*=1.5 木曾町新開*=1.5 1 松川村役場*=1.4 塩尻市榑川保育園*=1.4 山形村役場*=1.4 茅野市葛井公園*=1.3 松本市丸の内*=1.3 諏訪市湖岸通り=1.3 安曇野市穂高福祉センター*=1.3 麻績村麻*=1.2 大町市大町図書館*=1.2 青木村田沢青木*=1.2 下諏訪町役場*=1.2 安曇野市豊科*=1.1 木曾町日義*=1.1 安曇野市穂高支所=1.1 大町市役所=1.1 筑北村坂井=1.0 大町市八坂*=1.0 松本市梓川梓*=1.0 長野池田町池田*=1.0 生坂村役場*=1.0 安曇野市明科*=0.9 諏訪市高島*=0.9 筑北村西条*=0.9 根羽村役場*=0.9 王滝村鈴ヶ沢*=0.9 信濃町柏原東裏*=0.8 長野高森町下市田*=0.8 木曾町福島*=0.7 松本市美須々*=0.7 坂城町坂城*=0.7 長野市大岡*=0.7 松本市波田*=0.7 王滝村役場*=0.7 塩尻市木曾平沢*=0.7 売木村役場*=0.6 長野市鬼無里*=0.6 筑北村坂北*=0.6 上田市築地=0.5 上田市大手*=0.5 南木曾町読書小学校*=0.5 1 立山町吉峰=0.9 富山市八尾町福島=0.6 南砺市利賀村上百瀬*=0.6 南砺市上平島*=0.6 南砺市下梨*=0.5 南砺市城端*=0.5 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*=0.8 愛知県 1 新城市矢部=0.5				
20	5 15 11	長野県中部 長野県	36° 14.4' N	137° 38.8' E	4km	M: 3.0
		1 松本市安曇*=0.8				
21	5 15 14	長野県中部 岐阜県	36° 15.0' N	137° 38.7' E	4km	M: 2.6
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.6				
22	5 15 18	長野県中部 長野県	36° 13.4' N	137° 38.3' E	6km	M: 2.2
		1 松本市安曇*=0.5				
23	5 17 57	長野県中部 長野県 岐阜県	36° 15.1' N	137° 38.5' E	5km	M: 3.0
		1 松本市安曇*=0.6 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.6				
24	5 18 21	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 18.2' N	137° 37.5' E	3km	M: 2.8
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5				
25	5 21 50	長野県中部 長野県	36° 14.7' N	137° 38.9' E	6km	M: 2.9
		1 朝日村役場*=0.7 松本市安曇*=0.6				
26	5 22 59	長野県中部 岐阜県	36° 15.9' N	137° 37.3' E	5km	M: 3.1
		2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=1.7 1 高山市上宝町本郷*=1.0 飛騨市神岡町殿=0.5 1 松本市安曇*=0.9 長野市信州新町新町*=0.7 松本市奈川*=0.7 小川村高府*=0.7				
27	5 23 30	長野県中部 長野県 岐阜県	36° 15.0' N	137° 37.6' E	5km	M: 3.4
		2 松本市安曇*=2.0 1 長野市信州新町新町*=0.8 朝日村役場*=0.8 松本市奈川*=0.7 長野市中条*=0.7 松川村役場*=0.6 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.6				
28	6 00 18	長野県中部 岐阜県	36° 16.5' N	137° 38.0' E	5km	M: 2.6
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5				
29	6 02 17	長野県中部 長野県	36° 14.2' N	137° 38.3' E	6km	M: 3.5
		2 松本市安曇*=1.9 1 木曾町新開*=1.3 松本市丸の内*=1.2 松本市奈川*=1.0 木曾町三岳*=1.0 山形村役場*=0.9 木曾町開田高原西野*=0.9 朝日村役場*=0.9 下諏訪町役場*=0.8 長野市中条*=0.7 松川村役場*=0.7 安曇野市穂高福祉センター*=0.5 小川村高府*=0.5 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.7 高山市高根町*=0.7				
30	6 02 53	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 16.1' N	137° 36.8' E	4km	M: 2.6
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5				
31	6 03 20	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 15.9' N	137° 36.9' E	4km	M: 2.8
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=1.2 高山市上宝町本郷*=1.0				
32	6 03 33	紀伊水道 和歌山県	34° 08.5' N	135° 04.2' E	9km	M: 3.2
		2 有田市初島町*=1.6 海南市下津*=1.5 1 和歌山市一番丁*=1.0 有田市箕島=0.9 湯浅町青木*=0.7 和歌山市男野芝丁=0.6 和歌山広川町広*=0.5				
33	6 05 49	長野県中部 長野県	36° 14.2' N	137° 38.4' E	4km	M: 2.9
		1 松本市安曇*=0.5				

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
34	6 07 03	長野県中部 長野県	36° 14.1' N	137° 38.6' E	6km	M: 3.8
		2 松本市安曇*2.2 松本市奈川*1.6 長野市信州新町新町*1.6 1 山形村役場*1.4 朝日村役場*1.4 松川村役場*1.2 長野市中条*1.2 下諏訪町役場*1.1 木曾町新開*1.1 松本市丸の内*1.1 塩尻市榑川保育園*1.0 長野池田町池田*1.0 木曾町開田高原西野*1.0 木曾町三岳*1.0 茅野市葛井公園*1.0 安曇野市堀金*0.9 松本市梓川梓*0.9 大町市八坂*0.9 諏訪市湖岸通り*0.9 大町市美麻*0.9 安曇野市穂高支所*0.8 根羽村役場*0.8 安曇野市穂高福祉センター*0.8 小川村高府*0.7 松本市寿*0.7 塩尻市木曾平沢*0.7 青木村田沢青木*0.7 木曾町日義*0.7 大町市大町図書館*0.7 松本市波田*0.6 信濃町柏原東裏*0.6 麻績村麻*0.6 筑北村坂井*0.5 大町市役所*0.5 売木村役場*0.5				
		岐阜県				
		2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.8 1 高山市高根町*1.4 高山市上宝町本郷*0.7				
35	6 10 15	茨城県南部 茨城県	36° 03.9' N	139° 53.1' E	44km	M: 3.1
		1 土浦市常名*0.7 土浦市藤沢*0.7 筑西市門井*0.7 城里町小勝*0.6 常陸大宮市北町*0.6 桜川市羽田*0.5				
36 (注)	6 17 52 6 17 52	長野県中部 長野県中部 長野県 岐阜県	36° 12.2' N 36° 13.4' N	137° 39.7' E 137° 38.7' E	6km 5km	M: 3.2 M: 3.1
		1 松本市安曇*1.4 松本市奈川*1.0 塩尻市榑川保育園*0.8 朝日村役場*0.7 木曾町新開*0.6 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*0.8				
37	6 21 58	マリアナ諸島 東京都	21° 22.7' N	145° 02.1' E	121km	M: 5.8
		1 小笠原村母島*0.5				
38	6 23 28	長野県中部 岐阜県	36° 15.8' N	137° 37.0' E	4km	M: 2.5
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*0.8				
39	7 02 15	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 16.2' N	137° 36.9' E	3km	M: 2.4
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*0.5				
40	7 03 19	鳥島近海 栃木県 東京都	31° 33.3' N	138° 21.5' E	406km	M: 5.5
		1 宇都宮市明保野町*0.8 1 小笠原村母島*1.3 小笠原村父島三日月山*0.6				
41	7 09 04	岐阜県飛騨地方 長野県 岐阜県	36° 17.5' N	137° 38.4' E	1km	M: 3.2
		1 松本市安曇*0.5 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.4 高山市上宝町本郷*0.9				
42	7 13 49	茨城県沖 茨城県	36° 12.2' N	140° 57.8' E	45km	M: 3.5
		1 日立市助川小学校*0.9 水戸市千波町*0.7 高萩市安良川*0.7				
43	7 14 13	青森県三八上北地方 青森県	40° 36.8' N	140° 56.3' E	5km	M: 3.2
		1 五戸町倉石中市*1.1 野辺地町田狭沢*1.0 七戸町七戸*0.9				
44 (注)	7 22 29 7 22 29	長野県中部 長野県中部 長野県 岐阜県	36° 13.5' N 36° 13.5' N	137° 39.8' E 137° 38.9' E	5km 6km	M: 3.2 M: 3.1
		2 松本市安曇*1.7 1 松本市奈川*1.0 木曾町新開*0.7 松本市丸の内*0.6 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.0				
45	7 23 55	長野県中部 長野県 岐阜県	36° 13.6' N	137° 38.9' E	6km	M: 3.3
		1 松本市安曇*1.3 木曾町開田高原西野*0.7 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.3				
46	8 01 13	胆振地方中東部 北海道	42° 45.8' N	141° 58.9' E	35km	M: 3.2
		1 安平町追分柏が丘*1.3 厚真町鹿沼*1.2 千歳市若草*1.2 千歳市支笏湖温泉*1.0 千歳市北栄*0.9 安平町早来北進*0.8 恵庭市京町*0.7 むかわ町穂別*0.7 新千歳空港*0.5				
47	8 01 46	福島県沖 福島県	37° 30.7' N	141° 19.8' E	52km	M: 3.5
		1 川内村下川内*1.1 南相馬市原町区高見町*0.9				
48	8 03 53	長野県中部 長野県	36° 14.3' N	137° 38.4' E	5km	M: 2.7
		1 松本市安曇*0.5				
49	8 05 01	長野県中部 長野県 岐阜県	36° 14.1' N	137° 38.4' E	5km	M: 3.4
		1 松本市安曇*1.4 長野市中条*1.0 山形村役場*0.8 下諏訪町役場*0.7 木曾町新開*0.7 木曾町開田高原西野*0.7 木曾町三岳*0.6 朝日村役場*0.6 長野市信州新町新町*0.5 諏訪市湖岸通り*0.5 松川村役場*0.5 1 高山市高根町*0.7				

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
50	8 08 12	岐阜県美濃中西部 岐阜県 愛知県	35° 25.2' N	136° 45.7' E	9km	M: 2.5 1 瑞穂市別府*=0.5 1 一宮市千秋=1.0
51	8 08 34	岩手県沖 岩手県	39° 06.8' N	142° 06.4' E	46km	M: 3.1 1 大船渡市大船渡町=0.5
52	8 14 55	兵庫県南東部 京都府 大阪府 兵庫県	34° 50.4' N	135° 22.9' E	12km	M: 2.9 1 亀岡市安町=0.8 1 箕面市箕面=0.9 大阪旭区大宮*=0.7 豊中市曾根南町*=0.6 大阪東淀川区北江口*=0.6 1 西宮市名塩*=0.9 三田市下里*=0.8
53	8 17 48	福井県嶺北 福井県	35° 55.4' N	136° 38.4' E	10km	M: 2.7 1 大野市貝皿*=1.3 大野市朝日*=1.3
54	8 18 53	福井県嶺北 福井県	35° 55.4' N	136° 38.4' E	9km	M: 2.3 1 大野市貝皿*=0.5
55	8 18 55	福井県嶺北 福井県	35° 55.4' N	136° 38.3' E	9km	M: 2.4 1 大野市朝日*=0.8 大野市貝皿*=0.7
56	8 19 53	栃木県南部 栃木県	36° 31.9' N	139° 55.1' E	87km	M: 3.2 1 芳賀町祖母井*=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 栃木市岩舟町静*=0.5
57	9 06 05	茨城県南部 茨城県	36° 03.8' N	139° 50.6' E	45km	M: 4.7 4 茨城古河市下大野*=3.7 坂東市山*=3.5 3 土浦市藤沢*=3.1 結城市結城*=3.1 境町旭町*=3.1 坂東市馬立*=3.1 筑西市舟生=3.1 桜川市岩瀬*=3.1 茨城古河市長谷町*=3.0 筑西市海老ヶ島*=3.0 笠間市石井*=2.9 筑西市門井*=2.9 坂東市役所*=2.9 常総市新石下*=2.8 笠間市下郷*=2.8 笠間市笠間*=2.8 桜川市羽田*=2.8 坂東市岩井*=2.7 城里町小勝*=2.7 土浦市常名=2.7 石岡市柿岡=2.6 笠間市中央*=2.6 下妻市本城町*=2.6 下妻市鬼怒*=2.6 八千代町菅谷*=2.6 五霞町小福田*=2.6 茨城古河市仁連*=2.6 桜川市真壁*=2.6 かすみがうら市上土田*=2.5 石岡市八郷*=2.5 筑西市下中山*=2.5 小美玉市堅倉*=2.5 つくば市天王台*=2.5 つくばみらい市福田*=2.5 2 小美玉市上玉里*=2.4 取手市寺田*=2.4 石岡市若宮*=2.3 石岡市石岡*=2.3 小美玉市小川*=2.3 つくば市小荻*=2.2 かすみがうら市大和田*=2.2 常総市水海道諏訪町*=2.2 常陸大宮市北町*=2.2 龍ヶ崎市役所*=2.2 水戸市千波町*=2.2 那珂市福田*=2.1 稲敷市江戸崎甲*=2.1 茨城町小堤*=2.1 行方市玉造*=2.1 日立市十王町友部*=2.1 土浦市田中*=2.1 牛久中央*=2.1 水戸市金町=2.0 常陸大宮市中富町=2.0 つくば市研究学園*=2.0 城里町石塚*=1.9 東海村東海*=1.9 鉾田市汲上*=1.9 阿見町中央*=1.9 つくばみらい市加藤*=1.9 守谷市大柏*=1.9 那珂市瓜連*=1.9 利根町布川=1.8 常陸大宮市上小瀬*=1.8 稲敷市役所*=1.8 稲敷市結佐*=1.8 城里町阿波山*=1.8 常陸大宮市野口*=1.8 取手市井野*=1.8 取手市藤代*=1.8 常陸大宮市山方*=1.7 大子町池田*=1.6 稲敷市須賀津*=1.6 茨城鹿嶋市鉢形=1.6 鉾田市鉾田=1.6 鉾田市造谷*=1.6 潮来市辻*=1.6 美浦村受領*=1.6 稲敷市伊佐津*=1.6 行方市麻生*=1.5 河内町源清田*=1.5 日立市助川小学校*=1.5 水戸市栗崎町*=1.5 常陸太田市高柿町*=1.5 神栖市溝口*=1.5 ひたちなか市南神敷台*=1.5 1 常陸大宮市高部*=1.4 茨城鹿嶋市宮中*=1.4 常陸太田市金井町*=1.3 ひたちなか市東石川*=1.3 潮来市堀之内=1.3 行方市山田*=1.3 常陸太田市町屋町=1.1 常陸太田市大中町*=1.1 高萩市安良川*=1.0 北茨城市中郷町*=1.0 ひたちなか市山ノ上町=1.0 常陸太田市町田町*=0.9 日立市役所*=0.8 北茨城市磯原町*=0.7 大洗町磯浜町*=0.7 栃木県 4 栃木市岩舟町静*=4.0 下野市田中*=3.8 下野市笹原*=3.6 益子町益子=3.6 栃木市藤岡町藤岡*=3.6 足利市大正町*=3.5 佐野市高砂町*=3.5 栃木市旭町=3.5 3 鹿沼市晃望台*=3.3 野木町丸林*=3.2 佐野市中町*=3.1 宇都宮市明保野町=3.1 栃木市大平町富田*=3.0 佐野市葛生東*=2.9 佐野市田沼町*=2.9 壬生町通町*=2.8 栃木市万町*=2.8 小山市神鳥谷*=2.7 小山市中央町*=2.7 栃木市西方町本城*=2.7 鹿沼市口栗野*=2.6 上三川町しらさぎ*=2.6 栃木市都賀町家中*=2.6 高根沢町石末*=2.6 2 宇都宮市中岡本町*=2.4 真岡市田町*=2.3 下野市大松山*=2.3 日光市鬼怒川温泉大原*=2.3 宇都宮市塙田*=2.3 栃木さくら市喜連川*=2.2 宇都宮市中里町*=2.2 茂木町茂木*=2.2 芳賀町祖母井*=2.1 日光市芹沼*=2.1 塩谷町玉生*=2.1 宇都宮市旭*=2.1 鹿沼市今宮町*=2.0 市貝町市塙*=2.0 栃木さくら市氏家*=1.9 日光市足尾町中才*=1.9 真岡市荒町*=1.9 日光市藤原庁舎*=1.9 矢板市本町*=1.9 日光市瀬川=1.7 日光市湯元*=1.7 茂木町北高岡天矢場*=1.7 那須烏山市中央=1.7 栃木那珂川町小川*=1.7 那須烏山市大金*=1.6 那須塩原市塩原庁舎*=1.5 那須塩原市あたご町*=1.5 1 日光市足尾町通洞*=1.4 日光市御幸町*=1.4 日光市黒部*=1.4 日光市中宮祠=1.3 大田原市本町*=1.3 日光市今市本町*=1.2 那須町寺子*=1.1 栃木那珂川町馬頭*=1.1 大田原市黒羽田町=0.9 那須烏山市役所*=0.9 那須塩原市中塩原*=0.8 那須塩原市藁沼=0.7 那須塩原市共墾社*=0.7 那須塩原市鍋掛*=0.6 群馬県 4 板倉町板倉=4.0 3 大泉町日の出*=3.3 太田市西本町*=3.3 群馬明和町新里*=3.3 邑楽町中野*=3.2 千代田町赤岩*=3.1 桐生市元宿町*=2.9 伊勢崎市西久保町*=2.9 桐生市新里町*=2.8 館林市城町*=2.8 みどり市大間々町*=2.8 前橋市粕川町*=2.7 桐生市黒保根町*=2.7 太田市浜町*=2.6 太田市大原町*=2.6 藤岡市鬼石*=2.6 沼田市西倉内町=2.5 渋川市赤城町*=2.5 2 沼田市利根町*=2.3 前橋市堀越町*=2.3 桐生市織姫町=2.3 渋川市吹屋*=2.2 神流町生利*=2.2

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>みどり市東町*2.1 沼田市下久屋町*2.1 片品村東小川*2.1 伊勢崎市今泉町*2.1                      太田市粕川町*2.1 太田市新田金井町*2.1 片品村鎌田*2.0 前橋市鼻毛石町*2.0                      高崎市吉井町吉井川*2.0 沼田市白沢町*2.0 みどり市笠懸町*1.9 東吾妻町本宿*1.9                      前橋市富士見町*1.9 伊勢崎市境*1.8 玉村町下新田*1.8 渋川市伊香保町*1.7                      富岡市七日市*1.7 東吾妻町奥田*1.7 群馬昭和村糸井*1.7 前橋市昭和町*1.6 神流町神ヶ原*1.6                      甘楽町小幡*1.6 富岡市妙義町*1.5 吉岡町下野田*1.5 高崎市新町*1.5                      1 みなかみ町鹿野沢*1.4 前橋市大手町*1.4 高崎市足門町*1.4 藤岡市中栗須*1.4                      安中市安中*1.4 前橋市駒形町*1.3 渋川市石原*1.3 渋川市村上*1.3 中之条町日影*1.2                      渋川市北橋町*1.2 安中市松井田町*1.2 高崎市高松町*1.2 群馬上野村川和*1.2                      高崎市倉沢町*1.2 榛東村新井*1.1 渋川市有馬*1.1 中之条町中之条町*1.1 川場村谷地*1.1                      高崎市箕郷町*1.0 群馬高山村中山*1.0 下仁田町下小坂*0.8 みなかみ町後閑*0.7                      高崎市下室田*0.6 みなかみ町布施*0.6 東吾妻町原町*0.6 草津町草津*0.5                      4 加須市大利根*3.7 加須市騎西*3.5 久喜市下早見*3.5                      3 熊谷市江南*3.4 加須市北川辺*3.4 久喜市鷲宮*3.4 春日部市粕壁*3.3 本庄市児玉町*3.2                      東松山市松葉町*3.2 羽生市東*3.2 久喜市栗橋*3.2 滑川町福田*3.2 加須市三俣*3.2                      行田市南河原*3.1 久喜市菖蒲*3.0 熊谷市宮町*3.0 行田市本丸*3.0                      さいたま見沼区堀崎*3.0 北本市本町*2.9 さいたま北区宮原*2.9 東松山市市ノ川*2.9                      熊谷市桜町*2.8 久喜市青葉*2.8 川口市中青木分室*2.8 春日部市金崎*2.8 桶川市泉*2.8                      杉戸町清地*2.8 さいたま大宮区大門*2.8 さいたま浦和区高砂*2.8 ときがわ町桃木*2.7                      春日部市谷原新田*2.7 鴻巣市中央*2.7 鴻巣市川里*2.7 さいたま岩槻区本丸*2.7                      嵐山町杉山*2.7 埼玉美里町木部*2.6 上尾市本町*2.6 幸手市東*2.6 深谷市岡部*2.6                      長瀨町野上下郷*2.6 さいたま西区指扇*2.5 さいたま緑区中尾*2.5 白岡市千駄野*2.5                      戸田市上戸田*2.5 熊谷市妻沼*2.5 蓮田市黒浜*2.5                      2 深谷市川本*2.4 小川町大塚*2.4 さいたま大宮区天沼町*2.4 さいたま中央区下落合*2.4                      熊谷市大里*2.3 鴻巣市吹上富士見*2.3 深谷市仲町*2.3 ときがわ町玉川*2.3                      坂戸市千代田*2.3 伊奈町小室*2.3 越生町越生*2.3 川島町下八ツ林*2.3                      さいたま南区別所*2.3 埼玉神川町植竹*2.2 川越市新宿町*2.2 八潮市中央*2.2                      秩父市近戸町*2.2 吉見町下細谷*2.2 埼玉神川町下阿久原*2.2 鳩山町大豆戸*2.1                      川口市青木*2.1 越谷市越ヶ谷*2.1 秩父市上町*2.0 草加市中央*2.0 蕨市中央*2.0                      三郷市中央*2.0 毛呂山町中央*2.0 東秩父村御堂*2.0 さいたま浦和区常盤*1.9                      皆野町皆野*1.9 長瀨町本野上*1.9 川口市三ツ和*1.9 朝霞市本町*1.9 本庄市本庄*1.9                      深谷市花園*1.9 鶴ヶ島市三ツ木*1.8 吉川市きよみ野*1.8 川越市旭町*1.8 松伏町松伏*1.8                      和光市広沢*1.8 狭山市入間川*1.7 さいたま桜区道場*1.7 新座市野火止*1.7                      上里町七本木*1.7 秩父市熊木町*1.7 寄居町寄居*1.6 所沢市北有楽町*1.6                      富士見市鶴馬*1.6 ふじみ野市福岡*1.5 横瀬町横瀬*1.5 入間市豊岡*1.5 志木市本町*1.5                      1 埼玉三芳町藤久保*1.4 秩父市吉田*1.4 飯能市名栗*1.3 秩父市荒川*1.2 日高市南平沢*1.1                      ふじみ野市大井*1.1 小鹿野町小鹿野*1.1 秩父市中津川*1.0 所沢市並木*0.9                      飯能市下直竹*0.9 飯能市征矢町*0.9 小鹿野町役場両神庁舎*0.6 飯能市双柳*0.6                      3 野田市鶴奉*2.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.6 野田市東宝珠花*2.5                      2 柏市旭町*2.4 松戸市西馬橋*2.2 柏市柏*2.2 白井市復*2.2 浦安市日の出*2.1 香取市役所*2.0                      千葉花見川区花島町*2.0 八千代市大和田新田*2.0 成田市中央*1.9 習志野市鷲沼*1.9                      印西市大森*1.9 千葉稲毛区園生町*1.8 千葉若葉区小倉台*1.8 千葉美浜区ひび野*1.8                      市川市南八幡*1.8 船橋市湊町*1.8 成田国際空港*1.8 成田市名古屋*1.8 柏市大島田*1.8                      印西市笠神*1.7 栄町安食台*1.7 千葉佐倉市海隣寺町*1.7 流山市平和台*1.7                      我孫子市我孫子*1.7 千葉中央区中央港*1.7 旭市南堀之内*1.6 芝山町小池*1.6                      香取市仁良*1.6 浦安市猫実*1.6 印西市美瀬*1.5 千葉美浜区稲毛海岸*1.5 松戸市根本*1.5                      東金市日吉台*1.5 長南町総合グラウンド*1.5 長南町長南*1.5 香取市佐原平田*1.5                      山武市埴谷*1.5 四街道市鹿渡*1.5 千葉中央区千葉市役所*1.5                      1 多古町多古*1.4 香取市佐原諏訪台*1.4 香取市羽根川*1.4 香取市岩部*1.4                      千葉緑区おゆみ野*1.4 八街市八街*1.4 富里市七栄*1.4 神崎町神崎本宿*1.3                      成田市役所*1.3 成田市松子*1.3 君津市久留里市場*1.3 酒々井町中央台*1.2                      茂原市道表*1.2 鋸南町下佐久間*1.2 南房総市谷向*1.2 山武市蓮沼二*1.2                      山武市松尾町富士見台*1.1 成田市猿山*1.1 市原市国分寺台中央*1.1 木更津市富士見*1.1                      富津市下飯野*1.1 袖ヶ浦市坂戸市場*1.1 九十九里町片貝*1.0 横芝光町栗山*1.0                      山武市蓮沼ハ*1.0 東金市東新宿*1.0 東金市東岩崎*1.0 大多喜町大多喜*0.9                      南房総市富浦町青木*0.9 南房総市岩糸*0.9 一宮町一宮*0.9 館山市北条*0.9 木更津市太田*0.9                      山武市殿台*0.9 横芝光町宮川*0.8 館山市長須賀*0.8 匝瑳市八日市場ハ*0.8 鴨川市横渚*0.7                      旭市ニ*0.6 鴨川市八色*0.5 南房総市上堀*0.5                      3 横浜神奈川区神大寺*2.7 横浜緑区十日市場町*2.5                      2 横浜港北区日吉本町*2.3 横浜中区山下町*2.2 横浜旭区川井宿町*2.2 横浜瀬谷区三ツ境*2.2                      川崎宮前区野川*2.2 横浜鶴見区末広町*2.1 横浜中区山手町*2.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町*2.1                      横浜旭区上白根町*2.1 横浜青葉区榎が丘*2.1 横浜中区山吹町*2.0 横浜青葉区市ヶ尾町*2.0                      川崎川崎区宮前町*2.0 川崎中原区小杉町*2.0 川崎宮前区宮前平*2.0 綾瀬市深谷*2.0                      横浜神奈川区広台太田町*1.9 横浜中区日本大通*1.9 横浜戸塚区鳥が丘*1.9 横浜緑区鴨居*1.9                      横浜瀬谷区中屋敷*1.9 川崎川崎区千鳥町*1.9 相模原南区相模大野*1.9 相模原緑区橋本*1.9                      川崎中原区小杉陣屋町*1.8 相模原緑区久保沢*1.8 横浜西区みなとみらい*1.7                      横浜西区浜松町*1.7 横浜泉区和泉町*1.7 川崎多摩区登戸*1.7 寒川町宮山*1.7                      厚木市中町*1.7 中井町比奈窪*1.7 相模原中央区中央*1.7 相模原中央区上溝*1.7                      相模原中央区水郷田名*1.7 相模原緑区大島*1.7 相模原緑区中野*1.7 横浜磯子区洋光台*1.6                      横浜旭区大池町*1.6 横浜旭区今宿東町*1.6 川崎高津区下作延*1.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎*1.6                      愛川町角田*1.6 横浜戸塚区戸塚町*1.5 横浜港南区丸山台東部*1.5 横浜泉区岡津町*1.5                      横浜都筑区池辺町*1.5 川崎幸区戸手本町*1.5 川崎麻生区万福寺*1.5 平塚市浅間町*1.5                      藤沢市長後*1.5 三浦市城山町*1.5 海老名市大谷*1.5 座間市相武台*1.5</p>				



令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜港北区綱島西*1.5 1 横浜鶴見区鶴見*1.4 横浜鶴見区馬場*1.4 横浜磯子区磯子*1.4 横浜港北区大倉山*1.4 横浜戸塚区平戸町*1.4 川崎川崎区中島*1.4 川崎麻生区片平*1.4 藤沢市大庭*1.4 藤沢市打戻*1.4 大和市下鶴間*1.4 清川村煤ヶ谷*1.4 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.3 横浜金沢区白帆*1.3 横浜青葉区美しが丘*1.3 横浜都筑区茅ヶ崎*1.3 厚木市下津古久*1.3 神奈川大井町金子*1.3 湯河原町中央*1.3 相模原南区磯部*1.3 藤沢市辻堂東海岸*1.2 松田町松田惣領*1.2 横浜栄区小菅ヶ谷*1.2 横須賀市光の丘*1.1 小田原市荻窪*1.1 秦野市曾屋*1.1 山北町山北*1.1 箱根町湯本*1.1 横浜南区六ツ川*1.1 横浜金沢区釜利谷南*1.0 横浜栄区桂台南*1.0 藤沢市朝日町*1.0 相模原緑区小淵*0.7 秦野市平沢*0.7 南足柄市関本*0.7 横須賀市坂本町*0.6 相模原緑区若柳*0.5 2 白河市表郷*2.3 玉川村小高*2.2 白河市東*1.7 白河市大信*1.6 1 郡山市湖南町*1.4 白河市新白河*1.4 須賀川市岩瀬支所*1.4 鏡石町不時沼*1.4 棚倉町棚倉中居野*1.4 田村市大越町*1.4 須賀川市長沼支所*1.3 矢祭町東館*1.3 古殿町松川新桑原*1.3 天栄村下松本*1.2 須賀川市八幡山*1.2 矢祭町戸塚*1.1 平田村永田*1.1 いわき市三和町*1.1 浅川町浅川*1.1 西郷村熊倉*1.0 下郷町塩生*1.0 南会津町田島*1.0 泉崎村泉崎*1.0 須賀川市八幡町*1.0 田村市都路町*0.9 石川町長久保*0.9 南会津町滝原*0.9 南会津町松戸原*0.9 いわき市小名浜*0.8 檜葉町北田*0.8 浪江町幾世橋*0.8 白河市郭内*0.8 いわき市錦町*0.7 檜枝岐村上河原*0.7 大玉村南小屋*0.6 小野町中通*0.6 田村市船引町*0.6 福島広野町下北迫大谷地原*0.6 郡山市朝日*0.6 田村市常葉町*0.6 鮫川村赤坂中野*0.6 いわき市平四ツ波*0.5 葛尾村落合落合*0.5 川俣町五百田*0.5 2 東京千代田区大手町*2.4 東京品川区平塚*2.3 調布市西つつじヶ丘*2.3 小平市小川町*2.3 東京文京区大塚*2.2 東京中野区中野*2.2 東京杉並区高井戸*2.2 東京中央区勝どき*2.2 東京新宿区上落合*2.1 東京渋谷区本町*2.1 東京足立区伊興*2.1 町田市本町田*2.1 東大和市中央*2.1 東京国際空港*2.0 東京北区西ヶ原*2.0 東京荒川区東尾久*2.0 東京板橋区相生町*2.0 東京足立区神明南*2.0 日野市神明*2.0 東村山市本町*2.0 清瀬市中里*2.0 多摩市関戸*2.0 東京江東区越中島*2.0 東京中野区江古田*1.9 東京杉並区桃井*1.9 東京豊島区南池袋*1.9 東京板橋区高島平*1.9 東京江戸川区中央*1.9 東京中央区築地*1.9 東京港区海岸*1.9 東京港区白金*1.9 東京品川区北品川*1.9 東京大田区本羽田*1.9 東京大田区多摩川*1.9 町田市忠生*1.8 小金井市本町*1.8 東京文京区スポーツセンタ*1.8 東京文京区本郷*1.8 西東京市中町*1.8 狛江市和泉本町*1.8 東京江東区森下*1.8 稲城市東長沼*1.8 東京大田区大森東*1.8 東京世田谷区三軒茶屋*1.8 東京世田谷区中町*1.8 東京世田谷区成城*1.8 東京江戸川区鹿骨*1.8 東京江戸川区船堀*1.8 東京渋谷区宇田川町*1.7 東京千代田区富士見*1.7 東京新宿区百人町*1.7 東京練馬区光が丘*1.7 東京葛飾区立石*1.7 八王子市堀之内*1.7 八王子市石川町*1.7 町田市森野*1.7 東村山市美住町*1.7 東京北区神谷*1.6 東京練馬区東大泉*1.6 東京墨田区吾妻橋*1.6 東京江東区青海*1.6 東京足立区千住中居町*1.6 東京葛飾区金町*1.6 東京江東区枝川*1.6 東京品川区広町*1.6 八王子市大横町*1.6 東京目黒区中央町*1.6 三鷹市野崎*1.6 東京府中市戸町*1.6 東京中央区日本橋兜町*1.6 国分寺市戸倉*1.6 国分寺市本多*1.6 東京中野区中央*1.6 東京港区南青山*1.6 青梅市日向和田*1.6 東京世田谷区世田谷*1.5 調布市小島町*1.5 東京千代田区麹町*1.5 東京新宿区西新宿*1.5 東京荒川区荒川*1.5 東京板橋区板橋*1.5 東京台東区東上野*1.5 東京江東区亀戸*1.5 1 東京墨田区横川*1.4 東京墨田区東向島*1.4 東京江東区東陽*1.4 東京大田区蒲田*1.4 武蔵野市緑町*1.4 武蔵野市吉祥寺東町*1.4 東京府中市寿町*1.4 東京足立区中央本町*1.3 国立市富士見台*1.3 清瀬市中清戸*1.3 東久留米市本町*1.3 武蔵村山市本町*1.3 瑞穂町箱根ヶ崎*1.3 あきる野市伊奈*1.3 東京港区芝公園*1.3 東京台東区千束*1.3 青梅市東青梅*1.2 東京杉並区阿佐谷*1.2 立川市泉町*1.1 羽村市緑ヶ丘*1.0 檜原村本宿*1.0 昭島市田中町*0.9 福生市熊川*0.9 多摩市鶴牧*0.9 奥多摩町氷川*0.6 日の出町平井*0.5 2 南アルプス市寺部*1.6 1 笛吹市境川町藤袋*1.4 山梨北杜市長坂町*1.4 富士川町鯉沢*1.4 甲州市塩山上於曾*1.3 大月市御太刀*1.3 山梨北杜市高根町*1.1 甲州市役所*1.1 上野原市四方津*1.1 富士河口湖町船津*1.1 富士河口湖町長浜*1.1 甲斐市下今井*1.0 甲州市塩山下於曾*1.0 甲州市勝沼町勝沼*1.0 昭和町押越*0.9 大月市大月*0.9 甲府市飯田*0.8 道志村役場*0.8 山梨市牧丘町窪平*0.8 丹波山村丹波*0.8 笛吹市八代町南*0.8 小菅村小菅小学校*0.7 富士吉田市上吉田*0.6 山梨北杜市健康ランド須玉*0.5 甲州市大和町初鹿野*0.5 身延町大磯小磯*0.5 2 長野南牧村海ノ口*1.6 1 茅野市葛井公園*1.3 小海町豊里*1.1 佐久市中込*1.0 諏訪市高島*0.8 長野川上村大深山*0.8 栄村小赤沢*0.7 佐久穂町畑*0.7 諏訪市湖岸通り*0.6 佐久市下小田切*0.6 長野高森町下市田*0.6 軽井沢町追分*0.5 宮城県 1 岩沼市桜*0.8 新潟県 1 南魚沼市塩沢庁舎*0.6 南魚沼市六日町*0.5 南魚沼市塩沢小学校*0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*1.3 富士市吉永*1.1 伊豆市中伊豆グラウンド*1.0 御殿場市萩原*1.0 富士宮市野中*0.9 富士宮市弓沢町*0.8 熱海市泉*0.7 伊豆の国市長岡*0.7 富士市大淵*0.7 熱海市網代*0.5 58 9 11 54 三陸沖 岩手県 1 宮古市田老*0.8 盛岡市藪川*0.6 59 9 14 14 択捉島南東沖 北海道 2 根室市落石東*1.5 1 別海町常盤*1.2 標茶町塘路*1.1 標津町北2条*1.1 十勝大樹町生花*1.1 根室市瑛瑠瑠*0.8 別海町本別海*0.7 白糠町西1条*0.6 根室市牧の内*0.5 青森県 1 八戸市南郷*1.0 階上町道仏*0.8 東通村砂子又沢内*0.8 八戸市湊町*0.6 野辺地町野辺地*0.6				

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		八戸市内丸*0.5 岩手県 1 盛岡市藪川*0.8				
60	9 14 25	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5	36° 40.1' N	140° 53.2' E	51km	M: 3.2
61	9 14 26	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.8 銚子市川口町=0.5	35° 51.1' N	140° 56.6' E	37km	M: 3.4
62	9 14 48	日向灘 宮崎県 1 西都市上の宮*0.6 川南町川南*0.6 高原町西麓*0.5	32° 12.1' N	131° 45.4' E	38km	M: 2.9
63	10 02 34	胆振地方中東部 北海道 2 むかわ町穂別*1.6	42° 44.7' N	142° 08.3' E	9km	M: 2.2
64	10 06 24	奈良県 奈良県 1 桜井市初瀬=0.5	34° 19.3' N	135° 41.7' E	62km	M: 2.9
65	10 19 06	島根県西部 島根県 1 大田市大田町*0.8	35° 11.8' N	132° 34.0' E	10km	M: 2.8
66	10 19 50	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町芦北=1.9 芦北町田浦町*1.8 津奈木町小津奈木*1.7 1 上天草市姫戸町*1.2 水俣市牧ノ内*0.9 水俣市陣内*0.6	32° 20.7' N	130° 33.0' E	0km	M: 3.2
67	10 21 30	栃木県南部 茨城県 1 城里町小勝*0.8 桜川市羽田*0.5	36° 45.6' N	140° 14.1' E	87km	M: 2.9
68	11 03 19	遠州灘 長野県 2 売木村役場*1.8 根羽村役場*1.7 1 下條村陸沢*0.8 阿智村清内路*0.7 岐阜県 2 恵那市上矢作町*1.8 1 中津川市本町*0.8 恵那市明智町*0.5 恵那市山岡町*0.5 愛知県 2 新城市矢部=2.1 1 新城市東入船*1.2 新城市作手高里松風呂*1.0 新城市作手高里繩手上*1.0 豊田市大沼町*0.9 新城市乗本=0.8 設楽町田口*0.8 豊根村富山*0.8 豊田市小渡町*0.8 西尾市矢曾根町*0.8 豊田市足助町*0.7 豊田市稲武町*0.7 田原市赤羽根町*0.6 豊田市小原町*0.5 岡崎市檜山町*0.5 豊田市長興寺*0.5 静岡県 1 磐田市福田*1.2 湖西市新居町浜名*1.2 浜松南区江之島町*1.1 浜松中区元城町*1.1 袋井市浅名*1.0 浜松天竜区春野町*0.9 浜松東区流通元町*0.9 浜松中区三組町*0.9 浜松北区引佐町*0.9 静岡菊川市赤土*0.8 浜松浜北区西美菌*0.8 磐田市森岡*0.8 磐田市下野部*0.8 浜松北区細江町*0.8 掛川市西大淵*0.7 袋井市新屋=0.7 磐田市岡*0.7 浜松天竜区二俣町鹿島*0.7 湖西市吉美*0.7 浜松北区三ヶ日町=0.7 浜松中区高丘東=0.6 浜松天竜区龍山町*0.6 浜松西区雄踏*0.6 浜松天竜区佐久間町*0.6	34° 40.3' N	137° 33.8' E	30km	M: 3.7
69	11 03 43	遠州灘 長野県 1 売木村役場*1.0 愛知県 1 新城市矢部=0.8	34° 40.1' N	137° 34.3' E	30km	M: 3.0
70	11 11 07	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市消防署*0.5 高山市丹生川町坊方*0.5	36° 07.4' N	137° 18.6' E	8km	M: 2.5
71	11 12 47	長野県北部 長野県 1 須坂市須坂*0.9	36° 37.1' N	138° 22.1' E	1km	M: 2.7
72	11 22 11	宮城県沖 宮城県 2 気仙沼市笹が陣*1.6 1 気仙沼市赤岩=1.1 気仙沼市唐桑町*1.0 登米市東和町*0.9 南三陸町志津川=0.7 南三陸町歌津*0.7 石巻市北上町*0.7 石巻市桃生町*0.7 大崎市田尻*0.6 気仙沼市本吉町津谷*0.5 岩手県 1 大船渡市猪川町=1.4 一関市千厩町*1.3 大船渡市大船渡町=1.1 一関市室根町*1.0 一関市藤沢町*0.8 住田町世田米*0.8 陸前高田市高田町*0.8 釜石市中妻町*0.8 一関市東山町*0.5	38° 53.2' N	141° 58.2' E	49km	M: 3.8
73	12 08 15	茨城県南部 茨城県 1 城里町小勝*0.7 桜川市岩瀬*0.5 桜川市真壁*0.5 土浦市常名=0.5 茨城古河市下大野*0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.8 栃木市旭町=0.6	36° 00.8' N	140° 04.3' E	61km	M: 3.3
74	12 09 48	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂*0.9 宇和島市三間町*0.9 八幡浜市五反田*0.7 伊方町湊浦*0.6 西予市明浜町*0.6	33° 24.8' N	132° 12.8' E	53km	M: 3.4

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
75	12 10 15	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=1.3	32° 19.8' N	130° 30.7' E	0km	M: 2.3
76	12 18 32	青森県東方沖 北海道 2 函館市泊町*=1.6 1 函館市新浜町*=1.2 様似町栄町*=0.6 青森県 2 五戸町古館=1.7 八戸市南郷*=1.5 1 東通村砂子又沢内*=1.4 野辺地町野辺地*=1.3 五戸町倉石中市*=1.3 平内町東田沢*=1.2 階上町道仏*=1.2 野辺地町田狭沢*=1.2 青森南部町苦米地*=1.1 七戸町森ノ上*=1.1 八戸市内丸*=1.0 六戸町犬落瀬*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 むつ市金谷*=0.9 東北町上北南*=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.9 八戸市湊町=0.9 むつ市金曲=0.8 青森南部町沖田面*=0.8 むつ市川内町*=0.8 三戸町在府小路町*=0.8 横浜町林ノ脇*=0.7 七戸町七戸*=0.7 おいらせ町上明堂*=0.7 東通村砂子又蒲谷地=0.5 十和田市西二番町*=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川*=1.6 1 二戸市浄法寺町*=1.4 一戸町高善寺*=1.1 八幡平市田頭*=0.9 軽米町軽米*=0.9 盛岡市山王町=0.8 二戸市福岡=0.5	40° 52.9' N	143° 09.3' E	22km	M: 4.9
77	12 21 48	長野県北部 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栲尾*=1.0 高山市上宝町本郷*=0.9	36° 21.3' N	137° 38.0' E	1km	M: 2.7
78	13 03 05	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=1.0 浪江町幾世橋=0.7	37° 31.3' N	141° 22.7' E	51km	M: 3.4
79	13 10 42	青森県東方沖 北海道 2 函館市新浜町*=2.1 函館市泊町*=1.8 様似町栄町*=1.5 1 厚真町鹿沼=1.3 新冠町北星町*=1.2 浦河町潮見=1.2 千歳市若草*=1.1 新ひだか町静内山手町=1.0 安平町早来北進*=1.0 浦河町築地*=1.0 えりも町えりも岬*=1.0 函館市日ノ浜町*=1.0 新ひだか町三石旭町*=0.8 江別市緑町*=0.7 新千歳空港=0.7 札幌東区元町*=0.7 日高地方日高町門別*=0.7 千歳市支笏湖温泉*=0.7 むかわ町穂別*=0.6 函館市美原=0.6 千歳市北栄=0.6 広尾町並木通=0.5 青森県 2 五戸町古館=1.7 野辺地町野辺地*=1.6 野辺地町田狭沢*=1.5 七戸町森ノ上*=1.5 平内町小湊=1.5 1 東通村砂子又沢内*=1.4 階上町道仏*=1.3 八戸市南郷*=1.2 五戸町倉石中市*=1.2 むつ市金曲=1.1 青森南部町苦米地*=1.1 横浜町林ノ脇*=1.0 東北町上北南*=1.0 むつ市金谷*=1.0 むつ市川内町*=1.0 外ヶ浜町蟹田*=1.0 八戸市湊町=1.0 八戸市内丸*=1.0 三戸町在府小路町*=0.8 平内町東田沢*=0.8 東通村砂子又蒲谷地=0.8 東北町塔ノ沢山*=0.8 青森南部町沖田面*=0.7 おいらせ町中下田*=0.7 三沢市桜町*=0.6 青森市花園=0.5 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=1.2 盛岡市山王町=1.1 軽米町軽米*=1.1 盛岡市薮川*=1.0 八幡平市田頭*=1.0 岩手洋野町種市=0.6 二戸市福岡=0.5	41° 02.4' N	142° 47.1' E	31km	M: 4.9
80	13 23 03	岩手県沿岸北部 岩手県 1 遠野市青笹町*=0.7	39° 45.5' N	141° 51.1' E	58km	M: 3.3
81	14 07 33	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=1.2	36° 12.4' N	137° 39.7' E	4km	M: 3.0
82	14 09 14	大隅半島東方沖 宮崎県 1 串間市都井*=1.0 日南市油津=0.5 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=0.9	31° 21.4' N	131° 34.1' E	33km	M: 3.6
83	14 10 01	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=0.6	36° 12.4' N	137° 39.5' E	4km	M: 2.7
84	14 12 36	岩手県内陸南部 岩手県 2 奥州市衣川*=1.8 1 奥州市胆沢*=1.3 北上市相去町*=1.1 金ヶ崎町西根*=1.0 奥州市前沢*=0.9 一関市竹山町*=0.6 奥州市江刺*=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.5 平泉町平泉*=0.5 宮城県 1 栗原市栗駒=1.1 栗原市鶯沢*=0.5 秋田県 1 東成瀬村椿川*=1.0 湯沢市沖鶴=0.5	39° 03.4' N	140° 52.4' E	9km	M: 3.7
85	14 13 44	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=0.7	36° 12.7' N	137° 39.5' E	6km	M: 2.7
86	14 15 32	福島県沖 宮城県 1 柴田町船岡=0.7 山元町浅生原*=0.6 福島県 1 田村市都路町*=1.2 新地町谷地小屋*=1.1 相馬市中村*=1.0 南相馬市原町区高見町*=0.8 田村市船引町=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.7 川内村下川内=0.5	37° 45.1' N	141° 05.2' E	65km	M: 3.4
87	14 21 14	茨城県南部 茨城県 1 小美玉市上玉里*=0.7 小美玉市小川*=0.6 笠間市石井*=0.6 土浦市常名=0.6 取手市寺田*=0.6 石岡市若宮*=0.5	36° 02.6' N	140° 05.0' E	59km	M: 3.3
88	14 22 21	北海道東方沖 北海道 2 根室市牧の内*=1.9 浜中町茶内*=1.8 根室市落石東*=1.8 別海町常盤=1.7 中標津町丸山*=1.7	43° 47.3' N	147° 08.9' E	88km	M: 4.9

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		標津町北2条*=1.7 根室市瑤瑤瑠*=1.5 1 標茶町塘路*=1.4 羅臼町岬町*=1.4 別海町本別海*=1.4 根室市厚床*=1.4 根室市弥栄*=1.2 白糠町西1条*=1.0 羅臼町緑町*=0.9 斜里町本町*=0.7 鶴居村鶴居東*=0.7 釧路市幸町*=0.7 厚岸町真栄*=0.7 標津町古多糠=0.6 浜中町湯沸=0.6 標津町薫別*=0.5 標茶町川上*=0.5 斜里町ウトロ香川*=0.5 厚岸町尾幌=0.5 十勝大樹町生花*=0.5 弟子屈町弟子屈*=0.5				
89	15 05 48	茨城県沖 福島県 茨城県 栃木県 群馬県	36° 38.5' N	140° 44.6' E	90km	M: 3.8
		2 浅川町浅川*=1.6 1 矢祭町戸塚*=1.2 泉崎村泉崎*=1.2 田村市都路町*=1.0 大熊町大川原*=1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 檜葉町北田*=0.9 白河市新白河*=0.8 田村市船引町*=0.8 古殿町松川新桑原*=0.7 川内村下川内=0.7 小野町中通*=0.7 浪江町幾世橋=0.6 いわき市三和町=0.5 玉川村小高*=0.5 古殿町松川横川=0.5 2 笠間市石井*=1.5 城里町小勝*=1.5 1 日立市助川小学校*=1.3 東海村東海*=1.2 筑西市門井*=1.2 常陸大宮市上小瀬*=1.1 笠間市笠間*=1.0 常陸大宮市北町*=0.9 笠間市下郷*=0.9 土浦市常名=0.9 水戸市千波町*=0.9 桜川市羽田*=0.9 日立市役所*=0.8 高萩市安良川*=0.8 北茨城市磯原町*=0.8 石岡市柿岡=0.8 筑西市舟生=0.8 かすみがうら市上土田*=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 水戸市栗崎町*=0.8 鉾田市汲上*=0.8 水戸市金町=0.7 小美玉市小川*=0.7 高萩市本町*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 大子町池田*=0.6 石岡市若宮*=0.6 石岡市八郷*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.5 かすみがうら市大和田*=0.5 北茨城市中郷町*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 石岡市石岡*=0.5 城里町石塚*=0.5 1 茂木町茂木*=0.8 栃木那珂川町小川*=0.8 宇都宮市中里町*=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 鹿沼市今宮町*=0.6 那須烏山市中央=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5 1 沼田市利根町*=0.5 邑楽町中野*=0.5				
90	15 06 29	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 15.7' N	137° 36.9' E	4km	M: 2.5
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.6				
91	15 06 37	長野県中部 長野県 岐阜県	36° 15.1' N	137° 38.4' E	3km	M: 3.2
		1 松本市安曇*=1.2 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.7				
92	15 06 52	長野県中部 長野県	36° 15.1' N	137° 38.7' E	3km	M: 2.8
		1 松本市安曇*=0.8				
93	15 07 01	長野県中部 岐阜県 長野県	36° 15.2' N	137° 38.5' E	2km	M: 3.4
		2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=1.5 1 飛騨市神岡町殿=0.6 1 松本市安曇*=1.4 松本市奈川*=0.9 安曇野市堀金*=0.7 木曾町三岳*=0.7 木曾町開田高原西野*=0.6 松本市丸の内*=0.5				
94	15 07 02	長野県中部 岐阜県	36° 15.6' N	137° 38.6' E	3km	M: 2.9
		1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=0.5				
95	15 12 04	千葉県北西部 千葉県	35° 35.7' N	140° 06.2' E	66km	M: 3.3
		1 千葉花見川区花島町*=1.2 千葉中央区中央港=1.1 千葉緑区おゆみ野*=0.9 千葉稲毛区園生町*=0.7 千葉美浜区稲毛海岸*=0.7				
96	16 01 26	広島県南東部 広島県	34° 37.2' N	133° 22.9' E	19km	M: 2.8
		1 神石高原町油木*=0.7 庄原市西城町大佐*=0.6				
97	16 18 07	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 32.1' N	141° 43.0' E	53km	M: 3.6
		1 一関市室根町*=1.0 一関市東山町*=0.6 一関市千厩町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 一関市藤沢町*=0.5 1 涌谷町新町裏=0.9 南三陸町歌津*=0.7 石巻市桃生町*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.6 南三陸町志津川=0.6 気仙沼市赤岩=0.6				
98	17 00 00	秋田県内陸北部 秋田県	40° 26.2' N	140° 52.9' E	5km	M: 2.9
		1 小坂町小坂砂森*=0.5				
99	17 01 33	福島県沖 福島県 茨城県	37° 02.7' N	141° 21.4' E	29km	M: 4.3
		1 いわき市三和町=1.4 双葉町両竹*=1.4 田村市大越町*=1.3 檜葉町北田*=1.1 田村市滝根町*=1.0 川内村上川内早渡*=0.9 大熊町大川原*=0.9 富岡町本岡*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 白河市新白河*=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 いわき市錦町*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 川内村上川内小山平*=0.6 いわき市小名浜=0.6 郡山市湖南町*=0.6 浅川町浅川*=0.5 須賀川市八幡山*=0.5 大熊町野上*=0.5 田村市都路町*=0.5 いわき市平四ツ波*=0.5 1 日立市十王町友部*=1.0 大子町池田*=0.9 東海村東海*=0.8 日立市助川小学校*=0.7				
100	17 13 49	福島県沖 福島県	37° 33.8' N	141° 37.3' E	46km	M: 4.6
		3 檜葉町北田*=2.5 2 田村市大越町*=2.2 田村市都路町*=2.2 相馬市中村*=2.2 国見町藤田*=2.1 古殿町松川新桑原*=2.1 福島伊達市梁川町*=2.0 福島伊達市前川原*=2.0 浪江町幾世橋=2.0 桑折町東大隅*=1.9 福島伊達市保原町*=1.9 福島伊達市霊山町*=1.9 鏡石町不時沼*=1.9				



令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
101	17 14 54	川内村下川内=1.9 田村市滝根町*=1.9 いわき市三和町=1.8 福島市五老内町*=1.8 福島広野町下北迫大谷地原*=1.8 富岡町本岡*=1.8 福島市松木町=1.8 新地町谷地小屋*=1.8 棚倉町棚倉中居野=1.7 玉川村小高*=1.7 須賀川市八幡町*=1.7 小野町小野新町*=1.7 二本松市油井*=1.7 福島市桜木町*=1.7 大熊町大川原*=1.7 須賀川市八幡山*=1.7 泉崎村泉崎*=1.7 飯館村伊丹沢*=1.7 本宮市白岩*=1.6 川俣町五百田*=1.6 白河市表郷*=1.6 天栄村下松本*=1.6 双葉町両竹*=1.5 小野町中通*=1.5 浅川町浅川*=1.5 1 白河市新白河*=1.4 田村市常葉町*=1.4 本宮市本宮*=1.4 川内村上川内早渡*=1.4 南相馬市原町区高見町*=1.4 田村市船引町=1.3 いわき市平四ツ波*=1.3 いわき市平梅本*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.2 二本松市金色*=1.2 二本松市針道*=1.2 大玉村玉井*=1.2 福島伊達市月館町*=1.2 川内村上川内小山平*=1.2 福島市飯野町*=1.2 葛尾村落合落合*=1.2 南相馬市原町区三島町=1.2 南相馬市鹿島区栢塚=1.2 南相馬市鹿島区西町*=1.2 郡山市湖南町*=1.1 白河市東*=1.1 南相馬市原町区本町*=1.1 南相馬市小高区*=1.1 古殿町松川横川=1.0 白河市郭内=1.0 大熊町野上*=1.0 大玉村南小屋=1.0 郡山市朝日=0.9 福島広野町下北迫苗代替*=0.9 石川町長久保*=0.8 猪苗代町千代田*=0.8 矢祭町戸塚*=0.6 いわき市錦町*=0.5 岩手県 2 一関市室根町*=1.5 1 住田町世田米*=1.2 一関市藤沢町*=1.2 一関市千厩町*=1.1 一関市東山町*=0.9 一関市花泉町*=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 奥州市胆沢*=0.7 釜石市中妻町*=0.7 奥州市前沢*=0.7 一関市大東町=0.6 北上市相去町*=0.6 遠野市青笹町*=0.5 宮城県 2 石巻市桃生町*=2.1 宮城川崎町前川*=1.9 岩沼市桜*=1.8 山元町浅生原*=1.7 登米市中田町=1.6 角田市角田*=1.5 1 名取市増田*=1.4 七ヶ宿町関*=1.4 柴田町船岡=1.4 亙理町悠里*=1.4 東松島市小野*=1.3 東松島市矢本*=1.3 登米市迫町*=1.3 大崎市田尻*=1.3 白石市亙理町*=1.3 仙台空港=1.3 石巻市大街道南*=1.3 石巻市北上町*=1.2 丸森町上滝=1.2 丸森町鳥屋*=1.2 蔵王町円田*=1.2 登米市石越町*=1.1 大河原町新南*=1.1 大崎市松山*=1.1 大崎市鹿島台*=1.1 涌谷町新町裏=1.1 登米市豊里町*=1.1 仙台青葉区作並*=1.1 登米市米山町*=1.1 登米市南方町*=1.1 大衡村大衡*=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 南三陸町志津川=1.0 大崎市古川大崎=1.0 大崎市古川旭*=1.0 仙台若林区遠見塚*=1.0 気仙沼市笹が陣*=1.0 栗原市築館*=1.0 村田町村田*=1.0 栗原市瀬峰*=1.0 松島町高城=1.0 七ヶ浜町東宮浜*=1.0 仙台宮城野区五輪=0.9 栗原市一迫*=0.9 仙台太白区山田*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 登米市東和町*=0.9 色麻町四竈*=0.9 栗原市若柳*=0.9 栗原市志波姫*=0.8 栗原市金成*=0.8 気仙沼市赤岩=0.8 石巻市前谷地*=0.8 大崎市古川三日町=0.8 栗原市栗駒=0.8 宮城加美町中新田*=0.8 利府町利府*=0.8 仙台区将監*=0.7 石巻市泉町=0.7 栗原市高清水*=0.7 女川町女川浜*=0.7 仙台青葉区雨宮*=0.7 登米市登米町*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 石巻市相野谷*=0.6 南三陸町歌津*=0.5 山形県 1 上山市河崎*=1.3 米沢市林泉寺*=1.3 高島町高島*=1.1 米沢市アルカディア=1.0 南陽市三間通*=0.8 白鷹町荒砥*=0.8 河北町谷地=0.5 山形川西町上小松*=0.5 茨城県 1 大子町池田*=0.8 笠間市石井*=0.7 日立市助川小学校*=0.5 城里町小勝*=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=1.0 大田原市黒羽田町=0.5	32° 45.8' N 130° 44.5' E 10km M: 3.9			
		熊本県熊本地方 熊本県 3 熊本西区春日=2.9 熊本東区佐土原*=2.6 和水町江田*=2.6 西原村小森*=2.5 熊本北区植木町*=2.5 2 益城町惣領*=2.3 熊本中央区大江*=2.3 合志市竹迫*=2.2 合志市御代志*=2.2 玉東町木葉*=2.2 菊陽町久保田*=2.0 御船町御船*=2.0 山鹿市老人福祉センター*=2.0 大津町引水*=1.9 山鹿市山鹿*=1.9 山鹿市鹿央町*=1.9 嘉島町上島*=1.9 山鹿市鹿北町*=1.8 玉名市横島町*=1.8 宇城市豊野町*=1.8 熊本南区城南町*=1.8 山鹿市鹿本町*=1.7 熊本南区富合町*=1.7 菊池市泗水町*=1.6 宇城市松橋町=1.6 南阿蘇村河陽*=1.6 菊池市七城町*=1.5 1 玉名市中尾*=1.4 玉名市天水町*=1.4 山鹿市菊鹿町*=1.4 菊池市隈府*=1.4 上天草市大矢野町=1.4 南阿蘇村河陰*=1.3 宇土市浦田町*=1.3 玉名市岱明町*=1.2 南関町関町*=1.2 熊本美里町馬場*=1.2 宇城市不知火町*=1.2 和水町板桶*=1.1 天草市五和町*=1.1 南阿蘇村中松=1.0 熊本美里町永富*=1.0 熊本高森町高森*=1.0 上天草市松島町*=1.0 阿蘇市内牧*=1.0 玉名市築地=0.9 宇城市三角町*=0.9 甲佐町豊内*=0.8 山都町浜町*=0.6 荒尾市宮内出目*=0.5 福岡県 2 みやま市高田町*=1.7 八女市矢部村*=1.6 1 八女市黒木町今*=1.3 大牟田市昭和町*=1.3 八女市黒木町北木屋=1.1 八女市立花町*=1.0 八女市吉田*=1.0 柳川市三橋町*=1.0 みやこ町犀川本庄*=0.9 八女市上陽町*=0.9 筑前町下高場=0.9 筑前町新町*=0.9 みやま市瀬高町*=0.8 大刀洗町富多*=0.8 福岡広川町新代*=0.8 朝倉市堤*=0.8 飯塚市長尾*=0.7 飯塚市立岩*=0.7 筑後市山ノ井*=0.7 朝倉市菩提寺*=0.7 小郡市小郡*=0.7 みやま市山川町*=0.7 久留米市三潁町*=0.7 大木町八町牟田*=0.7 柳川市大和町*=0.7 太宰府市観世音寺*=0.6 行橋市今井*=0.6 八女市本町*=0.6 大牟田市笹林=0.6 福岡空港=0.6 大牟田市有明町*=0.6 東峰村宝珠山*=0.5 赤村内田*=0.5 久留米市津福本町=0.5 朝倉市宮野*=0.5 佐賀県 1 佐賀市三瀬*=0.7 佐賀市川副*=0.7 上峰町坊所*=0.7 嬉野市下宿乙*=0.7 唐津市相知*=0.6 佐賀市駅前中央=0.6 佐賀市栄町*=0.6 小城市芦刈*=0.5 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=1.3 島原市有明町*=1.2 南島原市加津佐町*=1.0 諫早市多良見町*=0.9 雲仙市国見町=0.9 南島原市北有馬町*=0.9 南島原市布津町*=0.9 南島原市西有家町*=0.8 雲仙市雲仙出張所*=0.7 南島原市口之津町*=0.7 大分県 1 九重町後野上*=0.8 日田市田島*=0.7 宮崎県 1 高千穂町三田井=0.7 椎葉村下福良*=0.5 鹿児島県 1 長島町獅子島*=0.9				
		102	17 15 10	択捉島付近 北海道 2 根室市落石東*=1.9 1 別海町常盤=1.3 標津町北2条*=1.2 浜中町茶内*=1.1 根室市厚床*=1.1 根室市牧の内*=1.0	44° 26.2' N 147° 39.5' E 146km M: 4.9	

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		根室市瑤瑤瑠* =1.0 標茶町塘路* =0.9 別海町本別海* =0.8 十勝大樹町生花* =0.6 厚岸町尾幌* =0.5				
103	17 16 45	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 45.7' N	130° 44.4' E	10km	M: 2.2
104	17 19 24	播磨灘 兵庫県 1 洲本市五色町都志* =0.6 香川県 1 小豆島町馬木* =1.0	34° 30.0' N	134° 37.3' E	15km	M: 3.0
105	18 00 49	新潟県上越地方 新潟県 1 上越市中郷区藤沢* =0.6 妙高市田町* =0.5	36° 58.6' N	138° 13.5' E	4km	M: 1.9
106	18 00 57	相模湾 東京都 1 調布市西つつじヶ丘* =0.6 東京千代田区大手町=0.5 東京渋谷区宇田川町* =0.5 東京中野区中野* =0.5 東京練馬区東大泉* =0.5 神奈川県 1 横浜青葉区市ヶ尾町* =1.0 横浜港南区丸山台東部* =0.9 横浜緑区十日市場町* =0.7 横浜磯子区磯子* =0.7 相模原中央区上溝* =0.7 横浜保土ヶ谷区上菅田町* =0.6 横浜青葉区美しが丘* =0.6	35° 10.2' N	139° 27.3' E	119km	M: 3.5
107	18 07 38	長野県中部 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栢尾* =0.9	36° 14.9' N	137° 38.6' E	4km	M: 2.8
108	18 07 38	長野県中部 長野県 1 松本市安曇* =1.1	36° 15.1' N	137° 38.7' E	3km	M: 2.9
109	18 10 36	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校* =0.7	36° 27.1' N	141° 08.4' E	45km	M: 3.5
110	18 13 30	茨城県沖 茨城県 1 水戸市千波町* =0.7 日立市助川小学校* =0.7 ひたちなか市南神敷台* =0.6	36° 21.2' N	141° 03.0' E	41km	M: 3.5
111	18 16 06	宮城県沖 岩手県 1 住田町世田米* =0.7 一関市東山町* =0.6 一関市室根町* =0.6 一関市千厩町* =0.5	38° 19.8' N	141° 38.0' E	63km	M: 3.5
112	19 03 03	和歌山県南方沖 和歌山県 1 白浜町消防本部=0.7	33° 30.8' N	135° 04.9' E	25km	M: 3.4
113	19 09 28	日向灘 宮崎県 1 川南町川南* =0.7	31° 54.0' N	131° 58.0' E	26km	M: 3.9
114	19 11 55	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 白川村鳩谷* =1.2 高山市荘川町* =1.0 飛騨市河合町元田* =0.9	36° 09.9' N	136° 52.9' E	7km	M: 3.1
115	19 21 01	茨城県沖 茨城県 2 鉦田市汲上* =1.7 1 水戸市千波町* =1.3 日立市助川小学校* =1.3 高萩市安良川* =1.3 茨城鹿嶋市宮中* =1.2 東海村東海* =1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.0 ひたちなか市南神敷台* =0.9 城里町小勝* =0.9 土浦市常名=0.9 水戸市金町=0.9 高萩市本町* =0.8 北茨城市磯原町* =0.8 北茨城市中郷町* =0.8 笠間市石井* =0.8 常陸大宮市野口* =0.7 水戸市栗崎町* =0.7 常陸大宮市上小瀬* =0.6 日立市役所* =0.6 石岡市柿岡=0.6 潮来市堀之内=0.6 大子町池田* =0.6 常陸大宮市北町* =0.5 小美玉市小川* =0.5 笠間市笠間* =0.5 かすみがうら市上土田* =0.5 行方市麻生* =0.5 鉦田市鉦田=0.5 日立市十王町友部* =0.5 福島県 1 泉崎村泉崎* =1.0 白河市新白河* =0.9 玉川村小高* =0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 郡山市開成* =0.8 郡山市湖南町* =0.7 いわき市小名浜=0.6 浪江町幾世橋=0.6 天栄村下松本* =0.6 須賀川市八幡山* =0.6 郡山市朝日=0.5 いわき市錦町* =0.5 檜葉町北田* =0.5 矢祭町戸塚* =0.5 川俣町五百田* =0.5 浅川町浅川* =0.5 田村市船引町=0.5 田村市都路町* =0.5 千葉県 1 香取市役所* =0.8 香取市仁良* =0.6	36° 18.6' N	141° 04.6' E	48km	M: 4.3
116	20 06 02	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=0.6	32° 19.5' N	130° 30.1' E	1km	M: 1.6
117	20 07 24	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内* =1.1 水俣市牧ノ内* =0.5	32° 13.2' N	130° 21.9' E	4km	M: 1.7
118	20 14 25	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市伊良部前里添=1.9 宮古島市下地* =1.8 宮古島市城辺福西* =1.6 宮古島市城辺福北=1.6 宮古島市上野支所* =1.5 1 宮古島市平良狩俣* =1.2 宮古島市上野新里=1.1 宮古島市平良池間=1.1 宮古島市平良西里* =1.1 宮古島市平良下里=1.0 多良間村仲筋* =0.9 多良間村塩川=0.8 石垣市平久保=0.8 石垣市新栄町* =0.7	24° 18.8' N	125° 15.5' E	43km	M: 5.0
119	20 15 17	網走地方 北海道 1 美幌町東3条=0.5 津別町幸町* =0.5	43° 45.2' N	143° 59.7' E	8km	M: 2.5

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
120	20 19 32	茨城県南部 茨城県 2 つくば市小釜*=1.5 1 土浦市常名=1.4 筑西市門井*=1.4 筑西市舟生=1.3 城里町小勝*=1.1 茨城古河市仁連*=1.1 取手市寺田*=1.1 桜川市真壁*=1.0 石岡市若宮*=1.0 笠間市下郷*=1.0 茨城古河市下大野*=0.9 つくばみらい市福田*=0.9 土浦市藤沢*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.8 小美玉市上玉里*=0.8 石岡市石岡*=0.8 石岡市柿岡=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 笠間市石井*=0.7 龍ヶ崎市役所*=0.7 下妻市本城町*=0.7 小美玉市小川*=0.7 笠間市笠間*=0.7 桜川市羽田*=0.6 坂東市岩井=0.6 坂東市山*=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 下妻市鬼怒*=0.6 土浦市田中*=0.6 牛久市中央*=0.6 つくば市天王台*=0.6 つくば市研究学園*=0.5 守谷市大柏*=0.5 石岡市八郷*=0.5 常総市新石下*=0.5 筑西市海老ヶ島*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 かすみがうら市大和田*=0.5 栃木県 1 栃木市旭町=1.4 真岡市田町*=0.7 茂木町茂木*=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 益子町益子=0.6 真岡市荒町*=0.5 下野市笹原*=0.5 栃木市大平町富田*=0.5 栃木市岩舟町静*=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=0.7 板倉町板倉=0.6 沼田市利根町*=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁*=0.9 春日部市金崎*=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*=1.1 八千代市大和田新田*=0.8 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6	35° 59.1' N 140° 04.7' E	61km	M: 3.8	
121	21 16 14	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.7 八代市新地町*=0.6	32° 30.8' N 130° 35.3' E	9km	M: 2.4	
122	21 17 54	種子島南東沖 鹿児島県 1 南種子町西之*=0.7	30° 01.8' N 131° 16.9' E	23km	M: 4.6	
123	21 18 58	長野県中部 長野県 2 松本市安曇*=1.6 1 長野市中条*=1.1 松本市奈川*=0.9 山形村役場*=0.9 木曾町新開*=0.9 木曾町開田高原西野*=0.9 下諏訪町役場*=0.8 朝日村役場*=0.8 木曾町三岳*=0.7 大町市美麻*=0.7 松川村役場*=0.7 根羽村役場*=0.6 長野市信州新町新町*=0.6 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷柘尾*=0.9 高山市高根町*=0.9	36° 14.0' N 137° 38.4' E	3km	M: 3.5	
124	21 20 58	長野県中部 岐阜県 2 高山市奥飛騨温泉郷柘尾*=1.6 1 高山市上宝町本郷*=0.9 飛騨市神岡町東町*=0.7 長野県 1 松本市奈川*=0.8 松本市安曇*=0.7 木曾町開田高原西野*=0.6	36° 14.3' N 137° 38.5' E	2km	M: 3.3	
125	21 22 46	豊後水道 愛媛県 2 宇和島市丸穂*=1.5 西予市三瓶町*=1.5 1 宇和島市三間町*=1.2 松野町松丸*=1.1 大洲市肱川町*=1.0 西予市明浜町*=0.9 愛媛鬼北町近永*=0.8 伊方町湊浦*=0.7 宇和島市津島町*=0.6 宇和島市吉田町*=0.6 宇和島市住吉町=0.6 大洲市長浜*=0.5 八幡浜市五反田*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.9	33° 13.0' N 132° 18.3' E	40km	M: 3.4	
126	22 03 07	新潟県中越地方 新潟県 1 魚沼市今泉*=1.0	37° 17.5' N 138° 57.6' E	9km	M: 2.4	
127	22 07 12	紀伊水道 和歌山県 1 海南市下津*=0.7 有田市初島町*=0.7	34° 07.9' N 135° 02.5' E	10km	M: 2.3	
128	22 12 40	伊予灘 大分県 1 別府市上野口町*=1.1 由布市庄内町*=0.9 別府市鶴見=0.8 別府市天間=0.7 杵築市南杵築*=0.5	33° 19.3' N 131° 31.2' E	9km	M: 2.8	
129	22 13 07	茨城県南部 茨城県 1 鉦田市鉦田=1.0 稲敷市江戸崎甲*=0.9 美浦村受領*=0.7 鉦田市造谷*=0.7 小美玉市上玉里*=0.6 かすみがうら市大和田*=0.6 取手市寺田*=0.6 小美玉市小川*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 土浦市常名=0.5 笠間市下郷*=0.5 稲敷市伊佐津*=0.5 千葉県 1 八千代市大和田新田*=0.6 香取市役所*=0.5 成田市中台*=0.5	35° 53.9' N 140° 20.4' E	38km	M: 3.1	
130	22 14 49	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=0.7	38° 08.6' N 141° 45.6' E	53km	M: 3.5	
131	23 22 40	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 水俣市陣内*=2.2 水俣市牧ノ内*=2.1 鹿児島県 1 長島町鷹巣*=0.9 長島町伊唐島*=0.9	32° 13.3' N 130° 22.0' E	3km	M: 2.9	
132	24 18 39	兵庫県南東部 兵庫県 2 加古川市志方町*=1.7 1 加古川市加古川町=1.3 加東市河高*=1.2 三木市細川町=1.1 多可町八千代区*=1.0 加西市下方願寺町=1.0 市川町西川辺*=1.0 姫路市白浜*=0.9 姫路市豊富*=0.9 宍粟市山崎町船元*=0.9 姫路市香寺町中屋*=0.7 兵庫神戸町寺前*=0.7 多可町中区*=0.6 高砂市荒井町*=0.6 姫路市安田*=0.5 姫路市本町*=0.5	34° 53.9' N 134° 49.9' E	14km	M: 3.4	

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
133	24 19 35	岩手県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.2 釜石市只越町=0.9 住田町世田米*=0.9 大船渡市大船渡町=0.8	39° 20.4' N	142° 04.5' E	48km	M: 3.5
134	24 21 38	新潟県中越地方 新潟県 2 出雲崎町米田=2.2 出雲崎町川西*=1.5 刈羽村割町新田*=1.5 1 柏崎市西山町池浦*=1.4 長岡市与板町与板*=1.3 長岡市浦*=1.2 小千谷市旭町*=1.2 長岡市小国町法坂*=1.1 長岡市山古志竹沢*=1.0 柏崎市高柳町岡野町*=1.0 上越市安塚区安塚*=1.0 小千谷市内=0.9 上越市吉川区原之町*=0.9 長岡市上岩井*=0.8 長岡市千手*=0.8 魚沼市須原*=0.7 長岡市幸町=0.6 長岡市小島谷*=0.6 魚沼市今泉*=0.6 上越市大島区岡*=0.6 魚沼市堀之内*=0.5 十日町市下条*=0.5	37° 20.9' N	138° 35.6' E	25km	M: 3.5
135	25 04 51	山梨県中・西部 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.1	35° 41.1' N	138° 48.6' E	163km	M: 4.0
136	25 09 17	宮城県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.0 釜石市只越町=0.9 住田町世田米*=0.9 一関市室根町*=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 一関市千厩町*=0.8 大船渡市猪川町=0.7 一関市藤沢町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.5 一関市大東町=0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.3 東松島市矢本*=1.2 南三陸町志津川=1.0 石巻市前谷地*=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 石巻市大街道南*=0.9 大崎市古川三日町=0.8 石巻市泉町=0.8 南三陸町歌津*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.7 石巻市北上町*=0.7 栗原市栗駒=0.6 大崎市古川大崎=0.6	38° 24.6' N	142° 07.2' E	36km	M: 4.1
137	25 18 05	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=1.2 芦北町田浦町*=0.9	32° 20.8' N	130° 32.8' E	0km	M: 3.0
138	25 19 39	福島県会津 福島県 3 喜多方市御清水*=3.3 北塩原村北山*=2.9 2 喜多方市松山町*=2.4 西会津町登世島*=2.2 磐梯町磐梯*=2.2 喜多方市山都町*=2.1 喜多方市熱塩加納町*=2.1 喜多方市高郷町*=2.1 西会津町野沢=2.0 喜多方市塩川町*=2.0 猪苗代町千代田*=1.8 郡山市湖南町*=1.7 白河市新白河*=1.7 湯川村清水田*=1.6 猪苗代町城南=1.6 会津坂下町市中三番甲*=1.6 柳津町柳津*=1.5 1 下郷町高崎*=1.3 会津美里町新鶴庁舎*=1.2 会津若松市東栄町*=1.2 下郷町塩生*=1.2 会津若松市河東町*=1.1 会津若松市材木町=1.1 福島金山町川口*=1.0 会津美里町本郷庁舎*=1.0 白河市郭内=1.0 大玉村玉井*=1.0 天栄村湯本支所*=1.0 三島町宮下*=1.0 会津若松市北会津町*=0.7 南会津町界*=0.6 郡山市開成*=0.6 郡山市朝日=0.6 本宮市本宮*=0.6 南会津町田島=0.6 大玉村南小屋=0.5 山形県 2 米沢市林泉寺*=1.5 1 山形川西町上小松*=1.4 飯豊町上原*=1.4 米沢市アルカディア=1.3 米沢市駅前=1.1 米沢市金池*=1.1 白鷹町荒砥*=1.0 南陽市三間通*=0.8 山形小国町小国小坂町*=0.7 山辺町緑ヶ丘*=0.6 長井市ままの上*=0.5 山形小国町岩井沢=0.5 上山市河崎*=0.5 高島町高島*=0.5 新潟県 2 阿賀町豊川*=2.1 阿賀町鹿瀬中学校*=1.7 1 阿賀町鹿瀬支所*=1.4 阿賀町津川*=1.4 上越市安塚区安塚*=1.2 弥彦村矢作*=1.1 新潟秋葉区新津東町*=0.9 長岡市上岩井*=0.8 刈羽村割町新田*=0.8 上越市牧区柳島*=0.8 出雲崎町米田=0.6 宮城県 1 岩沼市桜*=1.0 蔵王町円田*=0.8 名取市増田*=0.6 茨城県 1 笠間市石井*=1.0 日立市助川小学校*=0.8 栃木県 1 益子町益子=1.1 那須烏山市中央=1.0 市貝町市塙*=0.9	37° 42.0' N	140° 00.2' E	7km	M: 4.2
139	26 13 45	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市小川町*=1.8 1 八代市東陽町*=1.2 八代市泉支所*=1.2 宇城市豊野町*=1.2 宇城市不知火町*=1.1 八代市千丁町*=1.1 氷川町島地*=1.0 八代市泉町=0.9 宇土市浦田町*=0.8 氷川町宮原*=0.8 熊本西区春日=0.8 八代市鏡町*=0.7 宇城市松橋町=0.6 八代市平山新町=0.5	32° 31.9' N	130° 42.0' E	7km	M: 3.1
140	26 13 56	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木*=0.5	34° 02.8' N	135° 18.6' E	7km	M: 2.4
141	26 20 07	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=1.1	36° 12.0' N	137° 40.1' E	3km	M: 2.6
142	26 21 52	与那国島近海 沖縄県 2 与那国町役場*=2.3 与那国町久部良=2.2 与那国町祖納=1.9 1 竹富町船浮=1.3 石垣市新栄町*=1.0 竹富町大原=0.8 石垣市登野城=0.8 竹富町黒島=0.7 石垣市平久保=0.7 竹富町上原*=0.7 竹富町波照間=0.6	24° 10.1' N	122° 24.1' E	51km	M: 5.5
143	27 01 32	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏*=1.8 1 青森南部町苦米地*=0.9 八戸市内丸*=0.9 八戸市湊町=0.8 八戸市南郷*=0.7 三戸町在府小路町*=0.5 おいらせ町中下田*=0.5 岩手県 2 九戸村伊保内*=1.5 1 軽米町軽米*=1.1 久慈市枝成沢=0.8 岩手洋野町種市=0.8 岩手洋野町大野*=0.8 久慈市川崎町=0.7 野田村野田*=0.6 葛巻町葛巻元木=0.5 八幡平市田頭*=0.5	40° 21.1' N	142° 04.1' E	50km	M: 3.8

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
144	27 10 22	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=0.9 浦河町潮見=0.7	42° 04.9' N	142° 38.3' E	38km	M: 3.4
145	27 16 56	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.6 1 一関市室根町*=1.4 住田町世田米*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 一関市東山町*=0.8 一関市花泉町*=0.6 一関市大東町=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 宮城県 2 石巻市北上町*=1.7 登米市豊里町*=1.6 1 気仙沼市笹が陣*=1.4 石巻市桃生町*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.1 南三陸町志津川=1.1 南三陸町歌津*=1.1 石巻市鮎川浜*=1.1 石巻市雄勝町*=1.1 石巻市大街道南*=1.0 涌谷町新町裏=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 登米市中田町=0.8 東松島市小野*=0.8 石巻市泉町=0.7 栗原市栗駒=0.7 登米市東和町*=0.7 宮城川崎町前川*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.6 東松島市矢本*=0.6 女川町女川浜*=0.6 岩沼市桜*=0.5	38° 18.8' N	141° 54.6' E	45km	M: 3.8
146	27 22 49	日向灘 宮崎県 1 延岡市北浦町古江*=0.8 日向市大王谷運動公園=0.8 宮崎都農町役場*=0.8 西都市上の宮*=0.7 川南町川南*=0.7 延岡市北川町川内名白石*=0.7 門川町本町*=0.7 延岡市天神小路=0.6	32° 21.6' N	131° 52.7' E	17km	M: 3.4
147	28 05 43	胆振地方中東部 北海道 1 安平町追分柏が丘*=0.5	42° 36.2' N	141° 57.8' E	39km	M: 2.8
148	28 13 22	秋田県内陸南部 岩手県 2 一関市室根町*=1.7 住田町世田米*=1.5 1 一関市千厩町*=1.4 釜石市中妻町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.1 山田町大沢*=0.9 一関市大東町=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 大船渡市猪川町=0.8 遠野市青笹町*=0.8 盛岡市藪川*=0.7 一関市藤沢町*=0.7 宮古市区界*=0.6 宮古市五月町*=0.6 宮古市鉾ヶ崎=0.5 釜石市越町=0.5 宮古市田老*=0.5 山田町八幡町=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.1 気仙沼市赤岩=0.9 登米市豊里町*=0.9 石巻市北上町*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.8 登米市中田町=0.8 南三陸町志津川=0.7 石巻市桃生町*=0.7 登米市東和町*=0.7 気仙沼市本吉町津谷*=0.6 南三陸町歌津*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.6 登米市石越町*=0.5 色麻町四竈*=0.5 秋田県 1 横手市大雄*=0.8 大仙市高梨*=0.5	39° 16.8' N	140° 37.1' E	147km	M: 4.2
149	28 18 41	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=0.7	36° 14.1' N	137° 38.8' E	3km	M: 2.7
150	28 19 46	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=1.2 一関市大東町=1.1 一関市千厩町*=1.1 一関市室根町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 大船渡市猪川町=1.1 花巻市大迫町=0.9 陸前高田市高田町*=0.8 釜石市中妻町*=0.8 遠野市青笹町*=0.7 北上市相去町*=0.5 住田町世田米*=0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.0 南三陸町志津川=1.0 登米市東和町*=0.9 石巻市桃生町*=0.6	38° 55.0' N	141° 56.0' E	51km	M: 3.9
151	29 02 57	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津*=0.5	34° 10.0' N	135° 11.6' E	4km	M: 1.7
152	29 03 00	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津*=0.6	34° 09.9' N	135° 11.6' E	4km	M: 1.8
153	29 05 16	宮崎県北部山沿い 宮崎県 2 延岡市北川町川内名白石*=1.6 1 高千穂町三田井=1.2 日之影町岩井川*=1.2 延岡市北方町卯*=1.1 延岡市北浦町古江*=0.9 宮崎美郷町田代*=0.9 延岡市天神小路=0.8 宮崎都農町役場*=0.8 高千穂町寺迫*=0.7 西都市上の宮*=0.6 延岡市北川町総合支所*=0.6 門川町本町*=0.6 川南町川南*=0.5 延岡市北方町未=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=0.5 熊本県 1 熊本高森町高森*=0.9 大分県 1 豊後大野市清川町*=1.2 佐伯市本匠*=0.9 豊後大野市犬飼町犬飼*=0.8 由布市庄内町*=0.7 竹田市直入小学校*=0.6 国東市田深*=0.5	32° 46.7' N	131° 24.1' E	96km	M: 3.8
154	29 05 33	茨城県沖 茨城県 3 茨城鹿嶋市宮中*=3.1 茨城鹿嶋市鉢形=3.0 笠間市石井*=2.7 潮来市辻*=2.7 神栖市溝口*=2.7 鉾田市汲上*=2.7 水戸市栗崎町*=2.5 2 稲敷市江戸崎甲*=2.4 鉾田市鉾田=2.4 鉾田市造谷*=2.4 ひたちなか市南神敷台*=2.3 行方市山田*=2.2 土浦市常名=2.2 日立市助川小学校*=2.2 水戸市千波町*=2.1 稲敷市伊佐津*=2.1 稲敷市須賀津*=2.1 水戸市金町=2.1 石岡市柿岡=2.1 潮来市堀之内=2.1 行方市麻生*=2.0 桜川市岩瀬*=2.0 桜川市羽田*=2.0 土浦市藤沢*=2.0 美浦村受領*=2.0 小美玉市上玉里*=2.0 笠間市笠間*=1.9 小美玉市小川*=1.9 河内町源清田*=1.9 神栖市波崎*=1.9 笠間市中央*=1.8 小美玉市堅倉*=1.8 筑西市門井*=1.8 かすみがうら市大和田*=1.8 東海村東海*=1.8 石岡市石岡*=1.8 取手市井野*=1.7 つくば市小茎*=1.7 茨城町小堤*=1.7 笠間市下郷*=1.7 城里町小勝*=1.7 常陸太田市金井町*=1.7 日立市役所*=1.7 ひたちなか市東石川*=1.6 石岡市若宮*=1.6 那珂市福田*=1.6 結城市結城*=1.6 行方市玉造*=1.6 龍ヶ崎市役所*=1.6	35° 55.9' N	140° 49.1' E	20km	M: 4.5



令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		稲敷市役所*1.6 桜川市真壁*1.6 城里町石塚*1.6 稲敷市結佐*1.6 つくば市研究学園*1.6 つくば市天王台*1.5 取手市寺田*1.5 土浦市田中*1.5 かすみがうら市上土田*1.5 1 常陸大宮市北町*1.4 石岡市八郷*1.4 筑西市舟生*1.4 筑西市下中山*1.4 つくばみらい市加藤*1.3 常陸太田市町屋*1.3 下妻市本城代*1.3 取手市藤代*1.3 牛久市中央*1.3 阿見町中央*1.3 ひたちなか市山ノ上町*1.3 日立市十王町友部*1.3 筑西市海老ヶ島*1.3 常総市新石下*1.3 大洗町磯浜町*1.2 常陸大宮市山方*1.2 常陸大宮市上小瀬*1.2 常総市水海道諏訪町*1.2 常陸大宮市野口*1.2 境町旭町*1.2 坂東市山*1.1 つくばみらい市福田*1.1 茨城古河市仁連*1.1 下妻市鬼怒*1.1 那珂市瓜連*1.1 坂東市岩井*1.1 坂東市馬立*1.1 常陸太田市高柿町*1.0 高萩市安良川*1.0 城里町阿波山*1.0 守谷市大柏*1.0 八千代町菅谷*0.9 北茨城市中郷町*0.9 大子町池田*0.9 常陸大宮市中富町*0.9 利根町布川*0.8 常陸太田市町田町*0.7 高萩市本町*0.6 坂東市役所*0.6 2 小山市神鳥谷*1.5 下野市笹原*1.5 1 宇都宮市明保野町*1.3 栃木市大平町富田*1.3 益子町益子*1.3 那須烏山市中央*1.3 下野市田中*1.3 栃木市岩舟町静*1.2 市貝町市塙*1.2 真岡市荒町*1.1 野木町丸林*1.0 佐野市葛生東*1.0 真岡市田町*1.0 芳賀町祖母井*0.9 栃木市旭町*0.9 茂木町茂木*0.8 小山市中央町*0.7 上三川町しらすぎ*0.7 佐野市高砂町*0.6 栃木那珂川町馬頭*0.6 下野市大松山*0.6 千葉県 2 八街市八街*2.4 山武市埴谷*2.3 千葉佐倉市海隣寺町*2.3 旭市南堀之内*2.2 芝山町小池*2.2 千葉若葉区小倉台*2.2 東金市日吉台*2.1 成田市役所*2.1 香取市仁良*2.0 東金市東新宿*2.0 八千代市大和田新田*2.0 野田市鶴奉*1.9 成田市中台*1.9 習志野市鷺沼*1.9 千葉花見川区花島町*1.9 印西市笠神*1.9 白井市復*1.9 富里市七栄*1.9 船橋市湊町*1.8 東金市東岩崎*1.8 成田国際空港*1.8 多古町多古*1.8 成田市松子*1.8 香取市佐原平田*1.8 市原市姉崎*1.8 香取市役所*1.8 香取市羽根川*1.8 印西市大森*1.8 九十九里町片貝*1.7 千葉美浜区ひび野*1.7 銚子市小畑新町*1.6 香取市佐原諏訪台*1.6 山武市松尾町富士見台*1.6 銚子市川口野*1.6 山武市殿台*1.6 印西市美瀬*1.6 千葉中央区中央港*1.6 栄町安食台*1.6 千葉中央区千葉市役所*1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.5 山武市松尾町五反田*1.5 酒々井町中央台*1.5 銚子市若宮町*1.5 1 神崎町神崎本宿*1.4 香取市岩部*1.4 松戸市西馬橋*1.4 成田市名古屋*1.4 柏市柏*1.4 四街道市鹿渡*1.4 千葉稲毛区園生町*1.3 千葉緑区おゆみ野*1.3 千葉美浜区稲毛海岸*1.3 市原市国分寺台中央*1.3 我孫子市我孫子*1.3 柏市旭町*1.2 浦安市日の出*1.2 東庄町笹川*1.2 長南町総合グラウンド*1.1 長南町長南*1.1 匝瑳市八日市場*1.1 山武市蓮沼二*1.1 山武市蓮沼ハ*1.1 市川市南八幡*1.1 野田市東宝珠花*1.1 茂原市道表*1.1 旭市高生*1.1 旭市萩園*1.1 一宮町一宮*1.1 成田市猿山*1.0 柏市大島田*1.0 大網白里市大網*1.0 旭市二*1.0 長柄町桜谷*0.9 匝瑳市今泉*0.9 横芝光町宮川*0.9 横芝光町栗山*0.8 君津市久留里市場*0.7 福島県 1 玉川村小高*1.2 白河市東*1.0 棚倉町棚倉中居野*0.9 浅川町浅川*0.6 白河市新白河*0.6 須賀川市八幡山*0.6 群馬県 1 渋川市赤城町*1.2 桐生市黒保根町*0.7 板倉町板倉*0.7 沼田市西倉内町*0.6 沼田市白沢町*0.6 埼玉県 1 春日部市谷原新田*1.4 幸手市東*1.4 加須市大利根*1.2 春日部市柏壁*1.1 春日部市金崎*1.1 吉川市きよみ野*1.0 宮代町笠原*1.0 久喜市下早見*1.0 川口市青木*0.9 三郷市中央*0.9 鴻巣市川里*0.9 戸田市上戸田*0.8 久喜市青葉*0.8 さいたま南区別所*0.7 さいたま緑区中尾*0.7 岡岡市千駄野*0.7 蕨市中央*0.7 久喜市鷺宮*0.7 さいたま北区宮原*0.7 さいたま見沼区堀崎*0.6 さいたま浦和区高砂*0.6 草加市中央*0.6 越谷市越ヶ谷*0.6 加須市騎西*0.6 八潮市中央*0.6 北本市本町*0.5 鴻巣市吹上富士見*0.5 上尾市本町*0.5 さいたま西区指扇*0.5 東京都 1 東京千代田区大手町*1.4 東京渋谷区本町*1.3 東京中央区勝どき*1.1 東京文京区本郷*1.1 東京江戸川区中央*1.1 東京江戸川区船堀*1.1 調布市西つじヶ丘*1.1 東京江東区越中島*1.0 東京足立区神明南*1.0 東京江東区森下*0.9 東京品川区北品川*0.9 東京北区西ヶ原*0.9 東京江戸川区鹿骨*0.9 東京中央区日本橋兜町*0.8 東京葛飾区金町*0.8 東京港区南青山*0.8 小平市小川町*0.8 東京千代田区麴町*0.8 東京品川区平塚*0.7 東京国際空港*0.7 東京杉並区高井戸*0.7 東京板橋区相生町*0.7 東京葛飾区立石*0.7 東京新宿区百人町*0.7 東京世田谷区三軒茶屋*0.6 東京渋谷区宇田川町*0.6 東京中野区中野*0.6 東京中野区江古田*0.6 東京杉並区桃井*0.6 東京荒川区東尾久*0.6 東京港区海岸*0.6 東京江東区東陽*0.6 東京千代田区富士見*0.5 東京港区白金*0.5 町田市森野*0.5 東京大田区多摩川*0.5 東京世田谷区世田谷*0.5 東京文京区大塚*0.5 東京世田谷区成城*0.5 東京足立区伊興*0.5 神奈川県 1 横浜港北区日吉本町*0.9 横浜青葉区市ヶ尾町*0.9 横浜鶴見区末広町*0.8 横浜中区山手町*0.6 川崎宮前区宮前平*0.6				
155	29 05 36	奄美大島近海 鹿兒島県 1 奄美市名瀬港町=0.9	28° 21.5' N	129° 24.5' E	5km	M: 2.8
156	29 05 49	奄美大島近海 鹿兒島県 1 奄美市名瀬港町=0.8 大和村思勝*0.5	28° 21.2' N	129° 24.5' E	6km	M: 3.0
157	29 07 32	奄美大島近海 鹿兒島県 2 奄美市名瀬港町=2.1 1 奄美市名瀬幸町*1.3 大和村思勝*1.1 奄美市住用町西仲間*0.8 宇検村湯湾*0.5	28° 21.7' N	129° 24.5' E	6km	M: 3.3
158	29 17 00	福島県沖 宮城県 福島県 1 岩沼市桜*0.6 石巻市桃生町*0.5 1 白河市新白河*0.9 双葉町両竹*0.9 田村市船引町*0.6 浪江町幾世橋=0.5	37° 18.4' N	141° 32.7' E	32km	M: 3.9

令和2年7月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
159	29 17 49	福島県会津 福島県 2 喜多方市塩川町*=2.0 1 喜多方市松山町*=1.4 北塩原村北山*=1.4 磐梯町磐梯*=1.4 湯川村清水田*=1.4 喜多方市御清水*=1.3 猪苗代町千代田*=0.8 猪苗代町城南=0.7 会津美里町新鶴庁舎*=0.7	37° 34.6' N	139° 56.6' E	13km	M: 3.1
160	29 22 58	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市上野支所*=0.5	24° 52.1' N	125° 29.3' E	55km	M: 3.5
161	30 02 35	秋田県沖 秋田県 2 男鹿市船川*=1.9 男鹿市角間崎*=1.9 男鹿市男鹿中=1.6 1 潟上市天王*=1.2 秋田市八橋運動公園*=1.2 八郎潟町大道*=1.0 三種町鶴川*=1.0 井川町北川尻*=1.0 北秋田市新田目*=1.0 五城目町西磯ノ目=0.9 東成瀬村田子内*=0.9 湯沢市沖鶴=0.8 大潟村中央*=0.8 小坂町小坂砂森*=0.7 潟上市昭和久保*=0.7 潟上市飯田川下虻川*=0.6 能代市追分町*=0.5 鹿角市花輪*=0.5 青森県 1 深浦町深浦岡町=0.6	39° 48.7' N	139° 47.2' E	16km	M: 3.9
162	30 07 41	北海道南西沖 北海道 1 乙部町緑町*=0.7	41° 55.6' N	139° 53.2' E	13km	M: 3.1
163	30 16 01	群馬県南部 埼玉県 1 東松山市松葉町*=0.6	36° 16.8' N	139° 25.5' E	119km	M: 3.5
164	30 23 26	新潟県中越地方 新潟県 1 十日町市水口沢*=0.7	37° 09.7' N	138° 42.3' E	13km	M: 2.3
165	31 02 57	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=0.6	28° 08.9' N	129° 24.5' E	37km	M: 3.2
166	31 16 00	静岡県西部 愛知県 1 新城市矢部=0.6	35° 02.3' N	137° 48.3' E	42km	M: 2.9
167	31 22 07	瀬戸内海中部 愛媛県 1 今治市宮窪町*=0.5	34° 02.7' N	133° 03.8' E	14km	M: 2.5
168	31 23 01	大分県中部 大分県 1 別府市天間=1.1 由布市湯布院町川上*=1.1 由布市庄内町*=1.0 別府市鶴見=0.7	33° 17.5' N	131° 26.4' E	6km	M: 2.5
169	31 23 05	福島県沖 福島県 1 いわき市三和町=0.7	37° 04.5' N	141° 22.0' E	30km	M: 3.2

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 〈令和元年（2019年）8月～令和2年（2020年）7月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和元年（2019年）											
8月	67	24	11	1	1					104	4日 福島県沖（震度5弱）
9月	72	24	9							105	
10月	65	35	6	1						107	
11月	79	34	12	3						128	
12月	99	19	19	4	2					143	12日 宗谷地方北部（震度5弱） 19日 青森県東方沖（震度5弱）
令和2年（2020年）											
1月	68	35	8	5						116	
2月	68	26	5	4						103	
3月	100	33	11	1		1				146	13日 石川県能登地方（震度5強）
4月	140	46	16	6						208	長野県中部の地震活動（※1） （22日以降30日現在：震度4：1回、震度3：5回、震度2：13回、震度1：48回）
5月	142	39	23	9						213	長野・岐阜県境付近の地震活動（※1の周辺） （震度4：2回、震度3：7回、震度2：19回、震度1：74回）
6月	81	33	6	6	1					127	25日 千葉県東方沖（震度5弱） 長野・岐阜県境付近の地震活動（※1の周辺） （震度2：2回、震度1：11回）
7月	120	40	8	1						169	長野・岐阜県境付近の地震活動（※1の周辺） （震度3：3回、震度2：9回、震度1：31回）
2020年計	719	252	77	32	1	1	0	0	0	1082	
過去1年計	1101	388	134	41	4	1	0	0	0	1669	（令和元年8月～令和2年7月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数  
 〈令和元年（2019年）8月～令和2年（2020年）7月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和元年（2019年）								
8月	327	71	9	3		410	83	4日 福島県沖（M6.4） 8日 台湾付近（M6.4） 29日 青森県東方沖（M6.1）
9月	341	57	7			405	64	
10月	320	72	7			399	79	
11月	306	57	6			369	63	
12月	361	98	10	1		470	109	11日 鳥島近海（M6.1）
令和2年（2020年）								
1月	360	65	6			431	71	
2月	289	68	9		1	367	78	13日 択捉島南東沖（M7.2）
3月	314	47	8			369	55	
4月	334	86	11	3		434	100	11日 フィリピン付近（6.1） 18日 小笠原諸島西方沖（6.8） 20日 宮城県沖（6.2）
5月	399	76	15	1		491	92	3日 薩摩半島西方沖（6.2）
6月	424	131	24	2		581	157	14日 奄美大島北西沖（6.3） 25日 千葉県東方沖（6.1）
7月	353	73	10	1		437	84	30日 鳥島近海（6.0）
2020年計	2473	546	83	7	1	3110	637	
過去1年計	4128	901	122	11	1	5163	1035	（令和元年8月～令和2年7月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

## ● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和2年7月に長周期地震動階級\*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和2年7月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0						6

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和元年12月号の付録11「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。



## ● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和2年7月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は2回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は59回であった。

### 令和2年7月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間（秒）
令和2年7月9日06時05分	茨城県南部	4.7	4	5弱	11.5
令和2年7月30日09時35分	鳥島近海	6.0	—	5強	127.8

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

### 平成19年10月～令和2年7月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)						12(479)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和2年07月09日06時05分 茨城県南部の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和2年07月09日 06時05分29.3秒	茨城県南部	36° 03.8′	139° 50.6′	45km	4.7	4

緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度
地震波検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	06時05分38.5秒	2.5	茨城県南部	36.1	139.8	50km	4.1	最大震度3程度以上
第2報	06時05分45.3秒	6.8	茨城県南部	36.1	139.8	50km	4.8	※1
第3報	06時05分47.8秒	9.3	茨城県南部	36.1	139.8	50km	4.6	※2
第4報	06時05分49.3秒	10.8	茨城県南部	36.1	139.8	50km	4.5	※2
<b>第5報</b>	<b>06時05分50.0秒</b>	<b>11.5</b>	<b>茨城県南部</b>	<b>36.1</b>	<b>139.8</b>	<b>50km</b>	<b>4.8</b>	<b>※3</b>
第6報	06時05分51.3秒	12.8	茨城県南部	36.1	139.8	50km	4.7	※3
第7報	06時05分54.9秒	16.4	茨城県南部	36.1	139.8	50km	4.9	※4
第8報	06時06分09.3秒	30.8	茨城県南部	36.1	139.9	40km	4.9	※5
第9報	06時06分19.8秒	41.3	茨城県南部	36.1	139.9	40km	4.9	※5

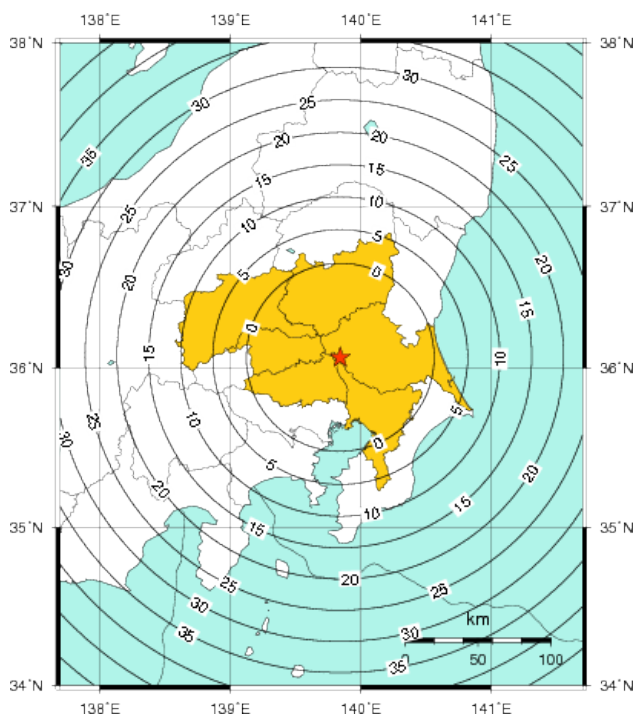
※1 震度3から4程度 埼玉県南部

※2 震度4程度 埼玉県北部、埼玉県南部、千葉県北西部

※3 震度5弱程度 埼玉県南部  
震度4程度 栃木県南部、千葉県北西部、茨城県南部、埼玉県北部、群馬県南部

※4 震度5弱程度 埼玉県南部  
震度4程度 千葉県北西部、栃木県南部、茨城県南部、茨城県北部、埼玉県北部、群馬県南部

※5 震度5弱程度 埼玉県南部  
震度4程度 千葉県北西部、栃木県南部、茨城県北部、群馬県南部  
震度3から4程度 茨城県南部、埼玉県北部



警報第1報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図

★ : 震源  
 : 緊急地震速報(警報)を発表した地域

## 2. 令和2年07月30日09時35分 鳥島近海の地震

### 発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和2年07月30日 09時35分53.6秒	鳥島近海	30°44.5′	142°09.1′	20km	6.0	---

### 緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度
地震波検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	09時37分33.5秒	48.5	房総半島南方沖	34.3	140.0	50km	3.6	最大震度2程度以上
第2報	09時37分53.1秒	68.1	房総半島南方沖	34.3	140.0	50km	3.9	最大震度2程度以上
第3報	09時38分13.0秒	88.0	房総半島南方沖	34.3	140.0	50km	3.9	最大震度2程度以上
第4報	09時38分33.0秒	108.0	房総半島南方沖	34.3	140.0	50km	3.9	最大震度2程度以上
<b>第5報</b>	<b>09時38分52.8秒</b>	<b>127.8</b>	<b>房総半島南方沖</b>	<b>34.3</b>	<b>140.0</b>	<b>50km</b>	<b>7.3</b>	<b>※1</b>
第6報	09時39分12.0秒	147.0	房総半島南方沖	34.3	140.0	50km	7.3	※1
第7報	09時39分21.8秒	156.8	房総半島南方沖	34.3	140.0	50km	7.3	※1

※1 震度5強程度

三宅島

震度5弱から5強程度 新島、千葉県南部、伊豆大島

震度5弱程度

神津島、静岡県伊豆、千葉県北東部、千葉県北西部

震度4から5弱程度

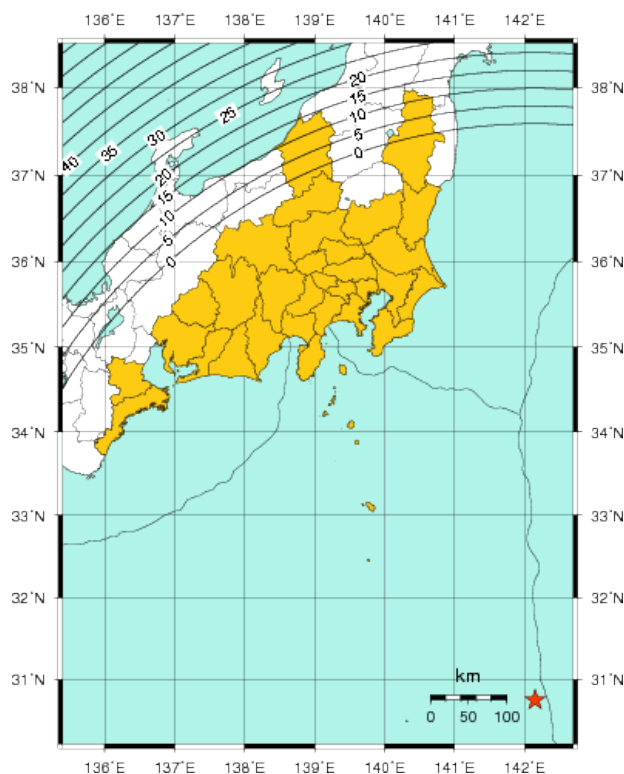
神奈川県西部、神奈川県東部、静岡県東部、東京都23区、茨城県南部、埼玉県南部

震度4程度

八丈島、東京都多摩東部、山梨県東部・富士五湖、静岡県中部、東京都多摩西部、静岡県西部、山梨県中・西部、埼玉県北部、茨城県北部、埼玉県秩父、長野県南部、栃木県南部、群馬県南部、愛知県東部、長野県中部、岐阜県美濃東部、群馬県北部、愛知県西部、福島県中通り

震度3から4程度

三重県南部、三重県中部、新潟県中越



警報第1報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図

★：震源

■：緊急地震速報(警報)を発表した地域

※ 鳥島近海の地震について、本来の震源とは異なる房総半島南方沖に震源を推定したため、マグニチュード及び震度を過大予測し、緊急地震速報（警報）を発表した。